

令和 5 年度
(2023 年度)

事 業 年 報

通 卷 第 52 号

公益財団法人 静岡県予防医学協会
Shizuoka Health Service Association

は じ め に

令和5年度版の事業年報を発刊するに当たりましてご挨拶申し上げます。

当協会は、「みんなの健康を守る」という理念のもと、長年にわたり予防医学事業として健診・検査、保健・栄養・運動指導、普及啓発活動を推進し、県民の公衆保健の向上に努めているところであります。

これはひとえに、静岡県、静岡県医師会をはじめ、地区医師会、市町、教育委員会、各事業所、その他各関係団体のご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、令和5年度を振り返りますと、令和2年から猛威を奮ってきました新型コロナウイルスのパンデミックは対策が功を奏して感染状況が落ち着き、令和5年5月から感染症法分類が2類から5類に変更になりました。これからは一般のインフルエンザと同等の扱いになったところです。しかし、令和5年夏には2類移行後も第9期の感染拡大があり、予断を許さない状況は続いております。

当協会におきましては、学校保健、地域・職域保健及び人間ドックを合わせた全体の受診者数は、令和4年度に比べてやや下回る結果になりました。そうした中でも、人間ドックの基本ドックの受診者数は増加し、令和5年度には14,128人となり、前年度を191人上回りました。また、利用者アンケートでは満足度は90.0%となりました。

施設設備の整備では、静岡事務所を令和6年2月に静岡市駿河区丸子新田の国道1号線沿いの交通至便の良い場所に新築移転しました。また、蓄電池設備を持つ胸部・胃部検診用のデジタルレントゲン車を導入するなど検査体制の充実を図り、一層地域の皆様の健康維持に貢献してまいります。

啓発事業では、新型コロナウイルス感染拡大のため4年間中止しておりました産業保健セミナーを令和5年12月に、令和6年3月には学校保健セミナーを開催したところです。

今後も、東西に長い静岡県において、東部・中部・西部にまたがる5か所の事業所を有する総合健診（検診）機関として、その特徴を活かしながら、県民の皆様にご満足いただけるように健（検）診体制の充実と精度の向上に努力をしてまいります。

今後も一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 静岡県予防医学協会
理 事 長 田 川 隆 介

■ 基本理念

みんなの健康を守る

■ 基本方針

1. 予防医学事業を積極的に推進し、地域医療に貢献します。
2. 安全安心で精度の高い医療サービスの提供を目指します。
3. 公益財団法人の自覚をもって、社会的な価値のある仕事を常に模索し、全職員が創意工夫を凝らして仕事に当たります。

幸せは健康から

「円満な家庭」これこそ人間生活の中で最高の幸せではないでしょうか。しかし、私達は、この幸福が家族一人一人の健康から成りたっていることを往々にして忘れがちです。

「病気になって始めて健康のありがたさを知る」というように、いったん病気になってしまうと、かつての元気な毎日の生活がいまさらながらうらやましく、健康のありがたさが痛感されます。

社会生活をいきいきと過ごすためにも年齢を問わず、積極的な健康づくりが必要です。そのためには定期的な健診を受けて、健康であることを確かめておくことが大切です。

病気によっては症状があらわれてくるまでに、相当な期間がかかるものがあります。

また、症状がはっきりあらわれてきたときには、病状が進んでしまって、これを治すには長い期間と多額の経費がかかります。

しかし、これらは適切な検査をすることによって、早期にその兆候をとらえて発病を予防することができるのです。

幸せな家庭を、そしてみんなが楽しめる社会をつくりだすために、私達は、自らの手で健康づくりを行い、疾病予防と健康の保持増進のためにお役に立ちたいと願うものです。

受診者の権利・義務

公益財団法人静岡県予防医学協会では、健康診断の受診者の権利・義務について、以下のとおり定めております。

1. 良質な健康診断を受ける権利

受診者は、その社会的経済的地位・国籍・地域・人種・宗教・性別によって差別されることなく、平等・公平に、良質で適切な健康診断を受ける権利があります。

2. 自己決定の権利

受診者は、ご自身が受ける健康診断について納得された上で、検査を受けるか否かを決定できる権利があります。

ただし、所属団体や健康保険組合との契約を締結している場合は、所属団体や健康保険組合との契約内容が優先されます。

3. 情報に対する権利

受診者は、健康診断によって得られた検査データのすべてについて、その内容を知る権利があります。

4. プライバシー保護に対する権利

受診者は、ご自身の健康診断結果や問診情報、並びにあらゆる個人情報について、当会が定める「個人情報保護方針」に基づき保護される権利があります。

5. 情報提供の義務

受診者は、医師・健診スタッフに対し、ご自身の健康に関する情報を正確に知らせる義務があります。

6. 遵守の義務

受診者は、快適な健診・検査が受けられるよう、当会の規則ならびに健診スタッフの指示を遵守し、他の受診者に対して適切な健診環境が保てるよう、安全性や静寂性の配慮を行う義務があります。

令和5年4月1日

公益財団法人静岡県予防医学協会理事長

個人情報保護方針

公益財団法人静岡県予防医学協会（以下、「当会」という）は、高度情報化社会の到来と共に個人情報の利用が拡大しているという現実を重視し、個人の人格尊重の理念の下に個人情報の適正な取り扱い、保護及び管理に万全を期することを社会的責務と考え、個人情報に関するご本人様の基本的な権利利益を保護するために以下のとおり方針を定めます。

- (1) 当会は、利用目的の達成に必要な限度において、ご本人様の個人情報を取得しています。ご本人様の個人情報は別紙の利用目的に利用されます。
- (2) 利用目的の達成に必要な範囲を超えてご本人様の個人情報を利用する場合は、法令の定めに従う場合を除き、あらかじめ、ご本人様に通知し、ご本人様の同意をいただきます。
- (3) 当会は、一部の検査業務等を外部の第三者に委託する場合があります。この際、信頼のおける委託先を選定するとともに、個人情報が適切に取り扱われるよう委託契約書を取り交わし、必要かつ適切な監督を行います。
- (4) 当会は、ご本人様の個人情報について、ご本人様から開示、訂正、利用停止、削除等のご依頼があった場合、法令の定めに従い遅滞なく応じます。（なお、情報公開には書類作成等で手数料をいただく場合があります。）
- (5) 当会で個人情報の取り扱いに従事するすべての者は、個人情報保護に関する法令、国が定める指針その他の規範並びに当会の内部規程を遵守します。
- (6) 当会は、個人情報の漏えい、滅失又はき損に対する予防並びに是正対策を講じ、個人情報の安全性、正確性の確保を図ります。
- (7) 当会は、個人情報を適正に取り扱うため、個人情報保護管理者を置き、従業員の教育、訓練を実施するとともに、当会の個人情報保護マネジメントシステムを従業員及び関係事業者等に周知させ、必要かつ適切な監督を行います。
- (8) 当会は、JISQ15001：2017に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、実施し、維持します。また、個人情報保護マネジメントシステムは適宜見直し、継続的な改善を図ります。

制定年月日：平成17年 3 月 9 日
最終改訂年月日：令和6年 12 月 1 日
公益財団法人 静岡県予防医学協会
理事長 田川 隆介
代表者 加藤 吉隆

当会でのご本人様の個人情報の取り扱いに関する苦情及び相談は下記にご連絡ください。

〒426-0053
藤枝市善左衛門 2-11-5
公益財団法人 静岡県予防医学協会
総務課
TEL：054-636-6461
FAX：054-636-6462
E-mail：syobo-kojinsodan@shsa.net

別紙

ご本人様の個人情報の利用目的

1. ご本人様への健康管理サービスの提供に必要な利用

- (1) 健康管理サービス（健康診断、保健指導、診療及び精密検査）
- (2) 委託元から受託して行なう健康管理サービスにおける委託元や皆様への結果の報告
- (3) 他の医療機関からの照会への回答
- (4) 各種検体検査の実施及び結果等の報告
- (5) 健康管理サービス、その他保健事業にかかる料金の請求
- (6) 健康診断の予約、受付、診察、結果報告にかかわる業務
- (7) 健康診断の結果、精密検査や再検査が必要となった場合の受診勧奨及び追跡調査

2. 他の事業者等への情報提供

- (1) 当会がご本人様に提供する健康管理サービスのうち、
 - ア. 他の病院、診療所、助産所、介護サービス事業者及び産業保健スタッフ等との連携
 - イ. 他の医療機関等からの照会への回答
 - ウ. ご本人様の健康管理サービスにあたり、外部の医師等の意見及び助言を求める場合
 - エ. 検体検査業務の委託その他の業務委託
 - オ. 健康診断委託元（市町村・事業所・健康保険組合・学校等）への結果報告
- (2) 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体・保険会社等への相談又は届出等
- (3) 関係法令等に基づく行政機関及び司法機関等への提出等
- (4) 外部審査機関への情報提供

3. 当会での利用

当会の管理運営業務

- (1) 利用にあたっては、仮名化 又は 匿名化します。
 - ア. 健康診断業務の維持・改善の基礎資料
 - イ. 当会の内部において行われる従業者教育
- (2) 利用にあたっては、匿名化します。
 - ウ. 学会・研究会等への発表

4. 認定個人情報保護団体について

※当会の健康診断結果及び業務サービスに関する問い合わせ先ではありません。

- ・認定個人情報保護団体の名称
一般財団法人日本情報経済社会推進協会
- ・苦情の解決の申出先
個人情報保護苦情相談室
- ・住所、電話番号
〒 106-0032 東京都港区六本木一丁目9番9号 六本木ファーストビル内
☎ 03-5860-7565 / 0120-700-779

目 次

はじめに		3. 人 間 ド ッ ク	
基本理念・基本方針		1) 人間ドック	91
個人情報保護方針		4. 母 子 保 健	
		1) 先天性代謝異常症等検査	101
		2) 拡大新生児スクリーニング検査	105
第一章 事業概要		第三章 健康啓発、会議、人事等	
令和5年度事業概要	1	1. 健 康 啓 発	107
検査・健(検)診件数の年次推移	5	2. 全国団体等への参加	107
		(会議、研修会、研究会等)	
第二章 検査・健(検)診事業		3. 行 事 ・ 会 議	108
1. 学 校 保 健		4. 人 事	108
1) 学校腎臓病検診・学校糖尿病検診	7	5. 総合健診センター	108
2) 学校心臓検診	15		
3) 学校貧血検査	36	第四章 研究業績	
4) 脊柱側彎症検診	46		
5) 学校寄生虫卵検	49	付 録 協 会 案 内	
6) 小児生活習慣病予防健診	52	1. (公財)静岡県予防医学協会の沿革	109
		2. (公財)静岡県予防医学協会役員名簿	112
2. 地 域 ・ 職 域 保 健		3. (公財)静岡県予防医学協会組織図	113
1) 一般健康診断及び生活習慣病健診	59	4. 協会の健(検)診・検査業務内容	114
2) 特殊健康診断	65	5. 協会案内図	115
3) ストレスチェック	67		
4) 喀痰細胞診による肺がん検診	69		
5) 婦人科細胞診による子宮頸がん検診	70		
6) 血液型検査	72		
7) 細菌検査	73		
8) 寄生虫卵検査	74		
9) 住民健診	75		
10) 特定健診・特定保健指導	85		
11) ワクチン接種	89		

ま え が き

- 令和 5 年(2023 年)4 月 1 日から令和 6 年(2024 年)3 月 31 日までの当協会が実施した検査・健(検)診活動についてまとめたものである。
- 大分類を四章に分け、第一章事業概要、第二章検査・健(検)診事業、第三章健康啓発、会議、人事等、第四章研究業績とした。
- 第二章の検査・健(検)診事業は、学校保健、地域・職域保健、人間ドック、母子保健の四中分類に分けた。
- 学校保健の成績表は、原則として市町単位にまとめ掲載した。
- 職域保健の定期健康診断等は、労働基準監督署管内別とした。
- 表中の集計欄「東部、中部、西部」地区の範囲は、東部は富士市、富士宮市以東、中部は静岡市以西～川根本町、島田市、牧之原市以東、西部は掛川市、菊川市、御前崎市以西の市郡とした。
- 百分率(%)は、小数点以下第 1 位を求めたものは第 2 位を四捨五入し、第 2 位を求めたものは第 3 位を四捨五入した。

第一章 事業概要

令和5年度 事業概要

令和5年度 検査・健(検)診件数の年次推移

令和 5 年 度 事 業 概 要

事業の実績

1 健診・検査事業

1) 学校保健

(ア) 尿検査

腎臓病・糖尿病の検診は、学校保健法によって小学生から高校生までの全学年を対象に実施することが義務づけられている。

令和 5 年度の受検者数は 210,226 人であった。二次陽性者数は 923 人 (0.44%) であった。

(イ) 心臓検診

心電図検査が義務付けられた小・中学校、高等学校の各 1 年生と、任意で実施の他学年について心電図、心電心音図検査を実施した。特別支援学校等を含めた令和 5 年度の総受診者数は 66,334 人、要精密検査は 1,938 人 (2.9%) であった。

(ウ) 寄生虫卵検査

寄生虫卵検査は、蟯虫検査と糞便検査を行っている。

蟯虫検査は、ウスイ式セロファンテープを用い、二日にわたって採卵する二日法で実施している。平成 28 年度より学校保健法の指定がなくなり受検者数は激減した。令和 5 年度の受診者はいなかった。

糞便検査は、幼保園等を対象にセロファン厚層塗抹法を実施している。衛生環境の改善により寄生虫保有率は年々減少している。平成 28 年度から検査依頼がなくなった。

学校寄生虫卵検査については、近年依頼がなかったこともあり令和 5 年度をもって検査を終了した。

(エ) 小児生活習慣病予防健診

小児生活習慣病予防健診は、主に小学校は 4 年生、中学校は 1 年生、高等学校は 1 年生を対象に実施している (学校によっては他の学年を実施)。令和 5 年度は小・中学校合わせて 53 校 3,274 人実施した。今年度も高校 1 年生については実施していない。

健診の実施に当たっては、地元医師会等の指導のもとに健診を実施し、疾病の早期発見に努めているが、統一的なフォローアップ体制が整備されておらず、主目的であるライフスタイルの改善には、個々の保護者を含めた健康教育が必要であり、各機関の指導のもとに改善に努力する必要がある。

(オ) その他

貧血検査、脊柱側彎症検査は小・中学校及び高等学校を対象として実施した。その他、聴力及び血圧測定についても昨年度同様実施した。

2) 成人保健

(ア) 定期健康診断

出張健診を主とし、定期健康診断のほか法規等に基づく特殊健診を各事業所と連絡を密にして実施した。

(イ) 大腸がん検査

大腸がん検査は、免疫学的便潜血反応 (金コロイド比色法) による検査を行っている。

令和 5 年度の受診者数は 72,366 人 (男性 40,234 人、女性 32,132 人) であった。そのうち、陽性者数は 4,193 人 (5.80%) (男性 2,597 人、女性 1,596 人) であった。陽性者には受診を促すなど、例年同様に実施した。

(ウ) 骨粗鬆症検査

主として、DEXA 法 (X 線検査) により実施した。

(エ) その他

循環器検査、眼底検査、消化器検査等について、昨年度同様、定期健康診断の一環として実施した。

また、労働安全衛生法の改正により、労働者 50 人以上いる事業所では、平成 27 年 12 月から毎年 1 回、ストレスチェック制度の実施が義務付けられた。令和 5 年度は 268 団体 24,870 人が受診した。

3) その他の検査

(ア) 腸内細菌検査

主に赤痢菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌（0157）を行い、依頼に応じてさらにノロウイルス検査（外部委託）を食品取扱業者、保育従事者などから受注している。現在では、環境・食品衛生の状況がよく、赤痢菌やチフス菌の保菌者が検出されることは非常に稀となっている。

(イ) 母子保健

先天性代謝異常症や内分泌の病気の中には、発症前に発見し治療を開始すれば、障害の予防または軽減を期待できる病気がある。このような病気に対して、出生後すぐに検査を行い、早期発見・治療することにより障害を防ぐことを目的としたスクリーニングが行われている。

1) 新生児マススクリーニング検査

新生児を対象に、先天性代謝異常症及び甲状腺機能低下症・先天性副腎過形成症の検査を県・政令市の委託を受け実施している。令和5年度の実施数は19,981人であり、対象疾患は21疾患である。

2) 拡大新生児スクリーニング検査

保護者からの同意が得られた新生児を対象に、先天性免疫不全症やライソゾーム病等の検査を令和5年10月より静岡県立こども病院の委託を受け実施している。

令和5年度の実施数は680人であり、対象疾患は7疾患である。

2 総合健診センター（ヘルスポート）

健診事業の一層の充実を図るため、総合健診センター（ヘルスポート）を平成9年度に藤枝市に開設し、平成24年1月には新棟がオープンし12年が経過した。人間ドック受診者数は年々増加し、令和5年度には14,128人となった。

今後も健診精度の向上を図り、疾病の早期発見・予防医学の大切さを多くのかたにPRしていきたい。

3 調査研究事業

業務遂行に伴う検査情報をまとめ、学校保健に関する統計調査、適正な検査がされているか

の精度管理などを目的に調査研究を進めている。

- ・健診検査データの活用による調査研究と健康づくりのための情報提供
- ・学童尿及び学童心電図における統計調査
- ・がん検診におけるプロセス指標

4 機器等の整備

健診需要の増加、保有機材の陳腐化、さらに新たな健診項目の取り組みなどに対応するため、健診・検査機器等の導入・更新を図っている。令和5年度に購入した機器の一部を以下に示す。

- ・胃・胸部検診車
- ・デジタル乳房撮影装置
- ・解析付心電計
- ・無散瞳デジタル眼底カメラ
- ・精密聴力計
- ・選別聴力計
- ・近点計

5 啓蒙事業

予防医学の普及啓発のため、協会ホームページからの情報発信をはじめ、広報紙や事業年報の発行及び情報誌を購入して関係機関や事業所等に配布した。

1) 講演会の開催

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から感染症法5類に移行され講演会を再開した。12月に産業保健セミナーを令和6年3月に学校保健セミナーを開催した。

2) 印刷物の発行等

- ・広報紙「けんこう静岡」（年4回発行）
14,000部
- ・「令和4年度事業年報」（発行）
300部
- ・「予防医学ジャーナル」（配布）
864部

6 その他

1) 関係団体との連携

静岡県（健康福祉部）、県・市町教育委員会、県・郡市医師会、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会等関係団体と密接な連携のもとに事業の推進に努めた。

2) 精度管理・研修

日本医師会等が行う外部精度管理調査事業※参加し、精度管理に努めた。

また、例年実施している講師を招いての内部研修会、外部研修会・研究会等へ参加はコロナ禍の状況により中止としたが、リモート参加可能な外部研修会・研究会については新規知識並びに技術習得のため参加し、職員の資質向上を図った。

(※予防医学事業中央会・全国労働衛生団体連合会・日本総合健診医学会・静岡県医師会精度管理委員会等の行う精度管理調査)

令和5年度 検査・健(検)診の受診(検)者数

(主たるもの)

区 分	検査・健(検)診名	受診(検)者数	摘 要
学 校 保 健	腎臓病検診	210,226	従来法: 0 新方式: 210,226
	糖尿病検診	210,226	従来法: 0 新方式: 210,226
	心臓検診	66,334	(A方式) 10,043 人 (B方式) 56,291 人
	貧血検査	27,941	
	脊柱側彎症検診	10,074	対象:小学校 3,798 中学校 6,188 高校 88
	寄生虫卵検査	0	(蟯虫検査) 0 人
	小児生活習慣病予防健診	3,513	
地 域・職 域 保 健	一般健康診断	191,344	
	特殊健康診断	43,691	
	貧血検査	131,939	
	がん検診	263,602	(胃) 24,739 人 (肺) 139,556 人 (子宮) 9,793 人 (大腸) 72,218 人 (乳房) 11,409 人 (前立腺) 5,887 人
	ストレスチェック	24,870	高ストレス者: 3,605 人
人 間 ド ッ ク		14,128	
母 子 保 健	先天性代謝異常検査	19,981	初回検査
	甲状腺機能低下症検査	19,981	〃
	副腎過形成症検査	19,981	初回検査
そ の 他	細菌検査	69,928	(腸内細菌) 35,788 人 (O-157) 34,140 人
	寄生虫卵検査	220	(寄生虫卵検査) 220 人 (蟯虫検査) 0 人
	ワクチン接種	16,200	コロナ、インフルエンザ、B型肝炎、感染症
合 計		1,344,179	

[参 考] 令和5年度に協会が実施した学校検診検査者数

対 象 校	県内在籍 人 員	検 診 検 査 項 目					
		腎臓病	糖尿病	貧血	心臓	寄 生 虫	
						寄生虫卵 (厚層塗抹法)	蟯虫卵 (セロテープ法)
幼	61,671	20,093	20,093	0	87	0	0
小	175,775	77,750	77,750	827	26,888	0	0
中	95,770	44,157	44,157	8,864	15,984	0	0
高	91,356	63,526	63,526	17,329	22,025	0	0
計	424,572	205,526	205,526	27,020	64,984	0	0

- ・ 県内在籍人数は、令和5年度静岡県学校名簿(静岡県教育委員会発行)より
- ・ 保育園児の受検者は幼稚園欄に含めて掲載
- ・ 特別支援学校及び施設は除く

検査・健（検）診件数の年次推移

項目 Item	寄生虫 Helminth egg		細菌 Microbic logical exam	尿 Urine			血清学 (血液型) ABO Rh, HB TOXO Blood typing		臨床化学 Bio-chemic Adult diseases 肝 Hepatic function etc.	心電図 Electro- cardio- gram (心音型)	血圧測定 Sphygmo- mano- metry	眼底検査 Fundus- copy	細胞診 Cyto- scree- ning	特殊健康診断 Occupational dise- ase exam	便潜血反応 Occult Blood in Feces	定期健康診断 Regular Health Exam (胸部 胃X線 その他)	ストレスチェック制度	人間ドック Complete medical checkup	脊柱側弯症 Scoliosis	先天性代謝異常症 Inborn errors of meta- bolism	先天性中状腺機能低下症 Cretinism	副腎皮質過形成 CAH	神経芽細胞腫 Neuroblastma	ホルター心電図 24hrs- Analysis of ECG	小児生活習慣病 Child life style related disease	ワクチン接種 Vaccination	被爆者 hibakusha Atomic bomb Victims
	厚労省 検査法 Thick smear technic (KATOS)	ロータリー法 Scotch tape technic		腎・潜 腎 Kidney diseases	糖 Diabetes	その他 others																					
17	2005	1,725	157,916	71,943	351	422,183	422,183	59,926	122,725	131,319	99,077	9,322	4,567	23,192	31,892	94,953		6,160	9,785	33,940	33,940	33,940	471	0	16,548		
18	2006	1,732	127,474	85,742	97	377,561	412,762	5,632	124,575	131,729	101,061	8,741	5,281	23,502	31,727	100,828		6,584	8,444	34,784	34,784	34,784	677	0	14,103		
19	2007	1,071	128,257	84,936	96	408,068	407,985	5,988	127,887	134,692	105,774	8,147	4,882	25,401	30,295	101,308		6,969	10,001	35,501	35,501	35,501	674	0	12,966		
20	2008	985	127,826	86,091	86	482,357	418,618	6,264	128,208	136,360	103,597	8,118	7,276	25,918	36,242	105,402		7,718	9,843	34,818	34,818	34,818	1,804	0	10,152		
21	2009	942	143,430	80,049	79	425,859	360,175	5,820	129,395	140,639	108,123	5,945	8,071	25,946	35,001	111,569		8,149	10,001	34,033	34,033	34,033	2,014	0	9,772		
22	2010	884	141,844	78,518	74	379,839	379,746	5,866	145,701	151,683	125,581	6,257	14,640	26,478	53,460	175,583		8,520	9,937	33,897	33,897	33,897	1,577	0	10,232		
23	2011	808	138,822	76,256	101	366,452	366,378	5,644	135,323	140,640	127,121	5,877	13,120	26,058	43,881	126,690		8,784	9,822	33,514	33,514	33,514	1,409	0	9,175		
24	2012	767	118,179	76,129	58	387,825	387,784	6,102	146,622	153,905	141,991	6,353	12,108	28,999	51,055	123,994		9,285	9,675	32,425	32,425	32,425	1,487	0	8,778		
25	2013	938	116,273	75,010	53	389,098	389,071	7,935	144,977	153,152	145,983	5,109	12,650	25,049	52,869	119,045		9,678	9,650	32,018	32,018	32,018	1,431	0	8,558		
26	2014	469	108,002	76,043	26	389,199	389,130	7,531	149,326	156,516	150,150	4,982	12,492	27,405	59,910	148,521		10,362	9,715	30,495	30,495	30,495	1,001	0	8,539		
27	2015	459	105,534	73,134	22	417,919	415,764	9,988	171,869	177,250	174,885	18,329	15,104	30,463	77,663	160,984		10,989	9,476	30,197	30,197	30,197	0	0	8,458		
28	2016	230	32,450	72,780	18	413,438	411,160	10,691	168,786	177,291	176,881	19,080	18,425	36,598	78,338	163,974		11,669	9,149	28,951	28,951	28,951	0	0	8,253		
29	2017	215	5,743	71,805	17	423,344	420,975	11,963	176,535	185,866	184,532	19,861	17,669	34,216	79,746	165,366		12,215	9,072	27,622	27,622	27,622	0	0	6,796		
30	2018	243	72,548	19	423,631	421,372	11,414	217,051	62,650	1,652,211	197,942	21,412	18,666	38,971	81,636	171,125	26,618	12,617	8,389	26,450	26,450	26,450	0	0	4,549		
令和元		248	201	74,630	15	423,596	421,074	11,640	220,487	204,847	194,523	22,235	18,505	41,598	85,439	174,132	27,942	12,938	8,688	24,894	24,894	24,894	0	0	4,052		
2	2020	237	49	71,518	15	403,770	402,794	11,480	209,594	62,775	168,723	198,265	185,761	16,955	43,676	83,668	26,288	13,107	8,108	23,710	23,710	23,710	0	0	4,052		
3	2021	246	70	75,498	20	398,817	398,637	10,433	207,637	198,557	185,550	23,246	15,745	45,782	84,475	165,593	26,170	13,602	8,684	22,886	22,886	22,886	0	0	3,763	89,833	
4	2022	242	0	73,331	15	392,477	392,475	10,417	205,446	62,643	170,429	196,948	183,474	16,327	44,190	84,067	27,157	13,937	8,192	21,455	21,455	21,455	0	0	3,642	37,014	
5	2023	223	0	69,982	15	387,135	386,992	10,033	204,321	63,715	182,669	23,579	15,389	43,691	86,271	161,395	24,870	14,128	10,074	19,981	19,981	19,981	0	0	3,513	16,200	0

第二章 検査・健(検)診事業

1. 学 校 保 健
2. 地 域・職 域 保 健
3. 人 間 ド ッ ク
4. 母 子 保 健

第二章 検査・健(検)診事業

1. 学 校 保 健

- 1) 学校腎臓病・糖尿病検診
- 2) 学校心臓検診
- 3) 学校貧血検査
- 4) 脊柱側彎症検診
- 5) 学校寄生虫卵検査
- 6) 小児生活習慣病予防健診

1) 学校腎臓病・糖尿病検診		図1・2 貧血要受診者率の年次推移(男子・女子)	40
図1 腎臓病・糖尿病検診のフローチャート(現方式)	8	図3・4 年齢・性別平均値及び2SDの範囲	40
表1 年度別における受検者数と腎臓病検診の陽性率	9	表10 貧血検査成績学校別集計表	41
図2 学校腎臓病・糖尿病検診のフローチャート(旧方式)	9	表11 貧血検査成績学年別集計表	42
表2 腎臓病・糖尿病検診成績学校別集計表(現方式)	10	表12 貧血検査成績表	42
表3 腎臓病・糖尿病検診成績学年別集計表(現方式)	11	5) 脊柱側彎症検診	
表4 腎臓病・糖尿病検診成績表(現方式)	12	表1 過去20年間の推移	47
2) 学校心臓検診		図1 小学校の受診者数及び有所見者率の推移	47
図1 学校生活管理指導表(小学生用)	16	図2 中学校の受診者数及び有所見者率の推移	47
図2 学校生活管理指導表(中学・高校生用)	17	表2 脊柱側彎症検診成績表	48
表1 年度別学校数と受診者数	18	6) 学校寄生虫卵検査	
表2 有所見者心疾患別内訳	18	表1 寄生虫卵検査成績学校別集計表	49
表3 心電図異常団体別件数	19	表2 蟯虫卵検査年次推移	50
表4 精密検査受診結果管理別内訳	19	表3 寄生虫卵検査年次推移	51
表5 静岡県内1年生在籍数と 当協会で行った心臓検診受診者数と割合	19	7) 小児生活習慣病予防健診	
図3 心臓検診のシステム	19	表1 項目別判定基準	53
表6 先天性心疾患の所見別内訳	20	表2 5段階判定・評価内容	53
表7 後天性心疾患の所見別内訳	20	表3 総合判定と指導区分	53
表8 心筋症・川崎病既往の内訳	20	図1 判定別集計	54
表9 調査票等の内訳	20	図2 所見別集計	54
表10 心音図異常の所見別内訳	21	図3 学校数および受診者数の年次推移	54
表11 心電図異常の所見別内訳	21	表4～7 小児生活習慣病予防健診実施数の推移	54
表12 心臓検診成績全体集計表	22	表8～11 小児生活習慣病予防健診結果	56
表13 心臓検診成績方式別集計表	24		
4) 学校貧血検査			
表1 貧血(血液)検査成績判定基準	37		
表2 貧血検査受検者数の年次推移	37		
表3・4 貧血要受診者年次推移(男子・女子)	38		
表5 事後処置調査表による小・中・高校別回答率	38		
表6・7 事後処置調査表による回答(男子・女子)	38		
表8・9 貧血検査成績年齢別平均値及び2SDの範囲 (男性・女性)	39		

1) 学校腎臓病・糖尿病検診

〔はじめに〕

昭和48年に学校保健法の施行規則が改正され、学校検尿が開始した。現在も継続して行われ、慢性腎疾患や先天性の腎臓病の早期発見、治療・管理することを目的としている。また、平成4年度から尿糖検査が義務付けられ、糖尿病の早期発見に繋げている。

静岡県では平成25年に「静岡県 医師会学校保健対策委員会 学校腎臓検診結果検討小委員会」において、「学校検尿指針」が全面改訂され、学校腎臓検診システムが確立された。(図1参照)

令和3年度以降は全ての学校でこの指針を採用している。

〔検査法〕

採尿は早朝第一尿の中間尿をお願いしている。早朝第一尿の採取は、健康な人でも排出される体位性・運動性による蛋白尿を除外するため、中間尿は尿道に繁殖した細菌を除外するためである。検査項目は尿蛋白・尿潜血・尿糖であり、試験紙法にて判定している。

〔判定〕

一次・二次検査の判定基準

尿蛋白は (+) 30mg/dl 以上

尿潜血は (+) 0.06mg/dl 以上

尿糖 は (+) 100 mg/dl 以上

〔結果〕

令和5年度の一次検査受検者数は、210,226人であった。

全体の一次陽性率は2.97% (昨年度3.24%)。学校別の一次陽性率は、幼保園0.68%、小学校1.14%、中学校4.71%、高等学校4.66%であった。また、全体の二次陽性率は0.44% (昨年度0.49%)。

学校別の二次陽性率は、幼保園0.11%、小学校0.24%、中学校0.67%、高等学校0.61%であった。

一次陽性率、二次陽性率ともに昨年度と比較して大きな変動はみられなかった。

二次検査まで行うことで有所見者の振り分ができていくことがわかる。

〔まとめ〕

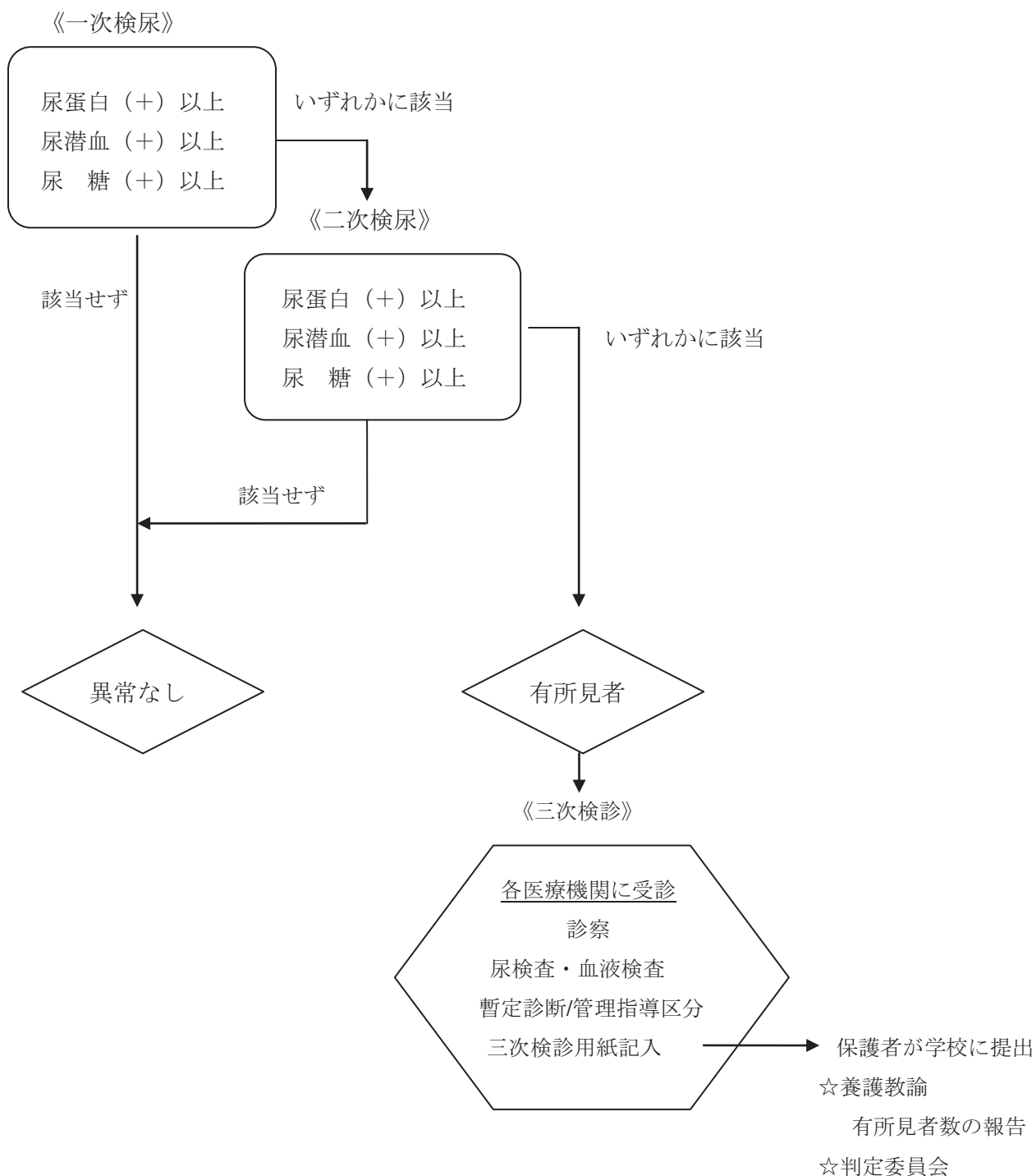
令和5年度二次陽性にて受診を要した方の中には、無症候性血尿や無症候性蛋白尿の方が存在した。このように無症状ながら発症している児童・生徒においては、早期に発見し適切な治療や生活管理を行い、悪化を防止することが必要であると考ええる。

また、IgA腎症・ネフローゼ症候群・急性腎炎等の腎疾患やⅠ型、Ⅱ型糖尿病・単一遺伝子糖尿病も含め、早期発見するためには大規模かつ定期的な学校検尿制度は重要な検査といえる。

学校検尿を侮らず、正しい方法で採尿を行い、「要受診」といわれたら医療機関でしっかり診ていただきたい。

(鈴木 優佑)

図1 学校腎臓病・糖尿病検診のフローチャート（現方式）



緊急受診システム

対象：尿蛋白（4+）以上または尿糖（3+）以上（すでに医療機関で管理中の児は除く）

○緊急報告は、協会より迅速に各市町教育委員会と各学校に連絡する。

○緊急受診用紙と一緒に三次検診セット渡す。各学校は対象児が既に管理中かどうかを把握した後、初めての場合は学校から保護者に至急連絡し、可及的速やかに医療機関への受診を勧める。

表 1 年度別における受検者数と腎臓病検診の陽性率

年度	現方式				旧方式				
	一次検査		二次検査		一次検査		二次検査		
	受検者数	陽性率	受検者数	陽性率	受検者数	陽性率	受検者数	陽性率	要受診率
平成28	202,330	2.64	5,259	0.40	40,765	4.31	1,702	0.68	0.41
29	200,676	2.91	5,724	0.46	40,801	4.74	1,881	0.96	0.55
30	197,996	2.62	5,035	0.40	40,781	5.02	1,981	0.75	0.42
令和元	198,947	3.05	5,953	0.48	35,311	4.93	1,690	0.92	0.58
2	226,214	3.29	7,294	0.47	703	3.98	28	1.14	0.57
3	220,343	3.05	6,621	0.45	0	0	0	0	0
4	215,064	3.24	6,558	0.49	0	0	0	0	0
5	210,226	2.97	5,801	0.44	0	0	0	0	0

図 2 学校腎臓病・糖尿病検診のフローチャート(旧方式)

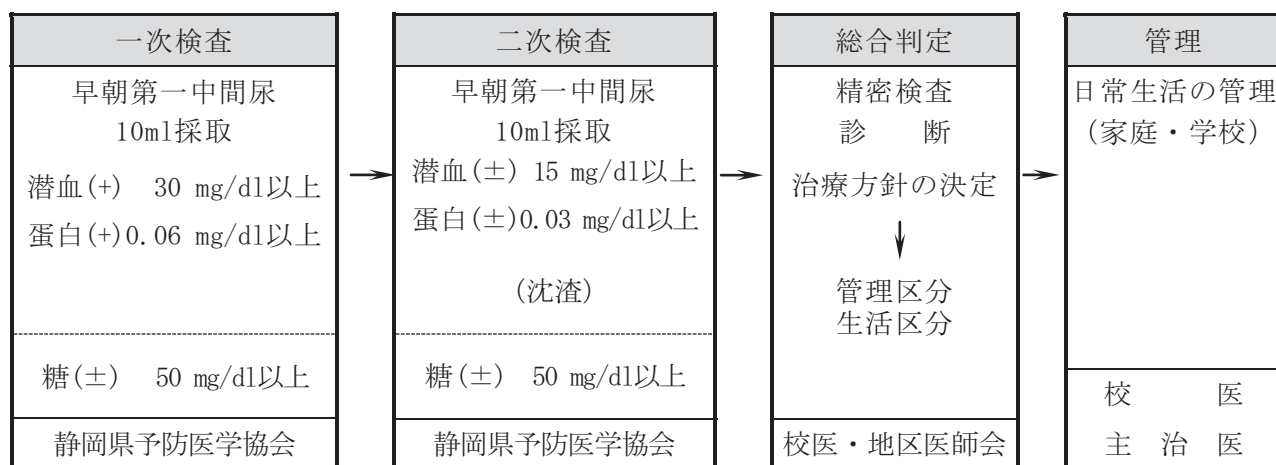


表 2 腎臓病・糖尿病検診成績学校別集計表（現方式）

区分 団体名	項 目	第 1 次 検 査						第 2 次 検 査					
		受検者数			陽性者内訳 (%)			受検者数			陽性者数 (%)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
幼稚園 保育園	潜血	10,202	9,891	20,093	53	84	137	29	(0.28)	59	(0.60)	7	(0.07)
	蛋白				15	(0.15)	21	15	(0.15)	21	(0.21)	14	(0.14)
	潜・蛋白				7	(0.07)	2	7	(0.07)	2	(0.02)	1	(0.01)
	糖				2	(0.02)	2	2	(0.02)	2	(0.02)		
小学校	腎・糖												
	潜血	39,831	37,919	77,750	206	679	885	87	(0.22)	409	(1.08)	33	(0.08)
	蛋白				96	(0.24)	233	96	(0.24)	233	(0.61)	10	(0.03)
	潜・蛋白				5	(0.01)	17	5	(0.01)	17	(0.04)	2	(0.01)
中学校	糖				(0.52)	(1.79)	(1.14)	18	(0.05)	20	(0.05)	4	(0.01)
	腎・糖											1	(0.00)
	潜血	22,448	21,709	44,157	631	1,449	2,080	79	(0.35)	1,054	(4.86)	35	(0.16)
	蛋白				516	(2.30)	298	516	(2.30)	298	(1.37)	63	(0.28)
高等学校	潜・蛋白				15	(0.07)	64	15	(0.07)	64	(0.29)	6	(0.03)
	糖				21	(0.09)	28	21	(0.09)	28	(0.13)	5	(0.02)
	腎・糖				(2.81)	(6.67)	(4.71)	5	(0.02)	5	(0.02)	1	(0.00)
	潜血	32,585	30,941	63,526	996	1,967	2,963	104	(0.32)	1,447	(4.68)	37	(0.11)
大専門学校	蛋白				801	(2.46)	368	801	(2.46)	368	(1.19)	105	(0.32)
	潜・蛋白				29	(0.09)	94	29	(0.09)	94	(0.30)	18	(0.06)
	糖				58	(0.18)	52	58	(0.18)	52	(0.17)	9	(0.03)
	腎・糖				4	(0.01)	6	4	(0.01)	6	(0.02)	1	(0.00)
特別支援学校	潜血	15	99	114	1	6	7	1	(6.67)	3	(3.03)	2	
	蛋白				(6.67)	(6.06)	(6.14)						
	潜・蛋白												
	糖												
施設	腎・糖												
	潜血	2,797	1,346	4,143	107	48	155	17	(0.61)	30	(2.23)	8	(0.29)
	蛋白				4	(0.14)	2	73	(2.61)	11	(0.82)	11	(0.39)
	潜・蛋白				(3.83)	(3.57)	(3.74)	4	(0.14)	2	(0.15)	3	(0.11)
合計	糖							11	(0.39)	4	(0.30)		
	腎・糖							2	(0.07)	1	(0.07)	1	(0.04)
	潜血	312	131	443	8	7	15	3	(0.96)	6	(4.58)	1	(0.76)
	蛋白				(2.56)	(5.34)	(3.39)	3	(0.96)			1	(0.32)
合計	潜・蛋白												
	糖							2	(0.64)				
	腎・糖												
	潜血	108,190	102,036	210,226	2,002	4,240	6,242	319	(0.29)	3,007	(2.95)	120	(0.11)
合計	蛋白				(1.85)	(4.16)	(2.97)	1,505	(1.39)	934	(0.92)	190	(0.18)
	潜・蛋白							60	(0.06)	179	(0.18)	30	(0.03)
	糖							112	(0.10)	106	(0.10)	18	(0.02)
	腎・糖							6	(0.01)	14	(0.01)	2	(0.00)

※下段は構成比です。また、陽性者内訳：潜血・蛋白の項目以外の数は除外されています。

学区分 中学校（市町別）			学校数		第 1 次 査										第 2 次 査												
					受 検 者					性 者					受 検 者					性 者							
					性 者					性 者					性 者					性 者							
					男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女
市町村名			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%	男		女		%	男		女		%	男		女		%
市			男		女		計	男		女		%															

[illegible]

大学・専門学校

区分	学校数	第 1 次 検 査										第 2 次 検 査									
		受 検 者					陽 性 者					受 検 者					陽 性 者				
		男		女		計	男		女		%	男		女		計	男		女		%
		男	女	男	女	男	男	女	男	女	男	男	女	男	女	男	男	女	男	女	男
市町村名																					
東 部																					
中 部	1		53		53	1	1.89		1	1.89											
西 部	4	15	46	61	1	6.67	5	10.87	6	9.84		2	1	2		4.35	2	3.28	1		
總 計	5	15	99	114	1	6.67	6	6.06	7	6.14		2	1	3		2.02	2	1.75	1		

特別支援学校

区分	学校数	第 1 次 検 査										第 2 次 検 査									
		受 検 者					陽 性 者					受 検 者					陽 性 者				
		男		女		計	男		女		%	男		女		計	男		女		%
		男	女	男	女	男	男	女	男	女	男	男	女	男	女	男	男	女	男	女	男
市町村名																					
東 部	9	623	343	966	30	4.82	12	3.50	42	4.35		2	9	25	2	0.29	7	0.72	1	4	
中 部	10	851	426	1,277	37	4.35	11	2.58	48	3.76		8	6	23	3	1.02	13	1.02	5	1	
西 部	14	1,323	577	1,900	40	3.02	25	4.33	65	3.42		7	15	25	6	1.04	11	0.58	2	3	
總 計	33	2,797	1,346	4,143	107	3.83	48	3.57	155	3.74		17	30	73	11	4	2	3	8	5	

施設

区分	学校数	第 1 次 検 査										第 2 次 検 査									
		受 検 者					陽 性 者					受 検 者					陽 性 者				
		男		女		計	男		女		%	男		女		計	男		女		%
		男	女	男	女	男	男	女	男	女	男	男	女	男	女	男	男	女	男	女	男
市町村名																					
東 部	2	87	45	132	4	4.60	3	6.67	7	5.30		1	2	2	1	1.15	2	1	0.76	1	
中 部	1	27	8	35	1	3.70			1	2.86		1					1				
西 部	9	198	78	276	3	1.52	4	5.13	7	2.54		1	4	1		1.28	1	0.36	1		
總 計	12	312	131	443	8	2.86	7	5.34	15	3.39		3	6	3	2	1	4	3	7	1	

2) 学校心臓病検診

〔はじめに〕

昭和 48 年の学校保健法施行規則の改正に伴い学校における心臓病検診が推奨され、平成 6 年の学校保健法施行規則の一部改正によって小・中学校、高等学校 1 年生全員の心電図検査が義務付けられた。平成 14 年度に学校生活管理指導表が作成され、静岡県では平成 25 年度から静岡県医師会の指導により県下統一書式の使用を開始した。

学校心臓病検診の主な目的は、①心疾患の早期発見、②突然死の防止、③心疾患の適切な管理指導である。

当協会では、平成 18 年度より一部の小・中学校において、専門医療機関受診の際に診療情報提供書を作成し追跡調査を行っている。また一次検診で不整脈や心筋疾患を正しくスクリーニングするために、平成 29 年度には省略 4 誘導心電図（I、aVF、V₁、V₆）を実施していた地区の検査を標準 12 誘導心電図へ移行した。

〔検査方法〕

当協会では一次検診として心臓病検診調査票（問診票）、標準 12 誘導心電図を実施している。検査方法については、小・中学校は主に教育委員会ごと、高等学校は学校ごとに指定され、一部の学校では心音図も実施している。

〔判定〕

当協会の検診システムは A 方式と B 方式がある。A 方式は一次検診（心臓病検診調査票、心電図）の判定後、二次検診（専門医診察、安静時心電図、必要に応じて負荷心電図等）を実施し、総合判定を行ってから専門医療機関を受診する。B 方式は一次検診の判定後、専門医療機関を受診する。

（図 3）

〔結果〕

令和 5 年度に当協会が心臓病検診を実施した小・中学校、高等学校は 504 校（A 方式 139 校、B 方式 365 校）、受診者数 64,897 人（A 方式 10,043 人、B 方式 54,854 人）で、管理中 509 人（0.8%）、要精密 1,849 人（2.8%）であった。

小・中学校、高等学校別に比較すると、小学校は 246 校（A 方式 88 校、B 方式 158 校）、受診者数 26,888 人（A 方式 6,178 人、B 方式 20,710 人）で、管理中 207 人（0.8%）、要精密 629 人（2.3%）であった。検診システム別では A 方式の要二次検診 123 人（A 方式の 2.0%）、要精密 72 人（A 方

式の 1.2%）であった。B 方式の要精密 557 人（B 方式の 2.7%）であった。

中学校は 153 校（A 方式 51 校、B 方式 102 校）、受診者数 15,984 人（A 方式 3,865 人、B 方式 12,119 人）で、管理中 103 人（0.6%）、要精密 449 人（2.8%）であった。検診システム別では A 方式の要二次検診 112 人（A 方式の 2.9%）、要精密 58 人（A 方式の 1.5%）であった。B 方式の要精密 391 人（B 方式の 3.2%）であった。

高等学校は 105 校（B 方式のみ）、受診者数 22,025 人で、管理中 199 人（0.9%）、要精密 771 人（3.5%）であった。

その他に特別支援学校 36 校、大学・専門学校 2 校、幼稚園 1 園、施設 2 軒実施した。特別支援学校の受診者数は 1,177 人、管理中 96 人（8.2%）、要精密 78 人（6.6%）であった。

総受診者数は 66,334 人で、昨年度より 1,307 人減少した。（表 1 および全体集計表）

〔まとめ〕

最近ではほとんどの先天性心疾患は入学前に診断・治療され、専門医の管理を受けていることが多く、心肺蘇生法や AED（自動体外式除細動器）の普及が児童生徒の救命につながる時代となった。一方、心臓病検診の目的を達成するための課題として、『心臓病検診調査票の正確性』、『小学 4 年生での検診実施』があげられる。調査票は児童生徒本人が記入するのではなく、遺伝や症状を理解した保護者等が正確に記入することが望ましい。また学年がすすむにつれて増加する不整脈や心筋疾患を早期発見するために、小学 1 年生と中学 1 年生の間にもう一度検診を受けることが望ましいとされており、当協会でも小学 4 年生で実施している学校が多い。

心疾患がある児童生徒が過度の運動・生活制限をされることなく、よりよい学校生活を送るためには、主治医、保護者、学校、学校医に加え、児童生徒自身が病態を把握し、学校生活管理指導表を適切に活用して個々に合った管理をすることが重要である。

我々検診機関も心疾患の早期発見に貢献するために、専門医と連携して精度の高い検診を行い、児童生徒が安心・安全で充実した学校生活を送ることができるよう努力を重ねていきたい。

（田代 真奈美）

表 簿 指 理 管 活 生 校 学 图 1

受診日	年	月	日
受診医療機関			
医師名			
印			

①診断名（所見名）	理学的所見	④次回受診	（ ）年（ ）カ月後 または異常があるとき
	胸部レントゲン	③運動クラブ活動 可・禁 【 クラブ 】 〔 ただし、 〕 可・禁	
	心電図(12誘導)		
	運動負荷心電図		
	ホルター心電図		
	心エコー		
②指導区分 要管理 (A ・ B ・ C ・ D ・ E) 管理不要	③運動クラブ活動 可・禁 【 クラブ 】 〔 ただし、 〕 可・禁	④次回受診 () 年 () カ月後 または異常があるとき	

体育活動		運動強度	軽い運動 (C・D・Eは "可")	中等度の運動 (D・Eは "可")	強い運動 (Eのみ "可")
* 身体づくり	体ほぐしの運動	1・2年生	体のバランスをとる運動遊び (寝転が、起きる、座る、立つなどの動きで構成される遊びなど)	用具を操作する運動遊び (用具を持つ、回す、転がす、くぐるなどの動きで構成される遊びなど)	体を移動する運動遊び (走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される遊び)
	多様な動きをつくる運動	3・4年生	体のバランスをとる運動 (寝転が、起きる、座る、立つ、ケンケンなどの動きで構成される遊びなど)	用具を操作する運動 (用具をつかむ、持つ、落とす、降ろす、なわなどの動きで構成される遊びなど)	力試しの運動(人を押す、引く動きや力比べをする動きで構成される運動)基本 的な動きを組み合わせた運動
	多様な動きをつくる運動	5・6年生	体の柔らかさを高める運動(ストレッチングを含む)、軽いウォーキング	巧みな動きを高めるための運動、ボール・輪・棒を使った運動 (リズムに合わせての運動)	時間やコースを決めて行う全身運動 (短め、長め、なわ遊び、持久走)
	体力を高める運動	1・2年生	いろいろな歩き方、ゴム跳び遊び	ケンパ・跳び遊び	全力でのかけて、折り返しリレー遊び 低い障害物を用いてのリレー遊び
陸上運動系	走・跳の運動	3・4年生	ウォーキング、軽い立止幅跳び		全力でのかけて、周回リレー、小型ハードル走 短い助までの幅跳び及び高跳び
	走・跳の運動	5・6年生		ゆっくりとしたジョギング、軽いジャンプ動作(幅跳び・高跳び)	全力での短距離走、ハードル走 助走をじり走り幅跳び、助走をした走り高跳び
	陸上運動				
ボール運動系	ゲーム、ボールゲーム、鬼遊び(低学年)	1・2年生	その場でボールを投げたり、ついたり、捕ったりしながら行う当て遊び	ボールを蹴ったり止めたりして行う当て遊びや蹴り合い 陣地を取り合うなどの簡単な鬼遊び	ゲーム(試合)形式
	ゴール型・ネット型・ベースボール型ゲーム(中学年)	3・4年生	基本的な操作 (パス、キャッチ、キック、ドリブル、シュート、バンティングなど)	簡易ゲーム (場の工夫、用具の工夫を加え、基本的操作を踏まえたゲーム)	
	ボール運動	5・6年生		雲梯、くく木を使った運動遊び	マット、鉄棒、跳び箱を使った運動遊び
器械運動系	器械・器具を使った運動遊び	1・2年生	ジャンプリズムを使った運動遊び	基本的な動作 マット(前転、後転、壁倒立、補助倒立など) 跳び箱(開閉跳びなどの部分的な動作) 鉄棒(前回り下りなどの部分的な動作)	連続技や組合せの技
	器械運動	3・4年生	基本的な動作 マット(前転、後転、壁倒立、フリッジなどの部分的な動作) 跳び箱(開閉跳びなどの部分的な動作) 鉄棒(前回り下りなどの部分的な動作)	雲梯、くく木を使った運動遊び	
	マット、跳び箱、鉄棒	5・6年生		雲梯、くく木を使った運動遊び	
水泳系	水遊び	1・2年生	水に慣れる遊び (水かかげ、水につかっている電車ごっこなど)	泳ぐもくもく遊び (壁につかまわっているジャンケン・にらめっこなど)	水につかっているリレー遊び、バブリング・ボビングなど
	泳ぐ・泳ぐ運動	3・4年生	泳ぐ運動(伏し泳ぎ、背泳ぎ、くぐり泳ぎなど)	泳ぐ運動(けし泳ぎなど)	補助員を使ったクロール、平泳ぎのストロークなど
	水泳	5・6年生	泳ぐ運動(伏し泳ぎ、背泳ぎ、くぐり泳ぎなど)	泳ぐ運動(けし泳ぎなど)	クロール、平泳ぎ
表現運動系	表現リズム遊び	1・2年生	まねっこ遊び(鳥、昆虫、恐竜、動物など)	まねっこ遊び(飛行機、遊園地の乗り物など)	リズム遊び(弾む、回る、ねじる、スキップなど)
	表現運動	3・4年生	その場での即興表現	軽いリズムダンス、フォークダンス、日本の民謡の簡単なステップ	変化のある動きをつなげた表現(ロック、サンバなど) 強い動きのある日本の民謡
	表現運動	5・6年生			スキースケートの滑走など
雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動			雪遊び、氷上遊び	スキースケートの歩行、水辺活動	体力を相当使って歌(楽器(ドラム、バセット、トロンボーン、オーボエ、バスーン、ホルンなど)、リズムのなかり速い曲の演奏や指揮、行進を伴うマーチングパレードなど
文化活動			体力の必要な長時間の活動を除く文化活動		
学校行事、その他の活動			▼運動会、体育祭、球技大会、スポーツフェスティバルなどの上記の運動強度に準ずる。 ▼指導区分、"E" 以外の児童の遠足、宿泊学習、修学旅行、林間学校、臨海学校などの参加については不明な場合は学校医・主治医と相談する。 ▼陸上運動系・水泳系の距離(学習指導要領参照)については、学校医・主治医と相談する。		

その他注意事項

定義 同年齡の平均的児童にとって、ほとんど息がはずまない程度の運動。
(軽い運動) 同年齡の平均的児童にとって、少し息がはずむが息苦しくない程度の運動。パートナーがいれば案外息がでる程度の運動。
(中等度の運動) 同年齡の平均的児童にとって、少し息がはずむが息苦しくない程度の運動。
(強い運動) 同年齡の平均的児童にとって、息がはずみ息苦しさを感ずるほどの運動。
* 体づく運動：レジスタンス運動(等尺運動)を含む。

图2 杭州植物园卧佛寺遗址

①診断名(所見名)

理学的所見	
胸部レントゲン	
心電図(12誘導)	
運動負荷心電図	
ホルター心電図	
心エコー	

②指導区分
要管理
(A ・ B ・ C ・ D ・ E)

③運動部活動
【 () 部 () 年 () 月 () 日 後
または異常があるとき
可 ・ 禁
可 ・ 禁

【指導区分:A・・・在宅医療・入院が必要 B・・・登校はできるが運動は不可 C・・・軽い運動は可 D・・・中等度の運動まで可 E・・・強い運動も可】

＊体づくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	軽い運動 (C・D・Eは "可")	中等度の運動 (D・Eは "可")	強い運動 (Eのみ "可")
器械運動	(マット、跳び箱、鉄棒、平均台)	準備運動、簡単なマット運動、バランス運動、簡単な跳躍	体の柔らかさおよび巧みな動きを高める運動、力強い動きを高める運動、動きを持続する能力を高める運動	最大限の持久運動、最大限のスピードでの運動、最大筋力での運動
陸上競技	(競走、跳躍、投てき)	基本動作、立ち幅跳び、負荷の少ない投てき、軽いジャンピング(走るのは不可)	簡単な技の練習、助走からの支持、ジャンプ・基本的な技(回転系の技を含む)	演技、競技会、発展的な技
水 泳	(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ)	水慣れ、浮く、伏し浮き、け伸びなど	ジョギング、短い助走での跳躍	長距離走、短距離走の競走、競技、タイムレース
球	バスケットボール ハンドボール サッカー ラグビー バレーボール 卓球 テニス バドミントン ソフトボール 野球	基本動作 (パス、シュート、ドリブル、フエント、リフティング、トラッピング、スローイング、キッキング、ハンドリングなど) 基本動作 (パス、サーブ、ス、レシーブ、トス、フエント、スローーク、ショットなど) 基本動作 (投球、捕球、打撃など) 基本動作 (強いスライダなど)	基本動作を生かした簡易ゲーム (ゲーム時間、コート広さ、用具の工夫などを取り入れた連携プレー、攻撃・防御) クラブで球を打つ練習	簡易ゲーム・レーシングゲーム・応用練習・競技
技	ネット型 ベースボール型 ゴルフ			試合・競技
武道	柔道、剣道、相撲	礼儀作法、基本動作(受け身、素振り、さばきなど)	基本動作を生かした簡単な技・形の練習	応用練習、試合
ダンス	創作ダンス、フォークダンス 現代的リズムのダンス	基本動作(手ぶり、ステップ、表現など)	基本動作を生かした動きの激しさを伴わないダンスなど	各種のダンス発表会など
野外活動	雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、キャンプ、登山、遠泳、水辺活動	水・雪・氷上遊び	スキー、スケートの歩行やゆつくりな滑走平地歩きのハイキング、水に浸かり遊ぶなど	登山、遠泳、潜水、カヌー、ボート、サーフィン、ウインドサーフィンなど
文化 的 活 動		体力の必要な長時間の活動を除く文化活動	右の強い活動を除くほとんどの文化活動	体力を相対使って吹く楽器(トランペット、トロンボーン、オーボエ、バスーン、ホルンなど)、リズムのかなり速い曲の演奏や指揮、行進を伴うマーチングバンドなど
学 校 行 事、そ の 他 の 活 動		▼運動会、体育祭、球技大会、スポーツフェスタなどは上記の運動強度に準ずる。 ▼指導区分、"E" 以外の生徒の遠足、宿泊学習、修学旅行、林間学校、臨海学校などの参加について不明な場合は学校医・主治医と相談する。		

その他注意すること

《軽い運動》 同年齢の平均的生徒にとって、ほとんど息がはずまない程度の運動。
《中等度の運動》 同年齢の平均的生徒にとって、少し息がはずむが息苦しくない程度の運動。パートナーがいれば素に会話ができる程度の運動。
《強い運動》 同年齢の平均的生徒にとって、息がはずみ息苦しさを感じるほどの運動。
* 体つづ運動：レジスタンス運動（等尺運動）を言ふ。

表 1 年度別学校数と受診者数

	年度	学校数			受診者数 a			要精密検査者数 b			% (b/a)		
		A方式	B方式	計	A方式	B方式	計	A方式	B方式	計	A方式	B方式	計
小学校	令和2	96	161	257	6,809	21,869	28,678	60	598	658	0.88	2.73	2.29
	3	94	158	252	6,764	21,299	28,063	70	580	650	1.03	2.72	2.32
	4	95	158	253	6,385	21,389	27,774	81	566	647	1.27	2.65	2.33
	5	88	158	246	6,178	20,710	26,888	72	557	629	1.17	2.69	2.34
中学校	令和2	54	102	156	4,254	12,675	16,929	59	400	459	1.39	3.16	2.71
	3	54	96	150	4,179	12,359	16,538	66	377	443	1.58	3.05	2.68
	4	50	102	152	3,994	12,185	16,179	42	425	467	1.05	3.49	2.89
	5	51	102	153	3,865	12,119	15,984	58	391	449	1.50	3.23	2.81
高等学校	令和2	0	105	105	0	22,654	22,654	0	688	688	0	3.04	3.04
	3	0	105	105	0	21,429	21,429	0	595	595	0	2.78	2.78
	4	0	105	105	0	22,191	22,191	0	679	679	0	3.06	3.06
	5	0	105	105	0	22,025	22,025	0	771	771	0	3.50	3.50
その他	令和2	0	37	37	0	1,470	1,470	0	54	54	0	3.67	3.67
	3	0	37	37	0	1,473	1,473	0	56	56	0	3.80	3.80
	4	0	39	39	0	1,497	1,497	0	76	76	0	5.08	5.08
	5	0	41	41	0	1,437	1,437	0	89	89	0	6.19	6.19
合計	令和2	150	405	555	11,063	58,668	69,731	119	1,740	1,859	1.08	2.97	2.67
	3	148	396	544	10,943	56,560	67,503	136	1,608	1,744	1.24	2.84	2.58
	4	145	404	549	10,379	57,262	67,641	123	1,746	1,869	1.19	3.05	2.76
	5	139	406	545	10,043	56,291	66,334	130	1,808	1,938	1.29	3.21	2.92

表 2 有所見者心疾患別内訳

	年度	受診者数	先天性心疾患		後天性心疾患		心電図異常		心音図異常		心電心音図異常		心筋症		川崎病既往		調査票異常	
小学校	令和2	28,678	88	0.31	10	0.03	390	1.36			6	0.02	4	0.01	92	0.32	68	0.24
	3	28,063	82	0.29	13	0.05	384	1.37	1	0.004	12	0.04	2	0.007	102	0.36	55	0.20
	4	27,774	91	0.33	5	0.02	388	1.40			8	0.03	1	0.004	90	0.32	64	0.23
	5	26,888	68	0.25	5	0.02	416	1.55							95	0.35	56	0.21
中学校	令和2	16,929	35	0.21	6	0.04	363	2.14	3	0.02	6	0.04			1	0.01	45	0.27
	3	16,538	42	0.25	7	0.04	339	2.05	3	0.02	8	0.05	1	0.006	5	0.03	38	0.23
	4	16,179	47	0.29	7	0.04	355	2.19	2	0.01	9	0.06			5	0.03	42	0.26
	5	15,984	40	0.25	4	0.03	359	2.25					1	0.006	4	0.03	45	0.28
高等学校	令和2	22,654	1	0.004			660	2.91	7	0.03	4	0.02					18	0.08
	3	21,429	1	0.005			540	2.52	21	0.10	3	0.01					33	0.15
	4	22,191					636	2.87	14	0.06	5	0.02					24	0.11
	5	2,2025					736	3.34	1	0.005							34	0.15

表3 心電図異常団体別件数

* 重複所見を含む

順位	小学校（心電図異常 416 人）			中学校（心電図異常 359 人）			高等学校（心電図異常 736 人）		
	所見	人数	%	所見	人数	%	所見	人数	%
1	不完全右脚ブロック	191	45.91	不完全右脚ブロック	127	35.38	不完全右脚ブロック	197	26.77
2	心室性期外収縮	62	14.90	心室性期外収縮	82	22.84	心室性期外収縮	134	18.21
3	上室性期外収縮	37	8.89	S T-T 異常	32	8.91	左室肥大	80	10.87
4	WPW	20	4.81	上室性期外収縮	22	6.13	S T-T 異常	78	10.60
5	完全右脚ブロック	19	4.57	Q T 延長	21	5.85	左軸偏位	47	6.39
5	右軸偏位	19	4.57						

表4 精密検査受診結果管理別内訳

対象名	精検対象者	要医療	要観察	管理不要	未回収・不明
幼稚園	6			6	
小学校	629		23	115	491
中学校	449		35	121	293
高等学校	771		84	379	308
大学・専門学校	4		2	2	
特別支援学校	78		10	53	15
施設	1		1		
計 (%)	1,938		155 (8.00)	676 (34.88)	1,107 (57.12)

1 ; (A方式は二次、B方式は一次検診にて要精検となった生徒の追跡調査結果)

表5 静岡県内1年生在籍数と当協会で実施した心臓検診受診者数と割合(%)

	校数及在籍生徒数		心電心音図実施数		心電図のみ実施数		実施数合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
小学校	493	27,255	0	0	246(49.9)	13,236(48.6)	246(49.9)	13,236(48.6)
中学校	287	31,642	2(0.7)	79(0.2)	151(52.6)	15,824(50.0)	153(53.3)	15,903(50.3)
高等学校	157	30,400	3(1.9)	657(2.2)	102(65.0)	21,237(69.9)	105(66.9)	21,894(72.0)
計	937	89,297	5(0.5)	736(0.8)	499(53.3)	50,297(56.3)	504(53.8)	51,033(57.1)

図3 心臓検診のシステム

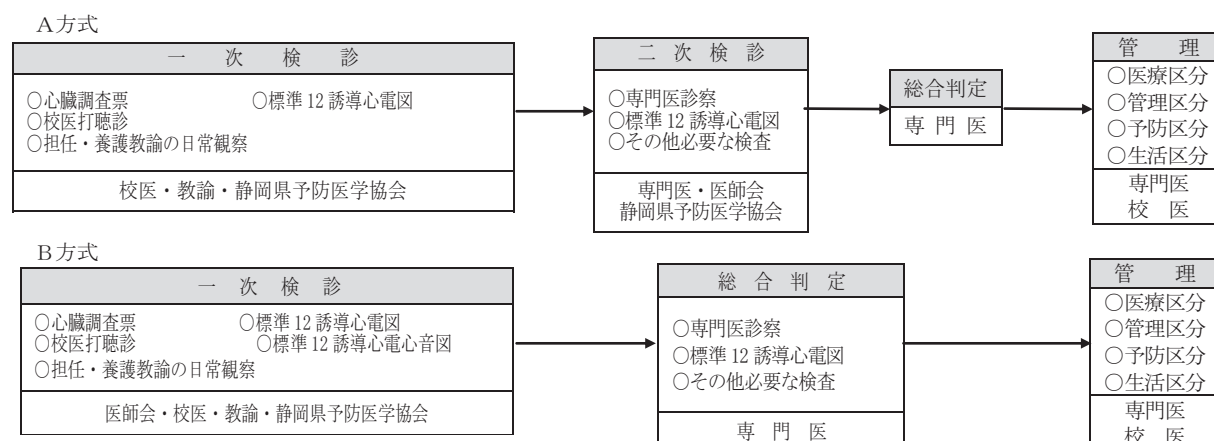


表 6 先天性心疾患の所見別内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
心 室 中 隔 欠 損 症		25 (13)		12 (4)				1
心 房 中 隔 欠 損 症		12 (7)		10 (8)				
肺 動 脈 狭 窄 症		8 (2)		3 (1)				
フ ァ ロ ー 四 徴 症		1 (1)		4 (4)				
両大血管右室起始症		2 (2)						
完全大血管転位症		2 (2)						
総肺静脈還流異常		1 (1)						
心 内 膜 欠 損 症		4 (4)		1 (1)				
大動脈弁狭窄症		4 (2)		1				
純型肺動脈閉鎖症		1 (1)						
大動脈縮窄複合				1 (1)				
大動脈縮窄症		1 (1)		1 (1)				
大動脈二尖弁		1						
動脈管開存症		5 (3)		4 (2)				
卵円孔開存症		2		1				
左心低形成症候群				1 (1)				
無脾症候群				1 (1)				
多脾症候群		1 (1)						
右胸心		1		3				
修正大血管転位症				1 (1)				
僧帽弁開存		1						
単心室				1 (1)				
三心房心		1						
冠動脈瘻		1		1				
大動脈離断		1 (1)		1 (1)				
心臓腫瘍		1						
左心臓弁狭窄症		1						
複雑心奇形		1 (1)						
計		78 (42)		47 (27)				1

() 内の数字はその診断項目の手術済み数を示す。

表 7 後天性心疾患の所見別内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
僧帽弁閉鎖不全症				4 (1)				
大動脈弁閉鎖不全症		1		1				
肺動脈閉鎖不全症								
三尖弁閉鎖不全症		1						
僧帽弁逆流								
弁逆流		1						
三尖弁逆流		1						
大動脈弁逆流		2						
僧帽弁狭窄症		1 (1)						
計		7 (1)		5 (1)				

() 内の数字はその診断項目の手術済み数を示す。

表 8 心筋症・川崎病既往の内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
心 筋 症				1				
川 崎 病 既 往		96		4				1
計		96		5				1

表 9 調査票等の内訳

区 分	小学校		中学校		高等学校		その他	
	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
心 雑 音	10	5	7	3				
調 査 票		30		30		34		4
不 整 脈		7		5				
計		52		45		34		4

表10 心音図異常の所見別内訳

区 分		小学校		中学校		高等学校		その他	
		A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
収 縮 期 雑 音							1		8
収 縮 期 ク リ ッ ク									1
Ⅱ 音 分 裂									
心 雑 音									
Ⅲ 雑 音									
無 害 性 雑 音									
拡 張 期 雑 音									
そ の 他									
計						1		9	

表11 心電図異常の所見別内訳

区 分		小学校		中学校		高等学校		その他	
		A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式	A方式	B方式
洞 性	頻 脈		1		9		34		3
	徐 脈		3		3		12		
房 室	解 離	1	2				6		
左 脚	不 完 全								
	完 全								
右 脚	不 完 全	12	179	11	116		197		18
	完 全	2	17	2	7		24		4
房室ブロック	(第1度)		1		6		18		3
	(第2度)		1				7		
	(第3度)		2						
期外収縮	上 室 性	6	31	3	19		23		1
	心 室 性	16	46	12	70		134		8
W	P	4	16	4	12		33		2
L	G		2		2				
Q	T		5	2	19		17		4
異 常	P 波		8		9		8		
異 常	Q 波	3	5	2	7		7		4
Q	S			1	1				
S	T	3	15	2	30		78		9
肥 大	右	8	6	8	3		4		14
	左	7	4	5	3		80		5
軸偏位	右		19		19		41		
	左	5	9	2	5		47		1
軸 (不定軸・軸偏位・回転)			3		2		1		
調律 (結節性・接合部・補充)			1				9		
洞 性 不 整 脈			14		6		28		
洞 房 ブ ロ ッ ク							2		
R 波 増 高 不 良			2		4				
ブ ル ガ ダ 症 候 群		1	1				16		
心 室 内 伝 導 障 害			1		1				
陰 性 T 波		2					6		5
平 低 T 波									
左 房 調 律				1	1				
心 室 内 ブ ロ ッ ク							25		1
心 室 固 有 調 律		1					2		
左 脚 前 枝 ブ ロ ッ ク					1		6		
移動性ペースメーカー									
P R (P Q) 短 縮							2		
異 所 性 心 房 調 律									
左 室 高 電 位							3		
そ の 他			4	2			12		1
計		469		412		882		83	

表13 心 臓 検 診 成 績 方 式 別 集 計 表

幼稚園 区分		受診者数		管理中		要精密検査の心疾患別内訳														調査票による受診結果				管理 不要	不明 回収		
						要 観 察		要精密検査		先天性 心疾患		後天性 心疾患		心電図異常		心電音 図異常		川崎病 後遺症		心筋症		調査票 異常等					
																						調査票による受診結果					
検査方法		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	A	B	C	D	E			
B方式12誘導		1	38	49	87	4	0	4	0	4	0	4	2	6											6		
幼稚園合計		1	38	49	87	4	0	4	0	4	0	4	2	6											6		

小 学 校

区分 検査方法	学 校 数	受 診 者 数		管 理 中		要 観 察		要精密検査		先天性 心疾患		後天性 心疾患		心電図異常		心電心音 図異常		川崎病 後遺症		心筋症		調査票 異常等		調査票による受診結果					管理 不要	未不 回 収 明	
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	A	B	C	D			E
A 方式 12 誘導	88	3,120	3,031	6,151	52	38	90		0	44	28	72			42	27							5	5		1	13	32	26		
計	88	3,120	3,031	6,151	52	38	90		0	44	28	72			42	27							5	5		1	13	32	26		
A 方式 (他 学 年)																															
A 方式 12 誘導	14	12	15	27			0		0			0																			
計	14	12	15	27			0		0			0																			
A 方 式 計	88	3,132	3,046	6,178	52	38	90		0	44	28	72			42	27							5	5		1	13	32	26		
B 方式 12 誘導	158	10,576	10,109	20,685	60	57	117		0	324	232	556	37	31	3	2	215	131	48	47			21	21		9	83	464			
計	158	10,576	10,109	20,685	60	57	117		0	324	232	556	37	31	3	2	215	131	48	47			21	21		9	83	464			
B 方 式 (他 学 年)																															
B 方式 12 誘導	14	15	10	25			0		0	1	0	1			1													1			
計	14	15	10	25			0		0	1	0	1			1													1			
B 方 式 計	158	10,591	10,119	20,710	60	57	117		0	325	232	557	37	31	3	2	216	131	48	47			21	21		9	83	465			
小 学 校 合 計	246	13,723	13,165	26,888	112	95	207		0	369	260	629	37	31	3	2	258	158	48	47			26	26		1	22	115	491		

* 「学校数」() は、「他学年」の検診を実施した学校数 (内数)

* 浜松市については事後処置調査票を回収しないため、B方式12誘導の要精密検査計＝調査票による受診結果＋管理不要＋未回収・不明とならない。

*

中学校 区分		学 校 数	受診者数		管理中		要観察		要精密検査				要精密検査の心疾患別内訳								調査票による受診結果				管理 不要	未 回 答 不明								
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常	心音図異常	心電心音 図異常	川崎病 後遺症	心筋症	調査票 異常等												
検査方法	A方式12誘導	51	1,972	1,882	3,854	25	18	43	0	35	23	58	1.77	1.22	1.50							1	6							16	28	14		
	計	51	1,972	1,882	3,854	25	18	43	0	35	23	58	1.77	1.22	1.50							1	6							16	28	14		
A方式 (他学年)	A方式12誘導	8		6	5	11		0				0																						
計		8	6	5	11			0				0																						
A方式計		51 (8)	1,978	1,887	3,865	25	18	43		35	23	58	1.77	1.22	1.50							1	6							16	28	14		
B方式12誘導		100	6,100	5,870	11,970	31	29	60		228	159	387	3.74	2.71	3.23	16	24	2	2	188	112		20	18					2	2	19	91	277	
B方式2心音12誘導		2	30	49	79			0		0	1	1								1												1		
計		102	6,130	5,919	12,049	31	29	60		228	160	388	3.72	2.70	3.22	16	24	2	2	188	113		20	18					2	2	19	91	278	
B方式 (他学年)																																		
B方式12誘導		20	18	52	70			0		0	1	2	3	5.56	3.85	4.29				1	2											2	1	
B方式2心音12誘導					0			0		0		0																						
計		20	18	52	70			0		0	1	2	3	5.56	3.85	4.29				1	2											2	1	
B方式計		102 (20)	6,148	5,971	12,119	31	29	60		229	162	391	3.72	2.71	3.23	16	24	2	2	189	115			20	18					2	2	19	93	279
中学校合計		153 (28)	8,126	7,858	15,984	56	47	103		264	185	449	3.25	2.35	2.81	16	24	2	2	224	135			21	24					2	2	35	121	293

* 「学校数」()は、「他学年」の検診を実施した学校数(内数)

* 浜松市については事後処置調査票を回収しないため、B方式12誘導の要精密検査計＝調査票による受診結果＋管理不要＋未回収・不明とならない。

高 等 学 校 学 校 区 分	学 校 数	受 診 者 数		管 理 中		要 精 密 検 査 の 心 疾 患 別 内 訳														調 査 票 に よ る 受 診 結 果					未 不 回 明 要 求																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
						要 観 察		要 精 密 検 査			先天性 心疾患		後天性 心疾患		心電図異常				川崎病 後遺症		心筋症			調査票 異常等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
															心電図異常																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
															男	女	計	男									女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	A	B	C	D	E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
検査方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

大学・専門学校

学 校 区 分	学 校 数	受 診 者 数		管 理 中		要 精 密 検 査 の 心 疾 患 別 内 訳														調 査 票 に よ る 受 診 結 果				未 不 回 明 要 求																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
						要 観 察		要 精 密 検 査		先 天 性 心 疾 患		後 天 性 心 疾 患		心 電 図 異 常		心 音 図 異 常		川 崎 病 後 遺 症		心 筋 症		調 査 票 異 常 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
検査方法 B 方 式 12 誘 導	2	54	89	143	1	0	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

特別支援学校

学 校 区 分	学 校 数	受 診 者 数		管 理 中		要 精 密 検 査 の 心 疾 患 別 内 訳										調 査 票 に よ る 受 診 結 果					未 不 回 明 要 求		
						要 観 察	要 精 密 検 査			後 天 性 心 疾 患	先 天 性 心 疾 患	心 電 図 異 常				川 崎 病 後 遺 症	心 筋 症						
												男	女	男	女		男	女	男	女			
検査方法 B 方 式 計	36	774	403	1,177	56	40	96					0	51	27	78								
特別支援学校合計	36	774	403	1,177	56	40	96					0	51	27	78								

施設

区分	施設 数	受診者数		管 理 中		要 精 密 検 査 の 心 疾 患 別 内 訳														調査票による受診結果				未 不 回 明 要 求																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
						要 観 察	要精密検査				後天性 心疾患	先天性 心疾患	心電図異常				川崎病 後遺症	心筋症		調査票 異常等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
							男	女	計	男			女	計	男	女		男	女				男		女																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
検査方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

* 「学校数」() は、「他学年」の検診を実施した学校数 (内数)

A方式 小学校 (12誘導)

学 校 名	学 年	一 次 検 診										二 次 検 診 結 果										調 査 票 に よ る 受 診 結 果										未 回 収 明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		受 診 者 数					管 理 中					要 二 次 検 診					受 診 者 数					要 観 察					二 次 検 診 有 所 見 者						心 疾 患 別 内 訳 (要 経 観 ・ 要 精 検)					心 疾 患 別 内 訳 (要 経 観 ・ 要 精 検)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計		男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		

A方式 中学校 (12誘導)

市町村名	学 校 数	一 次 検 診										二 次 検 診 結 果										診 査										調 査 票 に よ る 受 診 結 果										未 回 答																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		受 診 者 数		管 理 中		要 二 次 検 診						受 診 者 数		要 観 察		要 精 密 検 査		先 天 性 心 疾 患		後 天 性 心 疾 患		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常			心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常		心 電 図 異 常	

疾患2種×1

疾患2種×1

疾患2種×2

B方式 幼稚園 (12誘導)

区分 市町村名	園 数	対象学 年		受診者数		管理中		有所見者内訳		要精密検査の心疾患別内訳										調査票による受診結果						
		男	女	計	男	女	計	要 観 察	要精密検査	先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常	心音図異常	心電心音 図異常	川崎病 後遺症	心筋症		調査票 異常等		A	B	C	D	E	不要 収 入	
																男	女	男	女							男
浜松市	1	38	49	87	4	0	4																			6
B方式12誘導 幼稚園計	1	38	49	87	4	0	4																			6

B方式 小学校 (12誘導)

区分 市町村名		学 校 数	受診者数		管理中		有所見者内訳		要精密検査の心疾患別内訳										調査票による受診結果					未 回 診									
			要観察		要精密検査		先天性心疾患		後天性心疾患		心電図異常		心音図異常		心電心音図異常		川崎病後遺症		心筋症		調査票異常等		調査票による受診結果										
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		A	B	C	D	E	説明			
静岡県	市	3	1.4	198	237	435	2	7	9		0	6	6	12															3	7	2		
島田市	市	14	1.4	681	650	1,331	16	12	28		0	6	4	10															4	3	3		
中部	計	17		879	887	1,766	18	19	37		0	12	10	22															7	10	5		
浜松市	市	98	1.4	6,895	6,441	13,336	6	1	7		0	240	176	416																1	3	412	
磐田市	市	22	1.4	1,451	1,419	2,870	25	16	41		0	34	20	54															1	27	26		
袋井市	市	12	1.4	780	777	1,557	6	10	16		0	10	14	24															1	3	7		
湖西市	市	6	1.4	434	458	892	3	9	12		0	26	11	37																	23	14	
西部市	計	138		9,560	9,095	18,655	40	36	76		0	310	221	531																2	70	459	
周智郡森町	市	3	1.4	137	127	264	2	2	4		0	2	1	3																	3		
西部郡	計	3		137	127	264	2	2	4		0	2	1	3																		3	
西部市	計	141		9,697	9,222	18,919	42	38	80		0	312	222	534																	2	73	459
B方式12誘導 小学校	計	158		10,576	10,109	20,685	60	57	117		0	324	232	556																	9	83	464
(他学年)																																	
中部	計	1	他	1	0	1		0			0																						
西部	計	13	他	14	10	24		0			0	1	0	1																	1		
他学年	計	14		15	10	25		0			0	1	0	1																1		1	

* 浜松市については事後処置調査票を回収しないため、要精密検査計＝調査票による受診結果＋管理不要＋未回収・不明とならない。□

B方式 中学校 (12誘導)

区分 市町村名	学 校 数	受診者数		管 理 中		有 所 見 者 内 訳				要精密検査の心疾患別内訳										調査票による受診結果					未 回 答 説明								
		男 女		計		要 観 察		要精密検査		先天性 心疾患		後天性 心疾患		心電図異常		心音図異常		心電図異常		川崎病 後遺症		心筋症		調査票 異常等		A	B	C	D	E			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男							女	男	女
富士宮市	1	33	36	69			0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0							1	
富士市	1	6	10	16			0			0																							
裾野市	1	0	80	80			0			0																							
東 部 計	3	39	126	165			0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0							1	
静岡市	10	433	385	818	9	8	17	0	11	4	15	11	4	15	11	4	15	11	4	15	11	4	15	11	4						2	5	8
島田市	5	368	385	753	6	5	11	0	4	11	15	0	4	11	15	0	3	11	0	3	11	0	1	0	1						3	7	5
中 部 計	15	801	770	1,571	15	13	28	0	15	15	30	0	15	15	30	0	14	15	0	14	15	0	1	0	1						5	12	13
浜松市	59	3,728	3,517	7,245	2	2	4	0	146	111	257	16	24	2	2	109	65	2	2	1	17	17	2	2	1	17	17				4	18	235
磐田市	11	777	736	1,513	9	5	14	0	42	14	96	0	42	14	96	0	41	14	0	41	14	0	1	0	1						3	28	25
袋井市	4	401	384	785	1	4	5	0	4	7	11	0	4	7	11	0	4	7	0	4	7	0	0	0	0						3	6	2
菊川市	1	13	47	60			0	0	0	2	2		0	2	2		2		2		2		2									2	
湖西市	5	270	219	489	4	4	8	0	19	9	28		0	19	9	28		18	8						1	1					3	24	1
西部市計	80	5,189	4,903	10,092	16	15	31	0	211	143	354	16	24	2	2	172	96	2	2	1	19	18	2	2	1	19	18				13	78	263
周智郡森町	2	71	71	142	0	1	1	0	1	1	2	0	1	1	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0						1	1	
西部郡計	2	71	71	142	0	1	1	0	1	1	2		0	1	1	2	1	1													1	1	
西部郡計	82	5,260	4,974	10,234	16	16	32	0	212	144	356	16	24	2	2	173	97	2	2	1	19	18	2	2	1	19	18				14	79	263
B方式12誘導 中学校計	100	6,100	5,870	11,970	31	29	60	0	228	159	387	16	24	2	2	188	112	2	2	1	20	18	2	2	1	20	18				19	91	277
(他 学 年)																																	
東 部 計				0			0																										
中 部 計	1	他	1	0	1		0																										
西部郡計	19	他	17	52	69	0		0	1	2	3	0				1	2														2	1	
他 学 年 計	20		18	52	70	0		0		1	2	3	0			1	2														2	1	

* 浜松市については事後加置調査票を回収しないため、要精密検査計＝調査票による受診結果＋管理不要＋未回収・不明とならない。□

B方式 中学校 (2心音12誘導)

市町村名	区分	学校数	対象学年	受診者数		管理中		有所見者		要精密検査		要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 回 収 明			
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常		心電心音 図異常		川崎病 後遺症		心筋症		調査票 異常等		A	B	C	D		E		
															男	女	男	女	男	女	男	女	男	女							男	女
藤枝市		2	1	30	49	79	0			0	0	1	1	1	1																	1
中部計		2		30	49	79	0			0	0	1	1	1	1																	1
該当なし																																
西部計						0	0			0	0		0																			
B方式2心音12誘導中学校計		2		30	49	79	0			0	0	1	1	1	1																	1
(他学年)																																
該当なし																																
西部計			他			0	0			0				0																		
他学年計						0	0			0				0																		

B方式 高等学校 (12誘導)

市町村名		学 校 数	対 象 学 年		受 診 者 数		管 理 中		有 所 見 者 内 訳				要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 収 明						
													要精密検査			先天性 心疾患		後天性 心疾患		心電図異常		心音異常		川崎病 後遺症		調査票 異常等		調査結果								
													男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		A	B	C	D	E	
熱海	市	1	27	12	39	1	0	1			0																									
沼津	市	8	909	864	1,773	8	11	19			0	40	9	49																		6	15	28		
三島	市	1	45	55	100	3	1	4			0	2	0	2																			2			
富士宮	市	4	386	401	787	4	4	8			0	15	10	25																						
富士	市	7	749	701	1,450	9	9	18			0	28	10	38																						
裾野	市	1	0	88	88	0	1	1			0	0	1	1																				1		
		1			0	0		0			0			0																						
東部市計	22	2,116	2,121	4,237	25	26	51	0	85	30	115	4.02	1.41	2.71																		4	3	17	30	68

B方式 高等学校 (12誘導)

市町村名 該 当 な し		学 校 数	受 診 者 数		管 理 中		有 所 見 者				内 訳		要精密検査の心疾患別内訳										調査票による受診結果					未 回 収 明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			受 診 者 数		管 理 中		要 観 察		要精密検査		先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常	心電図異常	心音図異常	心電心音 図異常	川崎病 後遺症	心筋症	調査票 異常等		A	B	C	D	E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			男	女	計	男	女	計	男	女									計	男						女	計		男	女	男	女	男	女	男	女																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

B方式 高等学校 区分		対象学年		受診者数		管理中		要観察		要精密検査		要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 回 理 要 求		
												先天性心疾患						後天性心疾患						心電図異常			心音異常				
												男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
市町村名				男	女	計	男	女	計	男	女	計																			
沼津市	2	他	12	8	20	0			0																						
富士市		他			0				0																						
東部市計	2		12	8	20	0			0																						
該当なし																															
東部郡計					0				0																						
東部計	2		12	8	20	0			0																						
該当なし																															
中部市計					0				0																						
中部計					0				0																						
浜松市	3	他	2	25	27	0			0			0	1	1																	1
磐田市	1	他	55	26	81	0			0			5	0	5										5							5
西部計	4		57	51	108	0			0			5	1	6										5	1						6
他学年計	6		69	59	128	0			0			5	1	6										5	1						6

B方式 高等学校 区分		対象学年		受診者数		管理中		要観察		要精密検査		要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 回 理 要 求			
												先天性心疾患						後天性心疾患						心電図異常			心音異常					
												男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
市町村名				男	女	計	男	女	計	男	女	計																				
島田市	1	1	183	21	204	1	0	1	0	1	0	1																				
藤枝市	2	1	245	208	453	2	3	5				0	10	5	15															10	5	
中部計	3		428	229	657	3	3	6				0	11	5	16									9	5	1				11	5	
該当なし																																
西部計					0			0																								
B方式2心音12誘導 高等学校計	3		428	229	657	3	3	6				0	11	5	16									9	5	1					11	5

B方式 高等学校 (2心音12誘導) 他学年

区分 市町村名	学校数	対象学年	受診者数		管理中		有所見者		要精密検査		要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 回 診 要 求 理由			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常	心電図異常	心電図異常	川崎病 後遺症	心筋症	調査票 異常等		A	B	C	D	E						
																			男	女											
島田市		他			0			0																							
藤枝市	1	他	3	0	3	1	0	1								1													1		
中部計	1		3	0	3	1	0	1								1													1		
該当なし																															
西部計					0			0																							
他学年計	1		3	0	3	1	0	1								1													1		

B方式 大学・専門学校 (12誘導)

区分 市町村名	学校数	対象学年		受診者数		管理中		有所見者内訳		要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果					未 回 診 要 求 理由						
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常			心電図異常			心電図異常		調査票 異常等	A	B	C	D	E		取明					
													心電図異常	心音図異常	心電図異常	心音図異常	心電図異常	心音図異常	心電図異常	心音図異常													
該当なし																																	
中部計						0			0																								
浜松市	2	1	54	89	143	1	0	1																								2	2
磐田市		1			0			0																									
西部計	2		54	89	143	1	0	1																								2	2
B方式12誘導 大学専門学校計	2		54	89	143	1	0	1																								2	2

B方式 特別支援学校

市町村名	学 校 数	受診者数		管 理 中		有 所 見 者 内 訳		要精密検査の心疾患別内訳												調査票による受診結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		男		女		計		要 観 察		要精密検査		先天性 心疾患		後天性 心疾患		心電図異常		心音図異常		心電心音 図異常		川崎病 後遺症		心筋症		調査票 異常等		A		B		C		D		E		不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
沼 津 市	4	44	35	79	2	2	4	0	1	5	6					1	3	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

B方式 施設

区分	市町村名	学 校 数	対 象 学 年		受診者数			管 理 中			有 所 見 者 内 訳			要精密検査の心疾患別内訳												調 査 票 に よ る 受 診 結 果				
			男	女	計	男	女	計	要 観 察	要精密検査		先天性 心疾患	後天性 心疾患	心電図異常		心音図異常	心電図異常 心音図異常	心電図異常 心音図異常	川崎病 後遺症	心筋症	調査票 異常等		A	B	C	D	E	未 管理 回		
										男	女			男	女						男	女							男	女
伊 東 市	東 部 計	1	14	15	29	1	1	2	0	1	0	1			1														1	
											7.14																			
浜 松 市	東 部 計	1	14	15	29	1	1	2	0	1	0	1			1													1		
磐 田 市	東 部 計	1	1	0	1			0																						
西 部 計	1	1	0	1			0																							
B方式 施設計	2	15	15	30	1	1	2			0	1	0	1			1											1			

3) 学校貧血検査

〔はじめに〕

学校貧血検査は、成長著しいこの時期において、健康状態を把握する指標の一つとして有意義な検査である。

当協会では令和 5 年度に実施した学校貧血検査は 27,980 人であり、そのうち把握しているだけでも 182 人の貧血と診断された児童を見つけている。本検査は、自動血球計数機 XE-2100L(シスメックス製)にておこない、赤血球数(RBC)、血色素量(HGB)、赤血球容積比(HCT)といった赤血球系の貧血検査に加え、白血球数(WBC)についても検査をしている。また、これらの測定値から平均赤血球容積(MCV)、平均赤血球血色素量(MCH)、平均赤血球血色素濃度(MCHC)を算出し、貧血の種類の鑑別に役立てている。

〔成績〕

当協会の貧血検査の判定基準を表 1 に示した。赤血球数では性差が、血色素量と赤血球容積比では性差と年齢差が見られるので、性別及び学年別の基準の設定を行っている。

貧血検査受検者数の年次推移を表 2 に示した。令和 5 年度は、令和 4 年度の学校保健関係 28,965 人と比べ 985 人の減少となった。平成 28 年度以降、児童数の減少などが影響し持続的な減少傾向を示している。成人保健関係は 131,939 人と、昨年度に比べ 756 人の増加となり、総数 159,919 人の内訳は、学校保健関係が全体の 17.5%、成人保健関係が 82.5% という比率であった。

表 3・4 は、貧血検査受検者のうち要受診となった対象者(以下、要受診者)の年次推移を男女別に示したものである。この要受診者の比率をグラフにしたのが、図 1・2 である。令和 5 年度の要受診者の比率は、小学生では男子 3.2%、女子 1.4%、中学生では男子 1.4%、女子 4.3%、高校生では男子 1.3%、女子 4.8% の割合であった。小学生に比べ、中学生・高校生では要受診者の出現頻度が高く、特に女子に高い傾向が認められた。

〔追跡調査結果〕

表 5 は、要受診者が医療機関で受診後、診断結果を記載した事後処置調査表の回答率を示したものである。今年度は、全体で 44.7% の回答率が得られた。診断結果を把握することで、本検査の意義を客観的に評価でき、さらに高精度の検査に繋げることが可能となる。

表 6・7 は、事後処置調査表による回答を男女別に赤血球系低値及び高値、白血球数高値及び低値の 4 つに分類しまとめたものである。回答の内訳をみると、男女合わせた総数 799 人のうち赤血球系低値が 541 人であり、全体の 67.7% を占めている。また、受検者数に対する要受診者の比率を算出してみると、赤血球系低値は男子全体の 13,564 人のうち 76 人(0.6%)、女子全体の 13,456 人のうち 465 人(3.5%)であり、赤血球系高値は男子全体で 8 人(0.1%)、女子全体で 10 人(0.1%)であった。白血球数高値は男子全体で 104 人(0.8%)、女子全体で 130 人(1.0%)であり、白血球数低値は男子全体で 2 人(0.01%)、女子全体で 4 人(0.03%)と、赤血球系低値以外は要受診者の比率に有意な男女差はみられなかった。

また、医療機関を受診した者について調べると、赤血球系低値では男子全体で 39 人、そのうち異常なしが 11 人(28.2%)、貧血群が 14 人(35.9%)、経過観察と診断された者は 14 人(35.9%)であった。一方、女子全体では 224 人のうち異常なしが 19 人(8.5%)、貧血群が 161 人(71.9%)、経過観察と診断された者が 41 人(18.3%)、その他が 3 人(1.3%)であった。赤血球系高値では、男女 5 人のうち、異常なしが 4 人(80.0%)、経過観察が 1 人(20.0%)であった。

白血球数高値では、男女 86 人のうち、異常なしが 51 人(59.3%)、経過観察が 30 人(34.9%)、その他が 5 人(5.8%)であった。白血球数低値では、男女 3 人のうち 3 人とも異常なしであった。

この結果から、特に赤血球系低値で受診した男女 263 人のうち 175 人(66.5%)が貧血群と診断

され、経過観察とされた者が 55 人(20.9%)となり、これらを合わせると当協会にて調査した医療機関に受診した者のうち 87.4%は治療もしくは生活上の改善が必要といえる。このことは、現在用いている基準値が極めて適正に働いていると考えられる。

〔年齢別平均値及び 2SD の範囲〕

平成 19 年度より、学年・性別毎判定基準値方式へ変更のため、学校保健関係と成人保健関係に分離した。

表 8・9 は、令和 5 年度の検査成績を男女別学年別に分け、平均値と標準偏差 (SD) を計算し、基準範囲 (平均値±2SD) として表したものである。

また、図 3・4 は、そのうちの白血球数と血色素量をグラフにしたものである。

白血球数の基準値は、小学 3 年生以下の年齢で他の年代より高めになる傾向が認められているため、

判定基準もやや高めに設定してある。

血色素量の基準値は、学年と性別ごとに差がみられ、特に男子は成長期にあたる中学 1 年生から高校 1 年生にかけて著しい上昇傾向が認められるため、判定基準もそれらに準じた設定をしてある。

〔まとめ〕

貧血検査の要受診率は、近年ほぼ横這いの状態である。これは、食育が注目される一方で、朝食を抜いたりダイエットをするなど、十分な栄養が取れていない子どもがいることなども原因のひとつと推測される。

今回の追跡調査結果を今後の保健指導に活用していただき、また充実した学校生活を送るためにも、学校からの受診勧奨に力を入れていただければ幸いである。
(尾崎 栄世)

表 1 貧血（血液）検査成績判定基準

(平成 19 年 3 月 1 日より)

種 目 性別・年齢		判定区分 (単位)	血色素量 (HGB) g/dl	赤血球容積比 (HCT) %	赤血球数 (RBC) μl	赤血球恒数 (MCV) (MCH) (MCHC) fl pg %	白血球数 (WBC) μl
男	中学3年以上	要 受 診 要 注 意 正 常	11.9 以下・18.1 以上 12.0～13.4 13.5～18.0	35.9 以下・54.1 以上 36.0～39.9 40.0～54.0	<正常範囲> 400～570 万	・MCV 小学6年以下 要受診 69.0 以下 111.0 以上 要注意 { 100.1 ～ 110.9 69.1 ～ 74.9 正 常 75.0 ～ 100.0 中学1年以上 要受診 69.0 以下 111.0 以上 要注意 { 100.1 ～ 110.9 69.1 ～ 80.9 正 常 81.0 ～ 100.0	・大学・短大等以上 要受診 { 2,900 以下 10,100 以上 要注意 { 3,000～ 3,400 9,100～10,000 正 常 3,500～ 9,000
	中学1・2年	要 受 診 要 注 意 正 常	11.4 以下・17.1 以上 11.5～12.4 12.5～17.0	34.9 以下・51.1 以上 35.0～36.9 37.0～51.0			・小学3年～高校 要受診 { 2,900 以下 12,000 以上 要注意 { 3,000～ 3,400 10,100～11,900 正 常 3,500～10,000
	小学生	要 受 診 要 注 意 正 常	10.9 以下・16.1 以上 11.0～11.4 11.5～16.0	32.9 以下・48.1 以上 33.0～34.4 34.5～48.0			・小学2年以下 要受診 { 2,900 以下 12,500 以上 要注意 { 3,000～ 3,400 11,100～12,400 正 常 3,500～11,000
女	大学・短大等以上	要 受 診 要 注 意 正 常	9.9 以下・16.1 以上 10.0～11.9 12.0～16.0	31.9 以下・48.1 以上 32.0～34.9 35.0～48.0	<正常範囲> 370～510 万	・MCH <正常範囲> 25.0～35.0 ・MCHC <正常範囲> 31.0～35.4 ～ 計 算 式 ～ $M C V = \frac{HCT}{RBC} \times 1000$ $M C H = \frac{HGB}{RBC} \times 1000$ $MCHC = \frac{HGB}{HCT} \times 100 $	・小学2年以下 要受診 { 2,900 以下 12,500 以上 要注意 { 3,000～ 3,400 11,100～12,400 正 常 3,500～11,000
	中学校・高等学校	要 受 診 要 注 意 正 常	10.9 以下・16.1 以上 11.0～11.9 12.0～16.0	31.9 以下・48.1 以上 32.0～34.9 35.0～48.0			・小学2年以下 要受診 { 2,900 以下 12,500 以上 要注意 { 3,000～ 3,400 11,100～12,400 正 常 3,500～11,000
	小学校	要 受 診 要 注 意 正 常	10.9 以下・16.1 以上 11.0～11.4 11.5～16.0	32.9 以下・48.1 以上 33.0～34.4 34.5～48.0			・小学2年以下 要受診 { 2,900 以下 12,500 以上 要注意 { 3,000～ 3,400 11,100～12,400 正 常 3,500～11,000

表 2 貧血検査受検者数の年次推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
学校保健関係	40,490	39,636	35,872	34,973	31,402	29,553	28,965	27,980	17.5%
成人保健関係	113,182	121,575	129,071	134,267	130,319	132,355	131,183	131,939	82.5%
合 計	153,672	161,211	164,943	169,240	161,721	161,908	160,148	159,919	100.0%

表3 貧血要受診者年次推移（男子）

年 度	小 学 校			中 学 校			高 等 学 校		
	受検者	要受診者数	率	受検者	要受診者数	率	受検者	要受診者数	率
平成 16	2,387	9	0.4	7,071	62	0.9	14,544	121	0.8
17	2,512	3	0.1	6,584	56	0.9	13,122	106	0.8
18	2,209	5	0.2	7,417	49	0.7	12,870	125	1.0
19	1,209	2	0.2	8,117	82	1.0	13,409	88	0.7
20	1,411	3	0.2	8,384	59	0.7	13,051	106	0.8
21	1,312	3	0.2	7,454	55	0.7	13,214	85	0.6
22	1,298	1	0.1	7,186	68	1.0	13,162	95	0.7
23	1,345	15	1.1	7,393	97	1.3	13,470	179	1.3
24	1,244	10	0.8	7,179	107	1.5	13,050	195	1.5
25	1,231	3	0.2	7,242	62	0.9	13,156	58	0.4
26	1,207	17	1.4	7,384	109	1.5	13,398	175	1.3
27	1,205	14	1.2	7,166	121	1.7	12,781	185	1.4
28	1,279	13	1.0	6,779	98	1.4	12,350	171	1.4
29	1,222	12	1.0	6,333	103	1.6	11,504	162	1.4
30	1,092	13	1.2	5,055	77	1.5	11,265	161	1.4
令和 元	845	12	1.4	4,989	75	1.5	10,868	149	1.4
2	443	7	0.8	5,171	62	1.2	9,459	100	1.1
3	452	2	0.4	4,585	49	1.1	9,182	77	0.8
4	402	4	1.0	4,284	50	1.2	9,233	92	1.0
5	406	13	3.2	4,045	57	1.4	9,113	120	1.3

表4 貧血要受診者年次推移（女子）

年 度	小 学 校			中 学 校			高 等 学 校		
	受検者	要受診者数	率	受検者	要受診者数	率	受検者	要受診者数	率
平成 16	2,245	9	0.4	7,882	255	3.2	15,567	631	4.1
17	2,436	5	0.2	7,189	225	3.1	14,503	623	4.3
18	2,098	8	0.4	7,884	194	2.5	13,643	566	4.3
19	1,173	4	0.3	8,636	195	2.3	13,641	551	4.0
20	1,329	1	0.1	9,049	224	2.5	13,171	511	3.9
21	1,176	3	0.3	8,376	197	2.4	13,629	523	3.8
22	1,252	1	0.1	8,140	178	2.2	13,317	458	3.4
23	1,184	9	0.8	8,510	244	2.9	13,757	592	4.3
24	1,190	14	1.2	8,304	257	3.1	13,242	618	4.7
25	1,174	2	0.2	8,104	168	2.1	12,917	427	3.3
26	1,171	12	1.0	8,466	262	3.1	13,019	543	4.2
27	1,117	15	1.3	8,251	285	3.5	12,678	517	4.1
28	1,200	13	1.1	7,371	240	3.3	11,280	506	4.5
29	1,113	10	0.9	7,057	276	3.9	11,167	473	4.2
30	1,080	6	0.6	5,688	165	2.9	10,519	408	3.9
令和 元	856	8	0.9	6,008	186	3.1	10,255	377	3.7
2	391	0	0.0	5,893	181	3.1	9,084	317	3.5
3	423	3	0.7	5,407	165	3.1	8,467	294	3.5
4	396	3	0.8	5,098	195	3.8	8,582	373	4.3
5	421	6	1.4	4,819	208	4.3	8,216	395	4.8

表5 事後処置調査表による小・中・高校別回答率

区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	要受診者数	回答者数(率)	要受診者数	回答者数(率)	要受診者数	回答者数(率)	要受診者数	回答者数(率)	要受診者数	回答者数(率)	要受診者数	回答者数(率)
小学校	19	14(73.7)	20	15(75.0)	7	3(42.9)	5	1(20.0)	7	4(57.1)	19	9(47.4)
中学校	242	128(52.9)	261	153(58.6)	243	129(53.1)	214	102(47.7)	245	115(46.9)	265	125(47.2)
高等学校	569	261(45.9)	526	289(51.1)	417	191(45.8)	371	161(43.4)	465	225(48.4)	515	223(43.3)
計	830	403(48.6)	807	437(54.2)	667	323(48.4)	590	264(44.7)	717	344(48.0)	799	357(44.7)

表6 事後処置調査表による回答（男子）

区分	受検者	要受診者の内訳			回答者 〔医師に 受診し た者〕	回答内容(診断内容)					
						異常 なし	貧血群	経過 観察	増多症	感染症	減少症
小学校	406	13	赤血球系低値	2							
			赤血球系高値								
			白血球数高値	11	4	2	2				
中学校	4,045	57	白血球数低値	29	18	5	6	7			
			赤血球系高値								
			白血球数高値	28	14	8	6				
			白血球数低値								
			赤血球系低値	45	21	6	8	7			
高等学校	9,113	120	赤血球系高値	8	3	2	1				
			白血球数高値	65	18	13	2				3
			白血球数低値	2	1	1					
			赤血球系低値	76	39	11	14	14			
合計	13,564	190	赤血球系高値	8	3	2	1				
			白血球数高値	104	36	23	10				3
			白血球数低値	2	1	1					

※要受診項目の重複あり

表7 事後処置調査表による回答（女子）

区分	受検者	要受診者の内訳		回答者 〔医師に 受診し た者〕	回答内容(診断内容)						
					異常 なし	貧血群	経過 観察	増多症	感染症	減少症	その他
小学校	421	6	赤血球系低値	2	2		2				
			赤血球系高値								
			白血球数高値	4	3	1	2				
中学校	4,819	208	白血球数低値								
			赤血球系低値	154	75	4	61	10			
			赤血球系高値	3							
			白血球数高値	50	18	15	2			1	
			白血球数低値	1							
高等学校	8,216	395	赤血球系低値	309	147	15	98	31		3	
			赤血球系高値	7	2	2					
			白血球数高値	76	29	12		16		1	
			白血球数低値	3	2	2					
合計	13,456	609	赤血球系低値	465	224	19	161	41		3	
			赤血球系高値	10	2	2					
			白血球数高値	130	50	28	20			2	
			白血球数低値	4	2	2					

※要受診項目の重複あり

〈学 校 保 健〉

図1 貧血要受診者率の年次推移（男子）

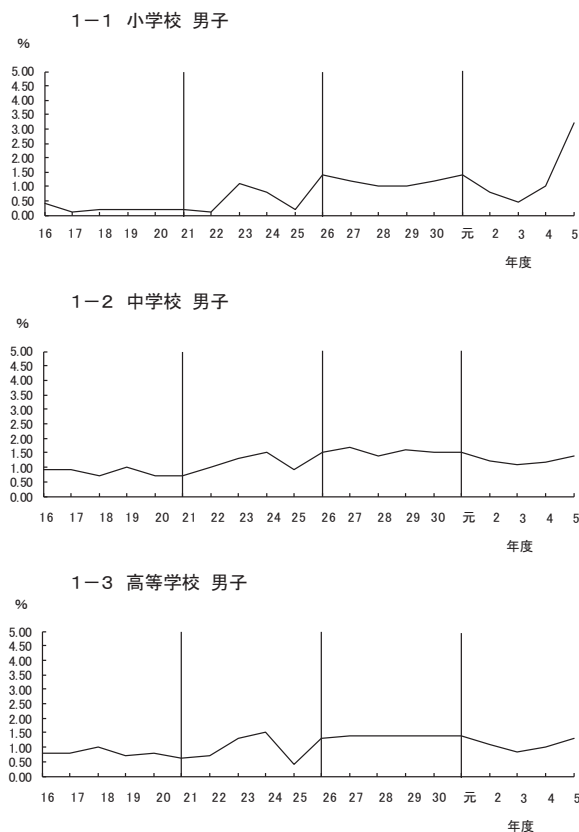


図2 貧血要受診者率の年次推移（女子）

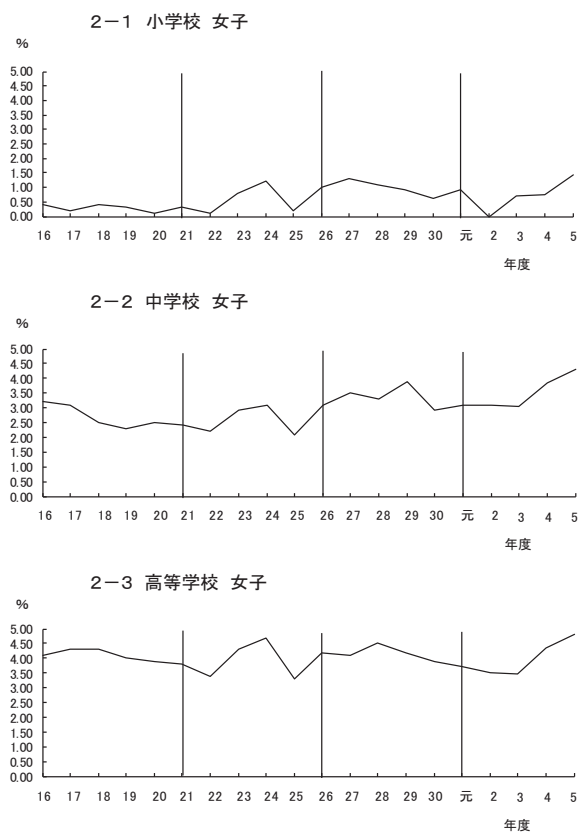


図3 令和5年度 年齢・性別平均値及び2SDの範囲(白血球数) (含:定期健康診断)

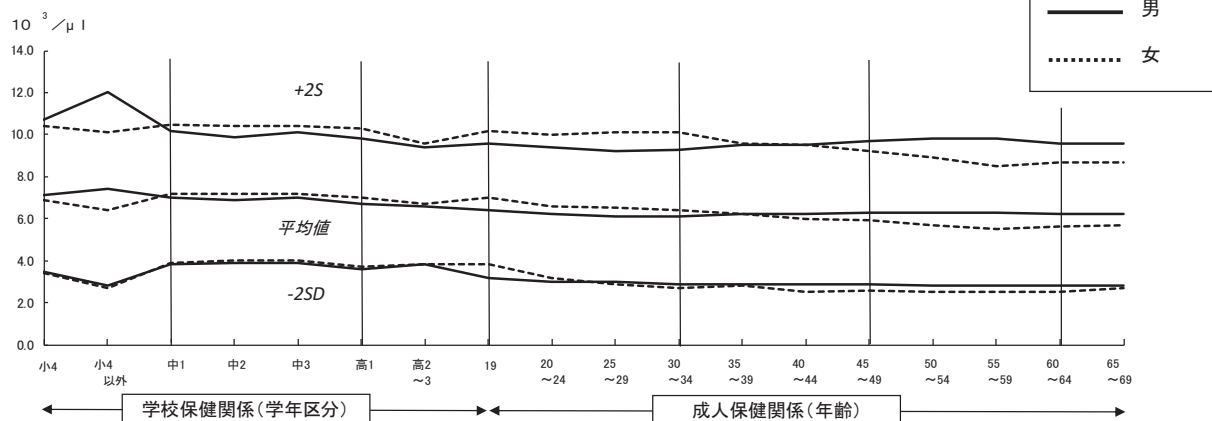
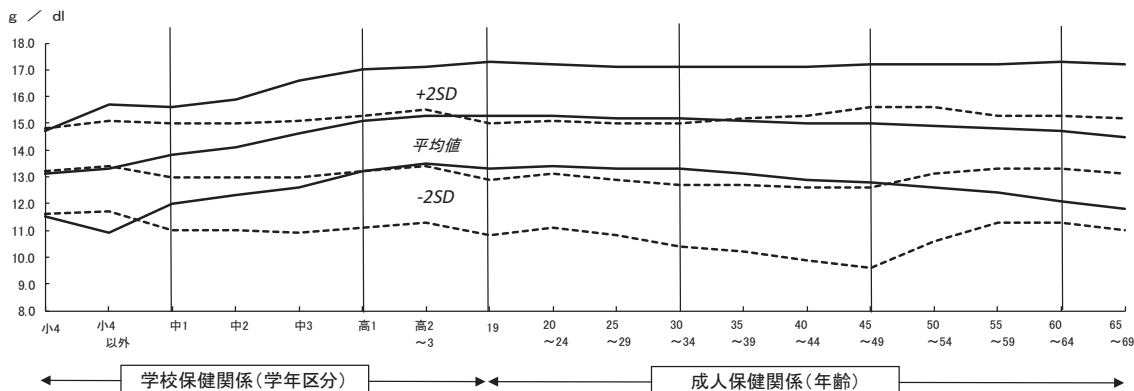


図4 令和5年度 年齢・性別平均値及び2SDの範囲(血色素量) (含:定期健康診断)



※平成19年度より、学校保健関係は学年・性別毎判定基準値方式へ変更の為、成人保健関係と分離

表 10 貧血検査成績学校別集計表

区分 団体名	学校数	貧血検査				貧血以外の要受診者と調査表による受診結果																						
		受検者数		要注意	受診人数	調査表による受診結果				受診結果			受診結果			受診結果			受診結果									
		性別	人数	人数(%)	異常なし(%)	貧血症(%)	経過観察(%)	その他(%)	不明(%)	赤系血高値	異常なし	増多症	経観過剰	その他	不明	白数血高値	異常なし	増多症	感染症	経観過剰	その他	不明	白数血低値	異常なし	減少症	経観過剰	その他	不明
小学校	男	406	4	2										2														
	女	421	7	2		2								0.3														
	計	827	11	4		0.5								2														
中学校	男	4,045	383	29		5	6	7						11														
	女	4,819	414	154		0.1	0.1	0.2						0.3														
	計	8,864	797	183		0.9	0.7	1.7						1.6														
高等学校	男	9,113	355	45		6	8	7						24														
	女	8,216	651	309		15	98	31						0.3														
	計	17,329	1,006	354		21	106	38	3					2.0														
特別支援学校 施設	男	643	54	14		1	2	5						6														
	女	317	32	13		0.2	0.3	0.8						0.9														
	計	960	86	27		1	7	9						4														
合計	男	14,207	796	90		12	16	19						43														
	女	13,773	1,104	478		19	166	45	3					0.3														
	計	27,980	1,900	568		31	182	64	3					2.8														

表 11 貧血検査成績学年別集計表

区分 団体名		実施学年	貧血検査				貧血以外の要受診者と調査表による受診結果																						
			要留意		要受診		検査による受診結果				受診結果				受診結果				受診結果										
			人数	%	人数	%	異常なし	貧血血症	経観察	その他	不明	赤系血高球値	異常なし	増多症	経観察	その他	不明	白血高球値	異常なし	増多症	経観察	その他	不明	白血低球値	異常なし	減少症	経観察	その他	不明
小学校	4	男	396	4.10	2	0.5					2																		
		女	414	7.17	2	0.5		2																					
		男	9																										
中学校	5	男	7																										
		女	1																										
		男																											
小学校計	6	女																											
		男	408	4.10	2	0.5					2																		
		女	421	7.17	2	0.5		2																					
中学校	1	男	2,533	270.10	16	0.6	2	3	7	4																			
		女	3,186	268.84	91	2.9	3	32	9	47	2																		
		男	997	57.57	8	0.8	3	3		2																			
高等学校	2	女	1,038	83.80	42	4.0	1	23	1	17																			
		男	515	56.10	5	1.0				5																			
		女	595	63.10	21	3.5		6		15	1																		
中学校計	3	男	4,045	383.95	29	0.7	5	6	7	11																			
		女	4,819	414.86	154	3.2	4	61	10	79	3																		
		男	8,816	346.39	44	0.5	6	8	7	23	8																		
高等学校	1	男	8,106	645.80	305	3.8	15	96	29	3	162	7																	
		女	280	9.32	1	0.4				1																			
		男	97	6.62	3	3.1		1	2																				
高等学校	2	女	17																										
		男	13		1	7.7		1																					
		女																											
高等学校計	4	男																											
		女	9,113	355.39	45	0.5	6	8	7	24	8																		
		男	8,216	651.79	309	3.8	15	98	31	3	162	7																	
合計		男	13,564	742.55	76	0.6	11	14	14	37	8																		
		女	13,456	1,072.80	465	3.5	19	161	41	3	241	10																	
		男																											

表 12 貧血検査成績表

区分 市町村名	学校 校数	実施学 学年	貧血検査				貧血以外の要受診者と調査表による受診結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			受接者数		要注意 人数	% 人数	要受診 人数	% 人数	調査表による受診結果			受診結果				受診結果				受診結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			性 別	人 数					異な 常し	貧血 血症	経観 過察	そ の 他	不明	赤系 血高 球値	異な 常し	増多 症	受診 経観 過察	そ の 他	不明	白数 血高 球値	異な 常し	増多 症	受診 経観 過察	そ の 他	不明	白数 血低 球値	異な 常し	減少 症	受診 経観 過察	そ の 他	不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
伊豆の国市	6	4.5	男 214	4	1.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

区分	学校数	実施学年	貧血検査				貧血以外の要受診者と調査表による受診結果																											
			要受診		検査		受診結果		受診結果		受診結果		受診結果		受診結果																			
			人数	%	人数	%	異常なし	貧血症	経過観察	その他	赤血高値	異常なし	増多症	感染症	経過観察	その他	白血高値	異常なし	増多症	感染症	経過観察	その他	白血低値	異常なし	減少症	経過観察	その他							
市町村名	性別	人数	%	人数	%	異常なし	貧血症	経過観察	その他	赤血高値	異常なし	増多症	経過観察	その他	白血高値	異常なし	増多症	感染症	経過観察	その他	白血高値	異常なし	増多症	感染症	経過観察	その他	白血低値	異常なし	減少症	経過観察	その他	不明		
市町村名	伊東市	5	1	男	189	10	9.5	2	1.1			1				1						1												
	伊豆市	4	2~3	男	164	10	11.0	5	3.0	1	1					3						2		1										
	伊豆の国市	3	1~2	男	92	1	1.1	2	2.2	2																								
	沼津市			女	78	6	7.7																											
	富士宮市	14	1~3	男	195	11	5.6	1	0.5	1																								
	富士市	1	1	女	154	15	7.8																											
	裾野市	6	1~3	男																														
	賀茂郡河津町	1	1~2	男	33	1	3.0																											
	東部計	34		男	514	26	5.1	15	2.9	1						14																		
	静岡岡市	1	1	女	6												2	10	2				1											
藤枝市	2	1	男	10																														
榛原郡川根本町	2	1~3	男	220	16	7.3	1	0.5	1																									
中部計	5		女	274	17	6.2	6	2.2	2						1																			
浜松市	51	1~3	男	27	7	25.9																												
磐田市	12	2~3	女	27	7	25.9																												
袋井市	4	2	男	27	7	25.9																												
周智郡森町	2	1~3	男	18	3	16.7	1	5.6	1																									
西部計	69		男	49	7	14.3																												
総計	108		女	157	14	8.9	10	6.4	1						9																			
			男	1763	207	11.7	12	0.7	1	2	6				3																			
			女	1949	180	9.2	57	2.9	1	25	6				25																			
			男	902	84	9.3	8	0.9	1	1																								

高等学校

区分	学校数	実施学年	貧血検査					貧血以外の要受診者と調査表による受診結果																
			受検者数		要注意		要受診		調査表による受診結果					受診結果										
			性別	人数	人数	%	人数	%	異常なし	貧血症	経過観察	その他	不明	赤系血高値	異常なし	増多症	経過観察	その他	不明	白血球値	異常なし	減少症	経過観察	その他
市町村名	熱海市	1	1	26	1	3.8																		
	沼津市	8	1～3	男	11	1	9.1																	
	三島市			男	888	93	10.5	10	1.1	3	2	1		4	1	1				6				
			女	794	50	6.3	39	4.9	6	11	2		20	3	2				1	8	1	1		
	富士宮市	1	1	男																				
			女	231	4	1.7	1	0.4						1										
	富士市	6	1	男	212	11	5.2	1	0.5					1						2				
			女	650	26	4.0	7	1.1	1			1		5	1				1	4				
	裾野市	1	1	男	588	29	4.9	17	2.9		3	2		12	1				1	9		2	7	
			女																					
駿東郡小山町			男	88	8	9.1	5	5.7					5											
			女																					
東部計	17		男	1,795	124	6.9	18	1.0	4	2	2		10	2	1				1	10				
		女	1,693	99	5.8	62	3.7	6	14	4		38	4	2				2	19	1	4	14	1	
静岡市	19	1	男	1,774	39	2.2	7	0.4	2	1	2		2	4	1				2	20	4	1	3	12
		女	1,626	107	6.6	59	3.6	4	26	5		24	1					1	19	6		4	9	
島田市	3	1	男	428	19	4.4													5	1			4	
		女	188	20	10.6	8	4.3					8							2				2	
焼津市	1	1	男	121	3	2.5																		
		女	61	10	16.4	1	1.6		1															
藤枝市	2	1	男	245	11	4.5																		
		女	208	22	10.6	13	6.3					13							1					
中部計	25		男	2,568	72	2.8	7	0.3	2	1	2		2	2	4	1			2	25	5		3	16
		女	2,083	159	7.6	81	3.9	4	27	5		45	1					1	22	6		4	12	
浜松市	26	1～3	男	3,047	126	4.1	12	0.4		4	3		5						12	5		1	6	1
		女	2,713	214	7.9	91	3.4	4	44	17	2	24						17	3		7	7	3	
磐田市	6	1～2	男	486	32	6.6	3	0.6					3	1					1	3		1	1	
		女	624	55	8.8	19	3.0		2	1		16							10	1		8	1	
掛川市	4	1	男	472	17	3.6	2	0.4				2	1						1	6		6		
		女	333	21	6.3	17	5.1					17	1					1	1			1		
袋井市	2	1	男	223	8	3.6													1					
		女	194	14	7.2	8	4.1					8												
御前崎市	1	1	男	60	4	6.7																		
		女	44	3	6.8																			
菊川市	2	1	男	209	5	2.4	2	1.0		1			1						2	2				
		女	345	27	7.8	20	5.8	1	10	2	1	6							3	1		1		
湖西市	3	1	男	141	5	3.5	6	4.3				1							2	1				
		女	97	10	10.3	1	1.0		1	2		3							1					
周智郡森町	1	1	男	112	5	4.5																		
		女	90	6	6.7	5	5.6					5	1						3					
西部計	45		男	4,750	202	4.3	25	0.5		5	3		12	2					2	28	8		17	2
		女	4,440	350	7.9	161	3.6	5	57	22	3	79	2						1	35	5		8	1
総計	87		男	9,113	398	4.4	60	0.5	6	8	7		24	8	2				5	61	13		2	3
		女	8,216	608	7.4	304	3.7	15	98	31	3	162	7	2					4	78	12		16	1

特別支援学校

区分 市町村名		学校数	実施学年	貧血				検査				貧血以外の要受診者と調査表による受診結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				要注意		要受診		検査		受診結果				受診結果				受診結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
				人数	%	人数	%	異常なし	貧血症	経過観察	その他	不明	赤系血高値	異常なし	増多症	経過観察	その他	不明	白血高値	異常なし	増多症	感染症	経過観察	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
市町村名	沼津市	6	1～3	23	3	13.0			22.2		2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

施設

区分	学校数	実施学年	貧血検査				貧血以外の要受診者と調査表による受診結果												受診結果												
			要注		要受診		調査表による受診結果					受診結果				受診結果				受診結果											
			人数	%	人数	%	異常なし	貧血症	経観過察	その他	不明	赤系血高球値	異常なし	増多症	経観過察	その他	不明	白血高球値	異常なし	増多症	感染症	経観過察	その他	不明	白血低球値	異常なし	減少症	経観過察	その他	不明	
市町村名	島田	市	1		3																										
	中部	計	男	3																											
			女	3																											
	浜松	市	男	26	8	30.8																									
女			7	2	23.6																										
西部	計	男	26	8	30.8																										
		女	7	2	23.6																										
総計	2	男	29	8	27.6																										
		女	10	2	20.0																										

4) 脊柱側彎症検診

〔はじめに〕

脊柱側彎症とは、脊柱（背骨）が左右に曲がっている状態であり、姿勢が悪いこととは根本的に違うものである。早期に発見して適切な治療や経過観察を行うことで重症化を予防できることから、昭和 53 年に学校保健法施行規則の一部が改正され昭和 54 年 4 月より全国規模で検診を実施することとなった。

〔側彎症とは〕

脊柱側彎症の中には、一時的な脊柱（背骨）の曲がり（機能性側彎）と永続的な曲がり（構築性側彎）とがある。

学校保健の中で特に問題になるものは、進行性の構築性側彎症である。これは、進行し悪化すると脊柱の側彎とねじれに伴う胸郭変形のため、体幹の高度変形にとどまらず、肺活量の減少による肺及び心臓への負担から、いろいろな病気を引き起こす原因となる。

構築性側彎症のうち、原因のわからないものが 80～90%あり、これを特発性側彎症という。

この特発性側彎症には、側彎が始まってくる年齢によって三つに区別されている。

（ア）乳児期側彎症：3 歳以下の乳幼児に発症し、男子に多い。大部分は自然に治るが、急に進行するものがある。

（イ）学童期側彎症：4 歳から 10 歳（小学 4 年生頃）までに発症し、男女の比率はほぼ同率である。一般に約 8 割が悪化する。

（ウ）思春期側彎症：小学 5、6 年生頃から思春期に発症するもので、成長が止まるまで進行する。中学生の女子に最も多く（男子の 7 倍）、特発性側彎症の約 80%を占める。自然に治ることはなく、5 割程度が悪化するとされている。

〔検査法〕

（ア）デジタルモアレ法：赤外線 3D センサで体表面の凹凸を等高線画像として表示し、得られた画像を判定する。読影において、主観的な判定になり、側彎症専門医でないと難しい。受診者数が多い検診に適している。

（イ）シルエッター法：立位・床から 30cm・20cm・10cm の前屈姿勢を撮影し、専用ソフトから、背面隆起の左右の高低差を求め判定する。客観的な判定ができ、側彎症専門医でなくても読影が可能。受診者数が多い検診に適さない。

当協会では、従来のモアレ法に代わり令和 3 年度よりデジタルモアレ法を導入し、デジタルモアレ法とシルエッター法（医師会からの要望がある一部地区のみ実施）の 2 法で検診を実施している。次頁に過去 20 年間の推移をまとめた。

〔まとめ〕

令和 5 年度の小学校・中学校の受診者数は 10,074 人で、昨年度と比べ 1,963 人増加している。有所見率は男子においては小学校で上昇し、中学校で低下している。（小学校 3.5%、中学校 2.2%）女子においては小学校・中学校ともに上昇している。（小学校 6.8%、中学校 13.4%）

令和 5 年度の高等学校の受診者数は 88 名（女子のみ）で、昨年度と比べ横ばいである。有所見率は、低下している。（8.0%）

ここ数年、成長期の低年齢化から小学校の女子において重篤な症例が見つかっている。

小学校の検診を行っていない地区もあり、早期発見・治療のために小学校における検診の必要性を感じる。

関係各位におかれては、今後とも油断することなく検診を推進していただく必要がある。

（久保田 絵理子）

表1 過去20年間の推移

年度	性別	小学校			中学校			小・中学校計	総計
		受診者数	有所見者	%	受診者数	有所見者	%		
平成16	男	1,571	27	1.72	2,104	36	1.71	3,675	7,511
	女	1,512	84	5.56	2,324	183	7.87	3,836	
17	男	1,564	18	1.15	1,984	23	1.16	3,548	9,785
	女	1,627	73	4.49	4,610	460	9.98	6,237	
18	男	1,373	29	2.11	2,015	25	1.24	3,388	9,425
	女	1,361	80	5.88	4,676	468	10.01	6,037	
19	男	1,218	21	1.72	2,544	41	1.61	3,762	10,001
	女	1,057	59	5.58	5,182	573	11.06	6,239	
20	男	1,277	37	2.90	2,245	41	1.83	3,522	9,758
	女	1,241	93	7.49	4,995	544	10.89	6,236	
21	男	1,224	27	2.21	2,430	50	2.06	3,654	9,918
	女	1,202	62	5.16	5,062	489	9.66	6,264	
22	男	1,256	32	2.55	2,293	33	1.44	3,549	9,850
	女	1,222	60	4.91	5,079	529	10.42	6,301	
23	男	1,275	21	1.65	2,379	26	1.09	3,654	9,822
	女	1,291	48	3.72	4,877	403	8.26	6,168	
24	男	1,224	35	2.86	2,369	32	1.35	3,593	9,675
	女	1,156	40	3.46	4,926	499	10.13	6,082	
25	男	1,229	27	2.20	2,234	22	0.98	3,463	9,581
	女	1,227	52	4.24	4,891	463	9.47	6,118	
26	男	1,241	9	0.73	2,334	23	0.99	3,575	9,646
	女	1,231	61	4.96	4,840	493	10.19	6,071	
27	男	1,206	18	1.49	2,281	28	1.23	3,487	9,408
	女	1,150	46	4.00	4,771	535	11.21	5,921	
28	男	1,150	10	0.87	2,147	19	0.88	3,297	9,081
	女	1,072	33	3.08	4,712	478	10.14	5,784	
29	男	1,142	29	2.54	2,125	16	0.75	3,267	8,998
	女	1,125	63	5.60	4,606	491	10.66	5,731	
30	男	1,033	18	1.74	2,067	35	1.69	3,100	8,311
	女	979	55	5.62	4,232	515	12.17	5,211	
令和元	男	1,074	12	1.12	2,087	23	1.10	3,161	8,608
	女	1,006	62	6.16	4,441	519	11.69	5,447	
2	男	782	13	1.66	2,039	27	1.32	2,821	8,039
	女	772	49	6.35	4,446	535	12.03	5,218	
3	男	1,173	29	2.47	1,998	36	1.80	3,171	8,607
	女	1,114	70	6.28	4,322	517	11.96	5,436	
4	男	995	29	2.91	1,966	48	2.44	2,961	8,111
	女	965	48	4.97	4,185	541	12.93	5,150	
5	男	1,938	68	3.51	2,014	45	2.23	3,952	10,074
	女	1,860	127	6.83	4,174	561	13.44	6,122	

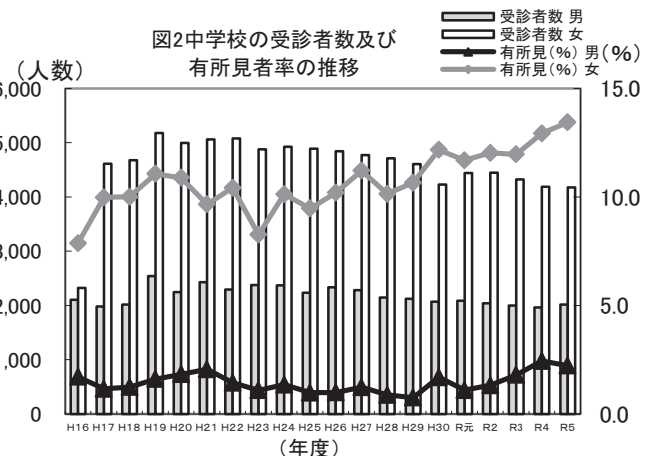
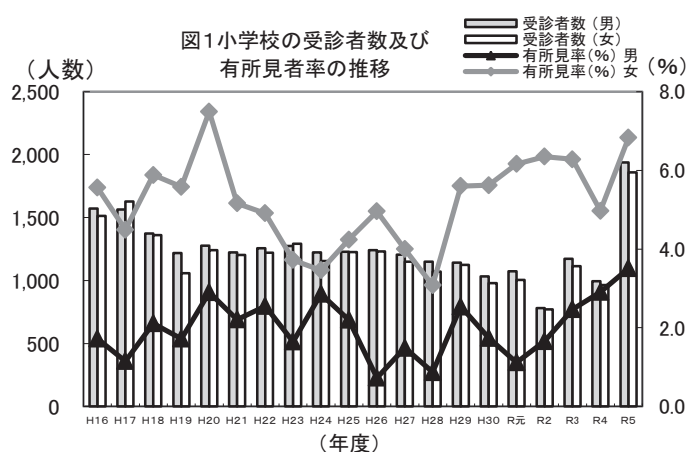


表2 令和5年度 脊柱側彎症 検診成績表

学 校 数	区 分	第1次検査（モアレ撮影による）										調 査 票 に よ る 精 密 検 査 結 果										側 彎 度 不 明 数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		受 診 者 数					有 所 見 者					受 診 者 数					調 査 票 に よ る 精 密 検 査 結 果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		男		女		計	男		女		計	男		女		計	男		女		計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		市町村名	市	町	村		市	町	村	市		町	村	市	町		村	市	町	村			市	町	村																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

※静岡市のみ自動体型撮影器（シルエッター）を使用

() Cobb角のこと

5) 学校寄生虫卵検査

寄生虫卵の検査は、蟯虫検査と糞便検査を行っている。

蟯虫検査はウスイ式セロファンテープを用い、二日にわたって採卵する二日法で実施している。

蟯虫は、主に睡眠中に肛門の外に這い出し、その周りに1万個もの卵を産むと言われており、その卵が下着や寝具にこぼれ落ち、さらには手から手、手から口へと運ばれ他者へ感染する。そのため、生活を共にする家族、学校などでは感染が拡がりやすいと言われ、集団駆虫が勧められてきた。しかし、平成28年度より学校保健法の指定がなくなり、受検者数は激減した。令和5年度の受検者はいなかった。(表1)(表2)

糞便検査は幼保園等を対象にセロファン厚層塗抹法を実施している。

現在でも輸入野菜や国内産野菜での化学肥料に頼らない栽培や無農薬栽培があるため、今後とも十分な注意が必要であるが、衛生環境の改善により寄生虫保有率は年々減少している。平成28年度から検査依頼がなくなった。(表3)

学校寄生虫卵検査については、近年依頼がなかったこともあり令和5年度をもって検査を終了した。

(倉島 友子)

表1 寄生虫卵検査成績学校別集計表

蟯虫卵検査（セロファンテープ検肛法【ウスイ式】）

区分 団体名	団 体 数	受 検 者 数	有 卵 者 数	%	後 検 査		
					団 体 数	受 検 者 数	有 卵 者 数
幼稚園・保育園	0	0					
小 学 校	0	0					
中 学 校	0	0					
特別支援学校	0	0					
施 設	0	0					
合 計	0	0					

表 2 蟯虫卵検査年次推移 (昭和 50 年度～令和 5 年度)

年度	幼稚園・保育園			小学校			中学校			特別支援学校・施設			計		
	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%
昭和 50	34,774	4,616	13.27	264,790	31,530	11.91	33,607	674	2.01	1,377	88	6.39	334,548	36,908	11.03
51	47,657	6,833	14.34	266,873	31,124	11.66	32,459	613	1.89	1,647	199	12.08	348,636	38,769	11.12
52	61,313	6,461	10.54	316,527	27,702	8.75	40,246	445	1.11	1,838	157	8.54	419,924	34,765	8.28
53	72,123	6,511	9.03	323,640	24,645	7.61	43,060	337	0.78	2,339	156	6.67	441,162	31,649	7.17
54	78,469	6,010	7.66	338,452	21,902	6.47	32,538	182	0.56	2,445	72	2.94	451,904	28,166	6.23
55	82,817	5,163	6.23	323,611	17,846	5.51	32,578	187	0.57	2,931	128	4.37	441,937	23,324	5.28
56	77,365	3,930	5.08	305,833	13,051	4.27	33,053	126	0.38	2,966	127	4.28	419,217	17,234	4.11
57	75,861	3,214	4.24	305,843	11,496	3.76	29,262	90	0.31	2,876	74	2.57	413,842	14,874	3.59
58	72,423	3,157	4.36	308,510	10,877	3.53	36,544	99	0.27	2,975	127	4.27	420,452	14,260	3.39
59	70,002	2,386	3.41	301,290	9,100	3.02	19,542	46	0.24	2,790	86	3.08	393,624	11,618	2.95
60	65,283	2,178	3.34	277,859	8,780	3.16	10,316	22	0.21	3,000	87	2.90	356,458	11,067	3.10
61	64,150	2,073	3.23	256,078	7,877	3.08	8,975	13	0.14	2,892	85	2.94	332,095	10,048	3.03
62	61,937	1,961	3.17	248,015	8,657	3.49	8,328	20	0.24	2,692	75	2.79	320,972	10,713	3.34
63	62,175	2,067	3.32	234,706	6,868	2.93	8,218	12	0.15	2,761	98	3.55	307,860	9,045	2.94
平成元	68,571	1,721	2.51	260,585	6,571	2.52	10,304	18	0.17	2,783	64	2.30	342,243	8,374	2.45
2	67,062	1,454	2.17	259,634	6,318	2.43	7,502	8	0.11	2,753	72	2.62	336,951	7,852	2.33
3	68,046	1,439	2.11	250,600	5,911	2.36	5,022	5	0.10	2,993	76	2.54	326,661	7,431	2.27
4	65,893	1,492	2.26	245,284	6,324	2.58	5,906	9	0.15	2,805	82	2.92	319,888	7,907	2.47
5	63,161	1,095	1.73	235,555	5,141	2.18	4,269	6	0.14	2,740	73	2.66	305,725	6,315	2.07
6	58,709	938	1.60	227,162	4,766	2.10	3,533	2	0.06	3,323	118	3.55	292,727	5,824	1.99
7	56,927	655	1.15	199,110	3,541	1.78	2,951	3	0.10	2,989	70	2.34	261,977	4,269	1.63
8	56,726	634	1.12	181,795	2,541	1.40	2,883	6	0.21	2,462	57	2.32	243,866	3,238	1.33
9	55,521	415	0.75	172,672	2,024	1.17	1,474	1	0.07	2,123	63	2.97	231,790	2,503	1.08
10	59,379	576	0.97	168,641	2,379	1.41	615	0		2,111	60	2.84	230,746	3,015	1.31
11	60,472	464	0.77	161,209	1,673	1.04	639	1	0.16	2,202	49	2.23	224,522	2,187	0.97
12	61,919	327	0.53	156,114	1,300	0.83	12	0		2,364	63	2.66	220,409	1,690	0.77
13	59,472	211	0.35	144,680	1,002	0.69	642	1	0.16	2,290	74	3.23	207,084	1,288	0.62
14	59,836	172	0.29	141,833	848	0.60	583	0		2,446	37	1.51	204,698	1,057	0.52
15	61,974	113	0.18	139,639	592	0.42	12	0		2,415	19	0.79	204,040	724	0.35
16	55,335	81	0.15	112,737	344	0.31	522	0		2,382	15	0.63	171,532	442	0.26
17	51,399	66	0.13	103,023	298	0.29	500	0		2,410	25	1.04	157,332	389	0.25
18	44,996	31	0.07	79,728	215	0.27	7	0		2,254	23	1.02	126,985	269	0.21
19	45,753	26	0.06	79,847	136	0.17				2,252	14	0.62	127,852	176	0.14
20	44,083	23	0.05	80,996	120	0.15				2,337	14	0.60	127,416	157	0.12
21	44,280	17	0.04	96,398	115	0.12				2,323	22	0.95	143,001	154	0.11
22	44,231	13	0.03	94,977	107	0.11				2,012	11	0.55	141,644	131	0.09
23	42,636	14	0.03	93,699	75	0.08				2,035	8	0.39	138,370	97	0.07
24	46,296	8	0.02	71,416	20	0.03				1,811	4	0.22	119,523	32	0.03
25	45,189	5	0.01	68,612	18	0.03				1,973	10	0.51	115,774	33	0.03
26	40,557	4	0.01	65,185	16	0.02				1,835	5	0.27	107,577	25	0.02
27	38,435	9	0.02	65,128	20	0.03				1,668	0		105,231	29	0.03
28	7,872	3	0.04	24,191	12	0.05				325	1	0.31	32,388	16	0.05
29	239	0		5,465	0					21	0		5,725	0	
30	144	0								50	0		194	0	
令和元	147	0								49	0		196	0	
2															
3															
4															
5															

表3 寄生虫卵検査年次推移（昭和50年度～令和5年度 セロファン厚層塗抹法）

年度	幼稚園・保育園			小学校			中学校			高等学校			専門学校			特別支援学校・施設			計			
	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%	受検者数	有卵者数	%				
昭和50	15,990	108	0.68	121,797	842	0.69	48,950	370	0.76	7,073	93	1.31	0	0		1,562	37	2.37	195,372	1,450	0.74	
51	13,284	49	0.37	109,094	469	0.43	25,147	169	0.67	6,793	45	0.66	0	0		1,773	35	1.97	156,091	767	0.49	
52	10,589	50	0.47	66,372	396	0.6	24,374	173	0.71	2,887	25	0.87	271	0	0	1,683	40	2.38	106,176	684	0.64	
53	10,442	35	0.34	69,017	254	0.37	18,699	112	0.6	3,139	24	0.76	225	0	0	1,767	31	1.75	103,289	456	0.44	
54	7,699	14	0.18	57,323	165	0.29	17,421	67	0.38	582	3	0.52	176	3	1.7	1,975	39	1.97	85,176	291	0.34	
55	7,478	15	0.2	51,500	128	0.25	16,841	42	0.25	1,129	5	0.44	129	0	0	1,951	31	1.59	79,028	221	0.28	
56	6,592	11	0.17	51,625	107	0.21	15,962	48	0.3	451	2	0.44	96	0	0	2,282	29	1.27	77,008	197	0.26	
57	6,320	8	0.13	39,780	57	0.14	18,329	30	0.16	1,248	2	0.16	78	0	0	2,255	20	0.89	68,010	117	0.17	
58	3,838	4	0.1	38,996	58	0.15	10,141	22	0.22	402	2	0.5	111	0	0	2,222	11	0.5	55,710	97	0.17	
59	3,108	7	0.23	22,767	19	0.08	8,767	9	0.1	455	1	0.22	144	0	0	1,752	10	0.57	36,993	46	0.12	
60	4,734	7	0.15	23,865	38	0.16	12,218	20	0.16	464	4	0.86	137	1	0.73	1,785	7	0.39	43,203	77	0.18	
61	2,819	2	0.07	16,519	21	0.13	6,671	5	0.07	434	1	0.23	156	0	0	1,888	24	1.27	28,487	53	0.19	
62	3,088	1	0.03	14,976	6	0.04	6,772	6	0.09	428	0	0				1,419	10	0.7	26,683	23	0.09	
63	3,837	0		20,953	7	0.03	7,214	16	0.22							1,225	3	0.24	33,229	26	0.08	
平成元	2,342	2	0.09	13,640	13	0.1	6,204	3	0.05							1,587	6	0.38	23,773	24	0.1	
2	2,234	1	0.04	7,752	3	0.04	2,635	1	0.04							1,201	1	0.08	13,822	6	0.04	
3	2,151	0		6,315	9	0.14	4,114	8	0.19							1,319	2	0.15	13,899	19	0.14	
5	1,777	0		5,324	5	0.09	1,414	1	0.07							1,217	1	0.08	9,732	7	0.07	
6	1,628	0		4,989	4	0.08	2,028	0								855	0		9,500	4	0.04	
7	1,431	0		2,445	0		567	0								642	2	0.31	5,085	2	0.04	
8	1,356	0		2,357	3	0.13	528	2	0.38							415	0		4,656	5	0.11	
9	960	0		1,533	0		857	10	1.17							370	0		3,720	10	0.27	
10	899	3	0.33	1,412	2	0.14	205	3	1.46							314	2	0.64	2,830	10	0.35	
11	975	2	0.21	1,157	1	0.09	193	2	1.04							483	0		2,808	5	0.18	
12	1,020	2	0.2	1,013	6	0.59	751	23	3.06							359	1	0.28	3,143	32	1.02	
13	957	0		911	1	0.11	188	0								477	2	0.42	2,533	3	0.12	
14	586	0		277	0		165	2	1.21							400	0		1,428	2	0.14	
15	888	1	0.11	446	0		700	13	1.86							417	0		2,451	14	0.57	
16	893	0		379	1	0.26	152	2	1.32							263	0		1,687	3	0.18	
17	689	1	0.15	363	0		150	0								198	1	0.51	1,400	2	0.14	
18	675	0		292	1	0.34	124	0								234	0		1,325	1	0.08	
19	314	0														125	0		439	0		
20	311	0														132	1	0.76	443	1	0.23	
21	344	0														83	0		427	0		
22	330	0														35	0		365	0		
23	356	0														23	0		379	0		
24	345	0														29	0		374	0		
25	367	0														37	0		404	0		
26																27	0		27	0		
27																						
28																24	0		24	0		
29																						
30																						
令和元																						
2																						
3																						
4																						
5																						

6) 小児生活習慣病予防健診

〔はじめに〕

わが国は、社会・経済的に大きな発展を遂げ、その食生活や生活環境は豊かで西欧型になってきている。反面、こうした西欧型生活が動脈硬化を中心とした健康障害をもたらすこと、そしてその影響が若い世代に及ぶことが指摘されている。さらにこうした状況に適切に対応することで、健康障害を予防できることも分かっている。

そこで、この生活習慣病予防健診では、危険因子の有無をスクリーニングし、その危険性を本人に自覚させ、食事や運動を中心とした日常生活上の問題点を改善させることにより、若年性の動脈硬化症の発生を予防することを目的として実施している。

〔健診の実施方法〕

対象者全員に「生活習慣予防健診調査票」を配布し、本人の糖尿病の有無、家族歴を調査する。健診では、身長、体重から肥満度を算出、血圧測定、採血による総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロールの測定を行う。その結果から、各健診項目をa、b、c、d、nに5段階判定し（表1、表2）、各項目判定結果の組合せによってⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴの5段階総合判定（表3）を行う。

総合判定は、予防医学事業中央会の作成した総合判定に従い、Ⅰ～Ⅴの5段階の指導区分、コメント（表3）に分類して報告する。

〔健診結果について〕

この健診は、昭和62年より研究調査として始まり、主に小学4年生、中学1年生、高校1年生を対象に行われている。令和5年度は53校3,274人を実施し、昨年度と比べて368人減少した。なお、今年度も高校1年生については実施していない。令和4年度の結果は、以下のとおりであった。

総合判定による指導区分では、小学4年生で要医学的管理（Ⅰ）1.7%、要経過観察（Ⅱ）9.0%、要生活指導（Ⅲ）8.3%となっている。また、中学1年生では要医学的管理（Ⅰ）1.4%、要経過観察（Ⅱ）6.1%、要生活指導（Ⅲ）9.3%

となっている。

つまり、何らかの指導が必要な有所見者は、小学4年生で19.0%、中学1年生で16.8%となる。

項目別にみると、肥満のc区分以上のものは、小学4年生の男子15.3%、女子12.1%、中学1年生の男子15.9%、女子6.7%で、肥満の頻度を学年別にみると、小学生・中学生共に男子が女子を上回っていた。（図1、図2）

また、やせは、小学4年生の男子2.3%、女子1.8%、中学1年生の男子3.8%、女子8.2%であった。

脂質について、c区分以上は、小学4年生の男子4.7%、女子6.5%、中学1年生の男子3.9%、女子7.3%であった。（表9、表11）

血圧について、b区分以上は、小学4年生の男子1.2%、女子2.3%、中学1年生の男子1.2%、女子1.3%であった。（図1、図2）

〔まとめ〕

県内における小児生活習慣病予防健診は、市町の教育委員会の依頼により実施している。この健診の結果、危険因子を持つ子どもたちには食事や運動を軸としたライフスタイルの改善が求められる。その内容を保護者に理解していただき、家庭で実践して子どもたちに反映されることが必須である。子どもたち自身が自分の体の健康について興味と理解を持ち、自分の将来につなげていただけるよう指導を充実させていきたい。

また、例数は少ないが、血圧a区分の子どもたちについては生活習慣の危険因子としてばかりでなく、高血圧をきたす原因疾患の有無についても調べておく必要がある。

（大石 敦美）

表 1 項目別判定基準

(平成 19 年 4 月 1 日より)

① 肥満度判定 ※1				④-1 血圧判定 (小学校・男女, 中学校・女子) ※3					
50%以上		a		収縮期圧 (mmHg)	145 以上	a			
30～49.9%		b			144～135	b			
20～29.9%		c			134～120	d			
-19.9～19.9%		n			120 未満	n			
-20%以上		y ※2							
② 血清脂質判定 (総コレステロールとHDLコレステロールによる)									
総コレステロール	HDLコレステロール								
	40mg/dl 以上		40mg/dl 未満						
	280 mg/dl 以上	a	a						
	240～279mg/dl	b	a						
	220～239mg/dl	c	b						
	190～219mg/dl	d	c						

小児生活習慣病予防健診実施数の推移

区分	小学校			中学校			高等学校			合計	
	年度	学校数	受診者数	学校数	受診者数	学校数	受診者数	学校数	受診者数	学校数	受診者数
平成16	16	108	6,137	73	7,523	20	3,553	201	17,213		
	17	103	6,072	69	6,719	19	3,354	191	16,145		
	18	93	4,854	67	5,961	19	3,256	179	14,071		
	19	81	4,567	47	5,198	14	3,201	142	12,966		
	20	86	4,674	55	6,597	13	3,092	154	14,363		
令和元	21	59	2,933	41	4,354	10	2,485	110	9,772		
	22	57	3,024	41	4,700	8	2,144	106	9,868		
	23	56	2,905	40	4,155	8	2,115	104	9,175		
	24	55	2,843	41	4,159	7	1,776	103	8,778		
	25	53	2,777	41	4,265	6	1,516	100	8,558		
令和元	26	53	2,787	41	4,187	7	1,852	101	8,539		
	27	53	2,668	41	4,095	7	1,695	101	8,458		
	28	53	2,616	41	4,052	6	1,327	100	7,995		
	29	53	2,652	41	3,919	2	225	96	6,796		
	30	34	1,559	33	2,724	2	266	69	4,549		
令和元	2	29	1,338	29	2,561	1	153	59	4,052		
	2	28	1,259	29	2,659	1	134	58	4,052		
	3	28	1,288	29	2,475	0	0	57	3,763		
	4	28	1,190	29	2,452	0	0	57	3,642		
	5	24	1,127	29	2,147	0	0	53	3,274		

※特別支援学校を除く

図3 学校数および受診者数の年次推移

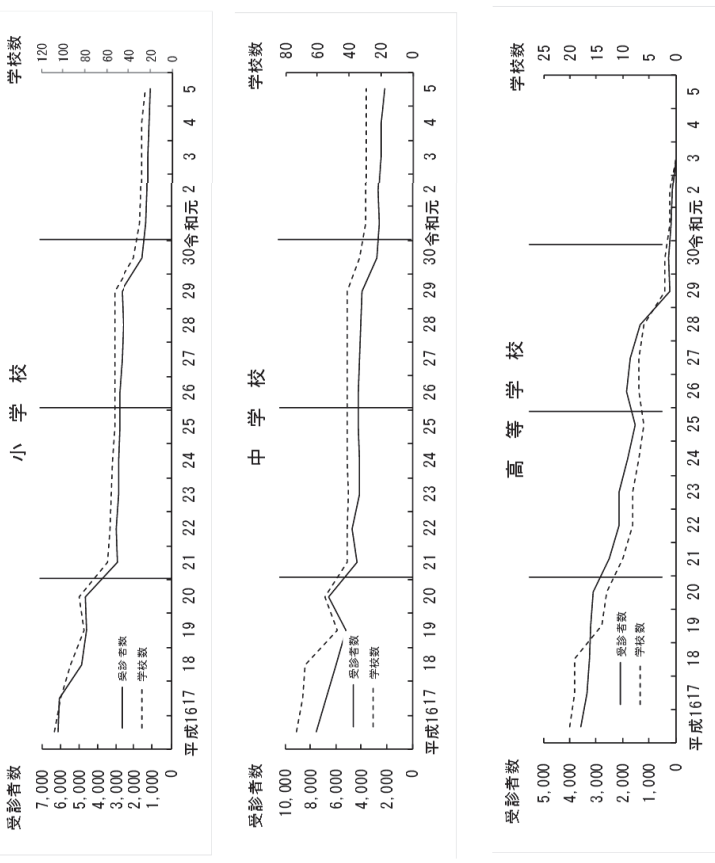


図2 所見別集計

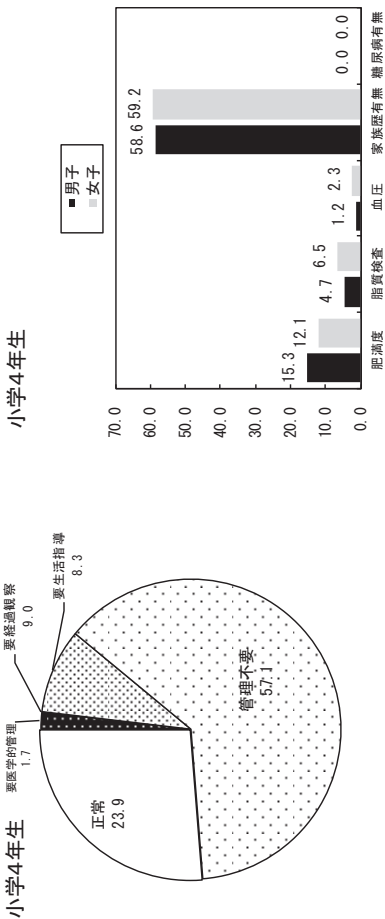


図1 判定別集計

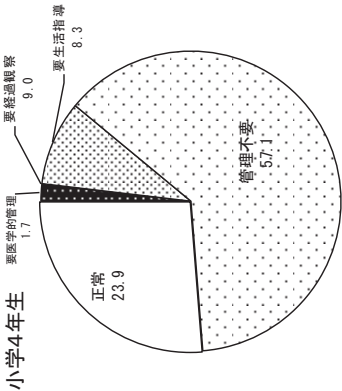


表5 年度別実施市町村

年度	健診実施市町村名
平成16	9市、20町、3村
平成17	10市、12町、1村
平成18	10市、7町
平成19	7市、7町
平成20	8市、6町
平成21	8市、4町
平成22	8市、2町
平成23	8市、2町
平成24	8市、2町
平成25	8市、2町
平成26	8市、2町
平成27	8市、2町
平成28	8市、2町
平成29	6市、2町
平成30	4市、2町
令和元年	4市：富士宮市、伊東市、裾野市、伊豆の国市 1町：川根本町
令和2	4市：富士宮市、伊東市、裾野市、伊豆の国市 1町：川根本町
令和3	4市：富士宮市、伊東市、裾野市、伊豆の国市 1町：川根本町
令和4	4市：富士宮市、伊東市、裾野市、伊豆の国市 1町：川根本町
令和5	4市：富士宮市、伊東市、裾野市、伊豆の国市 1町：川根本町

表6 学校数と実施人数

区分 市町村名	小学校		中学校		合計	
	学校数	実施人数	学校数	実施人数	学校数	実施人数
富士宮市			14	1,150	14	1,150
伊東市	7	317	5	353	12	670
裾野市	9	442	5	431	14	873
伊豆の国市	6	410	3	349	9	759
川根本町	2	24	2	37	4	61
合計	24	1,193	29	2,320	53	3,513

※特別支援学校を除く

表7 学年別実施人数

区分 市町村名	小学校				中学校				合計
	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	合計	
富士宮市					1,010	107	33	1,150	1150
伊東市	317			317	353			353	670
裾野市	386	32	24	442	402	19	10	431	873
伊豆の国市	401	9		410	346	3		349	759
川根本町	23	1		24	36		1	37	61
合計	1,127	42	24	1,193	2,147	129	44	2,320	3,513

※特別支援学校を除く

令和5年度 小児生活習慣病予防健診結果

表8 小学校(全学年)

(1)健診実施数

性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合 計
男				563	28	13	602
女				564	16	11	591
合計				1,127	42	24	1,193

(2)項目別検査実施数

性別	計測(総測定)	血圧測定	総コレステロール	HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪
男	602	602	602	602		
女	591	591	591	591		
合計	1,193	1,193	1,193	1,193		

(3)項目別平均値

性別	身長 cm	体重 kg	肥満度 %	最大血圧 mmHg	最小血圧 mmHg	総コレステロールmg/dl	HDLコレステロールmg/dl	LDLコレステロールmg/dl	中性脂肪mg/dl
男				5.2	105.6	61.5	175.2	61.1	
女				3.1	106.4	62.4	177.6	61.2	

(4)総合判定結果(指導区分)

性別	I	II	III	IV	N				
男	16	2.7	65	10.8	54	318	52.7	140	24.8
女	10	1.7	69	11.7	46	343	58.0	126	20.8
合計	26	2.2	134	11.2	100	661	55.4	272	22.8

(5)肥満度

性別	a	b	c	n	y					
男	1	2.0	49	8.1	47	7.8	481	79.9	1	2.2
女	6	1.0	47	8.0	32	5.4	496	83.9	10	1.7
合計	16	1.5	96	8.0	79	6.7	977	81.9	20	1.9

(6)脂質検査

性別	a	b	c	d	n					
男	4	0.7	14	2.3	153	25.4	417	69.3		
女	1	0.2	15	2.5	143	24.2	407	68.9		
合計	5	0.4	29	2.4	39	3.3	296	24.8	824	69.1

(7)血圧

性別	a	b	d	n				
男		0.0	12	2.0	60	10.0	530	88.0
女	2	0.3	16	2.7	76	12.9	497	84.1
合計	2	0.2	28	2.3	136	11.4	1,027	86.1

(8)家族歴

性別	d	n		
男	356	59.1	246	40.9
女	350	59.2	241	40.8
合計	706	59.2	487	40.8

※HDLコレステロールが 100mg/dl 以上 男子：6人 女子：2人

表9 小学校(4年生)

(1)健診実施数

性別	4年生
男	563
女	564
合計	1,127

(2)項目別検査実施数

性別	計測(総測定)	血圧測定	総コレステロール	HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪
男	563	563	563	563		
女	564	564	564	564		
合計	1,127	1,127	1,127	1,127		

(3)項目別平均値

性別	身長 cm	体重 kg	肥満度 %	最大血圧 mmHg	最小血圧 mmHg	総コレステロールmg/dl	HDLコレステロールmg/dl	LDLコレステロールmg/dl	中性脂肪mg/dl
男	134.9	32.2	4.0	105.0	61.2	175.0	61.6		
女	136.0	31.9	2.3	106.0	62.1	177.0	61.4		

(4)総合判定結果(指導区分)

性別	I	II	III	IV	N					
男	11	2.0	49	8.7	307	54.5	147	26.1		
女	8	1.4	52	9.2	44	7.8	338	59.9	122	21.7
合計	19	1.7	101	9.0	93	8.3	645	57.2	269	23.8

(5)肥満度

性別	a	b	c	n	y					
男	2	1.2	37	6.6	42	7.5	464	82.4	13	2.3
女	6	1.1	32	5.7	30	5.3	486	86.1	10	1.8
合計	13	1.2	69	6.1	72	6.4	950	84.3	23	2.0

(6)脂質検査

性別	a	b	c	d	n					
男	4	0.7	11	2.0	11	2.0	146	25.9	391	69.4
女	2	0.0	12	2.1	25	4.4	133	23.6	394	69.9
合計	4									

表 10 中学校(全学年)

(1) 健診実施数				
性別	1年生	2年生	3年生	合計
男	1,131	67	25	1,223
女	1,016	62	19	1,097
合計	2,147	129	44	2,320

(2) 項目別検査実施数

性別	計測(総測定)	血圧測定	総コレステロール	HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪
男	1,223	1,223	1,223	1,223	990	
女	1,097	1,097	1,097	1,097	560	
合計	2,320	2,320	2,320	2,320	1,150	

(3) 項目別平均値

性別	身長 cm	体重 kg	肥満度 %	最大血圧 mmHg	最小血圧 mmHg	総コレステロールmg/dl	HDLコレステロールmg/dl	LDLコレステロールmg/dl	中性脂肪mg/dl
男	156.2	48.0	3.8	110.6	61.0	161.1	58.3	60.9	80.7
女	152.9	45.3	-1.9	109.1	62.8	171.0	60.9		89.0

(4) 総合判定結果(指導区分)

性別	I	II	III	IV	N				
男	31	3.0	110	123	10.1	628	51.3	319	26.1
女	10	1.5	67	111	10.1	605	55.1	298	27.2
合計	53	2.3	183	234	10.1	1,233	53.1	617	26.6

(5) 肥満度

性別	a	b	c	d	y					
男	31	2.5	100	8.4	101	8.3	943	77.1	46	3.7
女	11	1.0	36	3.3	49	4.5	914	83.3	87	7.9
合計	42	1.8	136	6.0	150	6.5	1,857	80.0	132	5.7

(6) 脂質検査

性別	a	b	c	d	n					
男	21	0.2	10	0.8	46	3.8	142	11.6	1,023	83.6
女	2	0.2	16	1.5	78	7.1	168	15.3	833	75.9
合計	23	0.2	26	1.1	124	5.3	310	13.4	1,856	80.0

(7) 血圧

性別	a	b	d	n				
男	21	0.2	17	1.4	204	16.7	1,000	81.7
女	2	0.2	17	1.5	138	12.6	940	85.7
合計	23	0.2	34	1.5	342	14.7	1,940	83.6

(8) 家族歴

性別	d	n		
男	730	59.7	493	40.3
女	643	58.6	454	41.4
合計	1,373	59.2	947	40.8

※HDLコレステロールが 100mg/dl 以上 男子：5人

女子：4人

(9) 糖尿病の有無

性別	a	n		
男	1	0.1	1,222	99.9
女	1	0.1	1,096	99.9
合計	2	0.1	2,318	99.9

表 11 中学校(1年生)

(1) 健診実施数

性別	1年生
男	1,131
女	1,016
合計	2,147

(2) 項目別検査実施数

性別	計測(総測定)	血圧測定	総コレステロール	HDLコレステロール	LDLコレステロール	中性脂肪
男	1,131	1,131	1,131	1,131	518	
女	1,016	1,016	1,016	1,016	492	
合計	2,147	2,147	2,147	2,147	1,010	

(3) 項目別平均値

性別	身長 cm	体重 kg	肥満度 %	最大血圧 mmHg	最小血圧 mmHg	総コレステロールmg/dl	HDLコレステロールmg/dl	LDLコレステロールmg/dl	中性脂肪mg/dl
男	155.5	46.5	2.2	110.0	60.9	160.6	58.9	79.2	
女	152.7	44.6	-2.9	108.6	62.6	170.0	61.1	87.3	

(4) 総合判定結果(指導区分)

性別	I	II	III	IV	N					
男	22	1.9	90	8.0	103	9.1	602	53.2	314	27.8
女	8	0.8	40	3.9	97	9.5	581	57.2	290	28.6
合計	30	1.4	130	6.1	200	9.3	1,183	55.1	604	28.1

(5) 肥満度

性別	a	b	c	d	y					
男	20	1.8	76	6.7	84	7.4	908	80.3	43	3.8
女	5	0.5	20	2.0	43	4.2	865			

第二章 検査・健(検)診事業

2. 地域・職域保健

- 1) 一般健康診断及び生活習慣病健診
- 2) 特殊健康診断
- 3) ストレスチェック
- 4) 喀痰細胞診による肺がん検診
- 5) 婦人科細胞診による子宮頸がん検診
- 6) 血液型検査
- 7) 細菌検査
- 8) 寄生虫卵検査
- 9) 住民健診
- 10) 特定健康診査・特定保健指導
- 11) ワクチン接種

1) 一般健康診断及び生活習慣病健診

表1 労働基準監督署別実施人数	60
図1 受診者数の推移	60
表2 基本健診項目実施数	60
表3 判定別集計	61
図2 各判定別有所見率	62
表4 年齢別男女別総合判定集計	63
表5 労働基準監督署別判定集計	64

2) 特殊健康診断

表1-1 代謝物分布表・検査結果	65
表1-2 代謝物の検査分布表	65
表1-3 鉛分布表・検査結果	65
表2 特殊健康診断成績表(労働基準監督署別)	66

3) ストレスチェック

表1 令和5年度契約区分別受診団体	68
表2 令和5年度男女年代別高ストレス者割合	68
表3 令和5年度業種別高ストレス者割合	68

4) 喀痰細胞診による肺がん検診

表1 集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分	69
表2 令和3年度喀痰細胞診検査成績	69
表3 年度別 地域における喀痰細胞診成績	69
表4 年度別 職域における喀痰細胞診成績	69

5) 婦人科細胞診による子宮頸がん検診

表1 ベセスダシステムに基づく細胞診分類	70
表2 地域健診結果	70
表3 職域健診結果	71
表4 精密検査結果	71
表5 年齢階層別結果	71

6) 血液型検査

表1 団体別実数と型別分類	72
表2 過去の受検者数の推移	72

7) 細菌検査

表1 腸内細菌(サルモネラ・赤痢菌)等団体別検査概要	73
表2 腸管出血性大腸菌O157団体別検査概要	73
表3 食品検査概要	73

8) 寄生虫卵検査

表1 寄生虫卵検査成績集計表(セロファン厚層塗抹法)	74
表2 蛭虫卵検査成績表(セロファンテープ検肛法【ウスイ式】)	74

9) 住民健診

表1 各検診の対象者	76
表2 A市、B市のプロセス指標数値	76
表3 特定健診判定(A市)	77
表4 特定健診判定(B市)	81

10) 特定健診・特定保健指導

表1 令和5年度特定健康診査・メタボリックシンドローム判定結果	87
表2 令和5年度特定健康診査・階層化結果	87
表3-1 初回面接実施者特定保健指導支援別実施状況	87
表3-2 初回分割面接実施者特定保健指導支援別実施状況	87
表4 健診時と支援終了時の体重の変化	88
表5 健診時と支援終了時の腹囲の変化	88

11) ワクチン接種

表1 ワクチン接種 種類・拠点別 集計表	89
----------------------	----

1) 一般健康診断及び生活習慣病健診

〔一般健康診断〕

令和5年度に実施した一般健康診断では、受診者数は191,344人で昨年度に比べ2,868人(1.5%)減少した。受診者数を労働基準監督署管内別に見ると、静岡管内の1,419人の減少が最も多かった。(表1)

総合判定における有所見率は72.1%であり、昨年度に比べ1.4%の増加となった。

検査項目別では、例年、脂質系が最も有所見率が高く、男性48.2%、女性43.4%、合計46.1%であり、昨年度に比べ0.8%の増加となった。

他の検査項目については、有所見率が昨年度と比べ、胸部で5.3%、腎機能で0.9%増加し、貧血で3.4%、糖尿で0.8%、尿酸で1.1%減少した。(表3)

表4には、年齢別男女別総合判定集計を示した。

表5には、労働基準監督署管内別の判定集計を示した。

〔生活習慣病健診〕

生活習慣病は、一次健診のみに留まらず、アフターフォローとして二次検査、精密検査の充実及び管理栄養士による栄養指導、運動指導士による運動指導を積極的に取り入れて実施していく必要がある。

令和5年度の受診者数は、昨年度に比べ聴力(1000Hz・4000Hz)で944人、糖尿病(HbA1c)で1,376人、消化器(便潜血)で1,412人増加し、血液一般(白血球系)で200人、消化器(胃部X線)1,470人で減少した。

有所見率では、脂質(LDL-コレステロール)で1.3%、胸部X線で5.3%増加し、糖尿病(HbA1c)で1.5%、血液一般(赤血球系)で3.4%、尿酸で1.1%減少した。(表2)

〔今後の課題〕

一般健康診断における有所見者の多くは脂質異常症によるものであり、原因はLDLコレステロール、中性脂肪が高値を示したことであった。

ここ数年同じ傾向で推移していることから、関連資料や学会の動向を意識していく必要があるが、近年実施機会が増加している保健指導の効果にも期待が寄せられる。

また、健診機関としては一次健診から生活改善指導を含めた流れの構築が求められており、健診内容の充実、ハード面の整備、職員の人材育成・確保が必要となる。

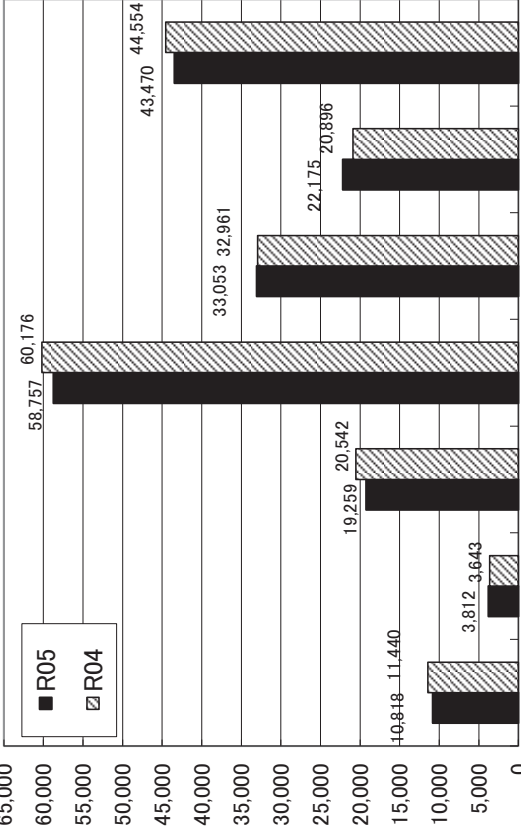
(石田 亨太)

表 1 労働基準監督署別実施人数

労働基準 監督署名	令和5年度		令和4年度		対前年度比		
	事業所数	受診者数	事業所数	受診者数	増減数 (団体数)	率 (%)	
沼津	90	10,818	87	11,440	3	-622	-5.4
三島	72	3,812	76	3,643	-4	169	4.6
富士	104	19,259	108	20,542	-4	-1,283	-6.2
静岡	1,947	58,757	1,921	60,176	26	-1,419	-2.4
島田	1,326	33,053	1,292	32,961	34	92	0.3
浜松	469	22,175	449	20,896	20	1,279	6.1
磐田	481	43,470	483	44,554	-2	-1,084	-2.4
計	4,489	191,344	4,416	194,212	73	-2,868	-1.5

注：計欄は受託分も含んでおります。

図 1 受診者数の推移



沼津 三島 富士 静岡 島田 浜松 磐田

表 2 基本健診項目実施数

		受診者数		有所見者						
		男性	女性	男性		女性				
				人	%	人	%			
身体計測	囲	93,046	66,228	159,274	42,350	22,744	34.3	65,094	40.9	
腹		70,776	49,552	120,328	28,484	5,880	11.9	34,364	28.6	
裸眼		40,895	23,251	64,146	—	—	—	—	—	
矯正		43,304	32,108	75,412	—	—	—	—	—	
視力		66,521	43,252	109,773	2,161	1,316	3.0	3,477	3.2	
聴力		66,521	43,252	109,773	6,454	9.7	966	2.2	7,420	6.8
4000Hz		20,378	10,785	31,163	0	0.0	2	0.0	2	0.0
会話		93,355	66,118	159,473	15,358	16.5	6,718	10.2	22,076	13.8
血圧		64,053	48,038	112,091	1,409	2.2	3,443	7.2	4,852	4.3
潜血		93,479	65,958	159,437	1,974	2.1	903	1.4	2,877	1.8
蛋白		12,381	4,717	17,098	169	1.4	112	2.4	281	1.6
尿酸素		58,754	43,392	102,146	6,287	10.7	6,287	14.5	12,574	12.3
クレアチン		68,919	48,432	117,351	9,373	13.6	5,781	11.9	15,154	12.9
心電図検査		93,479	65,958	159,437	4,124	4.4	1044	1.6	5,168	3.2
尿糖		72,590	53,221	125,811	8,893	12.3	3,858	7.2	12,751	10.1
血糖		48,742	34,295	83,037	6,642	13.6	4,955	14.4	11,597	14.0
HbA1c		75,900	56,039	131,939	9,567	12.6	13,258	23.7	22,825	17.3
赤血球系		59,019	43,902	102,921	3,518	6.0	2,958	6.7	6,476	6.3
白血球系		75,719	56,706	132,425	7,178	9.5	2,078	3.7	9,256	7.0
AST		75,719	56,706	132,425	14,119	18.6	2,830	5.0	16,949	12.8
ALT		75,669	56,634	132,303	11,522	15.2	2,415	4.3	13,937	10.5
γ-GT		75,349	56,402	131,751	20,698	27.5	14,015	24.8	34,713	26.3
LDLコレステロール	</									

表3 判定別集計

検査項目	性	合計		異常なし a		心配なし b		要経過観察 c		要再検査 d		要精密検査 e		要受診 f		要治療継続 g		異常なし (a+b)		有所見 (c+d+e+f+g)		
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
総合判定	男性	101,511	19.5	4,458	4.4	33,612	33.1	2,792	2.8	6,472	6.4	24,349	24.0	10,019	9.9	24,267	23.9	77,244	76.1			
	女性	82,960	22.5	8,426	10.2	28,467	34.3	1,279	1.5	4,930	5.9	14,263	17.2	6,888	8.3	27,133	32.7	55,827	67.3			
	計	184,471	38.5	12,884	7.0	62,079	33.7	4,071	2.2	11,402	6.2	38,612	20.9	16,907	9.2	51,400	27.9	133,071	72.1			
聴力	男性	86,779	88.6	0	0.0	9,218	10.6	0	0.0	4	0.0	630	0.7	0	0.0	76,927	88.6	9,852	11.4			
	女性	53,994	95.2	0	0.0	2,501	4.6	0	0.0	0	0.0	111	0.2	0	0.0	51,382	95.2	2,612	4.8			
	計	140,773	128,309	91.1	0	0.0	11,719	8.3	0	0.0	4	0.0	741	0.5	0	0.0	128,309	91.1	12,464	8.9		
胸部	男性	77,158	74.8	942	1.2	17,171	22.3	22	0.0	995	1.3	215	0.3	97	0.1	58,658	76.0	18,500	24.0			
	女性	59,857	46,148	77.1	930	1.6	11,906	19.9	23	0.0	717	1.2	57	0.1	76	0.1	47,078	78.7	12,779	21.3		
	計	137,015	103,864	75.8	1,872	1.4	29,077	21.2	45	0.0	1,712	1.2	272	0.2	173	0.1	105,736	77.2	31,279	22.8		
循環器	男性	94,089	52,334	55.6	13,145	14.0	7,588	8.1	3,486	3.7	1,487	1.6	5,032	5.3	11,017	11.7	65,479	69.6	28,610	30.4		
	女性	67,542	43,266	64.1	9,572	14.2	5,500	8.1	1,276	1.9	603	0.9	2,224	3.3	5,101	7.6	52,838	78.2	14,704	21.8		
	計	161,631	95,600	59.1	22,717	14.1	13,088	8.1	4,762	2.9	2,090	1.3	7,256	4.5	16,118	10.0	118,317	73.2	43,314	26.8		
消化器	男性	43,409	34,242	78.9	1,604	3.7	4,030	9.3	4	0.0	3,038	7.0	474	1.1	17	0.0	35,846	82.6	7,563	17.4		
	女性	33,700	27,775	82.4	1,633	4.8	2,273	6.7	0	0.0	1,629	4.8	379	1.1	11	0.0	29,408	87.3	4,292	12.7		
	計	77,109	62,017	80.4	3,237	4.2	6,303	8.2	4	0.0	4,667	6.1	853	1.1	28	0.0	65,254	84.6	11,855	15.4		
貧血	男性	75,900	62,089	81.8	4,244	5.6	6,676	8.8	0	0.0	126	0.2	2,700	3.6	65	0.1	66,333	87.4	9,567	12.6		
	女性	56,039	40,863	72.9	1,918	3.4	9,575	17.1	0	0.0	33	0.1	3,048	5.4	602	1.1	42,781	76.3	13,258	23.7		

図2 各判定別有所見率

図2-1 総合判定

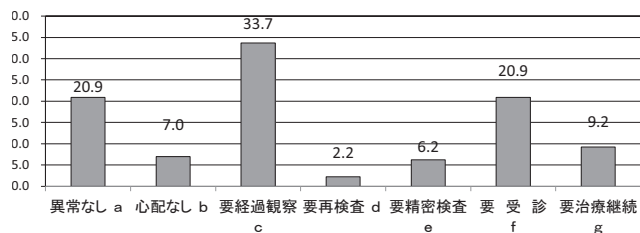


図2-2 聴力

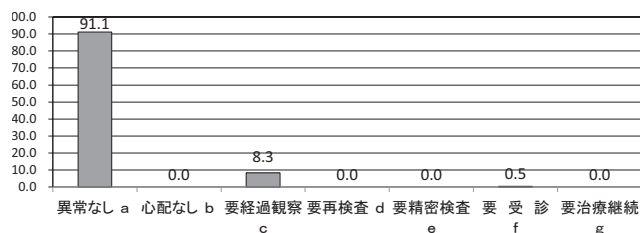


図2-3 胸部

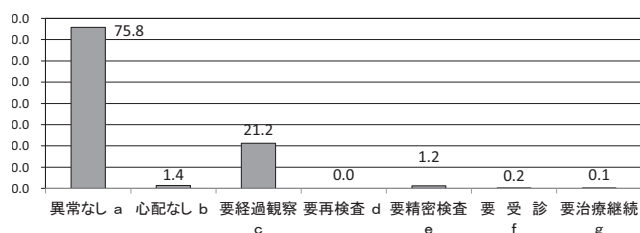


図2-4 循環器

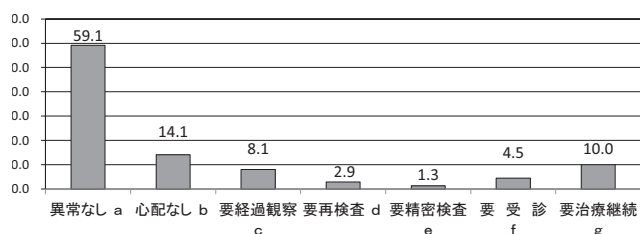


図2-5 消化器

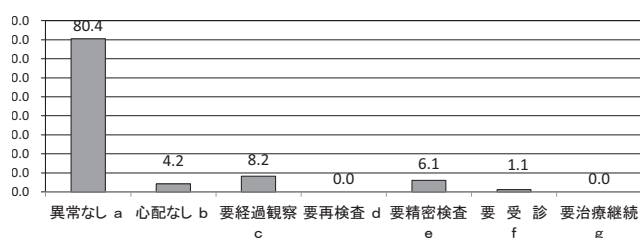


図2-6 貧血

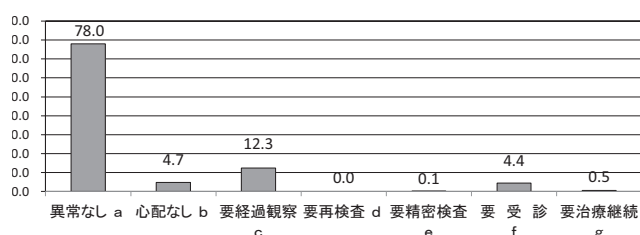


図2-7 白血球

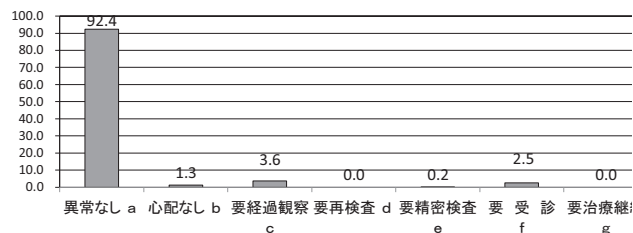


図2-8 肝機能

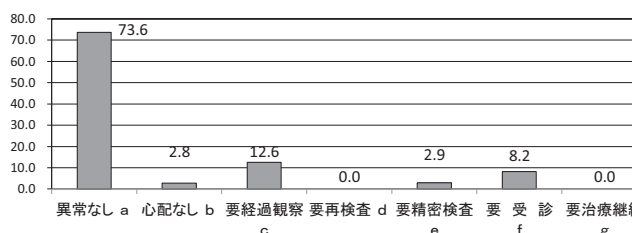


図2-9 脂質

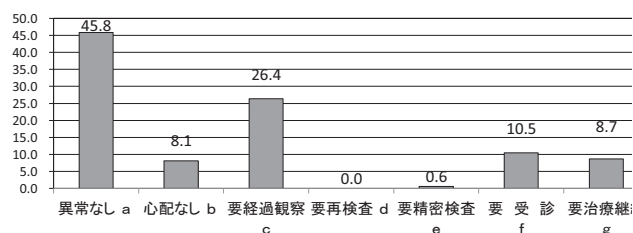


図2-10 糖尿

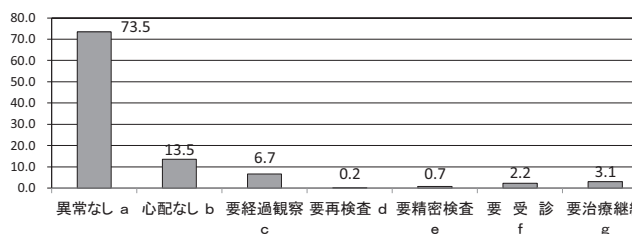


図2-11 腎機能

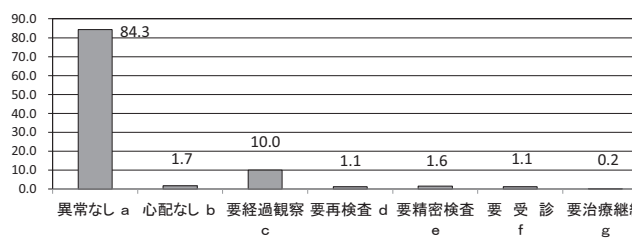


図2-12 尿酸

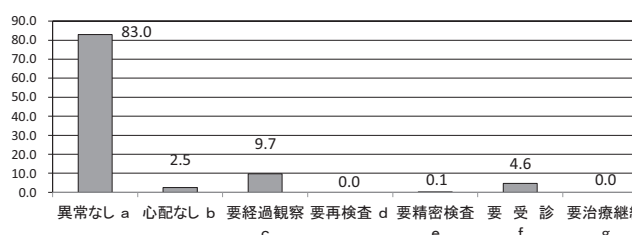


表 4 年齢別男女別総合判定集計

年齢	性	合計		異常なし a		心配なし b		要経過観察 c		要再検査 d		要精密検査 e		要 受 診 f		要治療継続 g		異常なし (a+b)		有所見 (c+d+e+f+g)	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
19歳以下	男性	5,064	66.9	3387	3.3	166	3.3	942	18.6	242	4.8	77	1.5	239	4.7	11	0.2	3,553	70.2	1,511	29.8
	女性	5,099	71.7	3,654	140	2.7	1,052	20.6	61	1.2	79	1.5	95	1.9	18	0.4	3,794	74.4	1,305	25.6	
	計	10,163	69.3	7,041	306	3.0	1,994	19.6	303	3.0	156	1.5	334	3.3	29	0.3	7,347	72.3	2,816	27.7	
20～29歳	男性	19,199	5960	31.0	1576	8.2	7887	41.1	551	2.9	648	3.4	2439	12.7	138	0.7	7536	39.3	11,663	60.7	
	女性	14,390	4583	31.8	1550	10.8	6253	43.5	167	1.2	637	4.4	1075	7.5	125	0.9	6,133	42.6	8,257	57.4	
	計	33,589	10,543	31.4	3126	9.3	14,140	42.1	718	2.1	1285	3.8	3,514	10.5	263	0.8	13,669	40.7	19,920	59.3	
30～39歳	男性	20,368	3,262	16.0	1308	6.4	9,090	44.6	374	1.8	1363	6.7	4,370	21.5	601	3.0	4,570	22.4	15,798	77.6	
	女性	11,977	1,829	15.3	1,676	14.0	5,575	46.5	161	1.3	850	7.1	1582	13.2	304	2.5	3,505	29.3	8,472	70.7	
	計	32,345	5,091	15.7	2,984	9.2	14,665	45.3	535	1.7	2,213	6.8	5,952	18.4	905	2.8	8,075	25.0	24,270	75.0	
40～49歳	男性	20,318	2,842	14.0	816	4.0	7,172	35.3	542	2.7	1,504	7.4	5,730	28.2	1,712	8.4	3,658	18.0	16,660	82.0	
	女性	15,204	2,488	16.4	1,839	12.1	5,701	37.5	242	1.6	1,147	7.5	2,756	18.1	1,031	6.8	4,327	28.5	10,877	71.5	
	計	35,522	5,330	15.0	2,655	7.5	12,873	36.2	784	2.2	2,651	7.5	8,486	23.9	2,743	7.7	7,985	22.5	27,537	77.5	
50～59歳	男性	19,249	1,815	9.4	401	2.1	5,130	26.7	635	3.3	1,459	7.6	6,097	31.7	3,712	19.3	2,216	11.5	17,033	88.5	
	女性	15,801	1,889	12.0	1465	9.3	5,077	32.1	326	2.1	976	6.2	3,738	23.7	2330	14.7	3,354	21.2	12,447	78.8	
	計	35,050	3,704	10.6	1,866	5.3	10,207	29.1	961	2.7	2,435	6.9	9,835	28.1	6,042	17.2	5,570	15.9	29,480	84.1	
60～69歳	男性	11,038	923	8.4	118	1.1	2,107	19.1	364	3.3	946	8.6	3,564	32.3	3,016	27.3	1,041	9.4	9,997	90.6	
	女性	10,410	1,373	13.2	986	9.5	2,567	24.7	192	1.8	731	7.0	2,276	21.9	2,285	22.0	2,359	22.7			

表5 労働基準監督署別判定集計

労働基準 監督署名	性	合計	異常なし a		心配なし b		要経過観察 c		要再検査 d		要精密検査 e		要 受 診 f		要治療継続 g		異常なし (a+b)		有所見 (c+d+e+f+g)	
			人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
沼 津	男性	5,208	856	16.4	220	4.2	1,682	32.3	162	3.1	226	4.3	1,349	25.9	713	13.7	1,076	20.7	4,132	79.3
	女性	5,610	1,177	21.0	527	9.4	2,080	37.1	118	2.1	231	4.1	865	15.4	612	10.9	1,704	30.4	3,906	69.6
	計	10,818	2,033	18.8	747	6.9	3,762	34.8	280	2.6	457	4.2	2,214	20.5	1,325	12.2	2,780	25.7	8,038	74.3
三 島	男性	1,883	149	7.9	118	6.3	552	29.3	51	2.7	54	2.9	594	31.5	365	19.4	267	14.2	1,616	85.8
	女性	1,929	203	10.5	155	8.0	719	37.3	58	3.0	120	6.2	375	19.4	299	15.5	358	18.6	1,571	81.4
	計	3,812	352	9.2	273	7.2	1,271	33.3	109	2.9	174	4.6	969	25.4	664	17.4	625	16.4	3,187	83.6
富 士	男性	12,425	1,584	12.7	371	3.0	4,202	33.8	597	4.8	553	4.5	3,456	27.8	1,662	13.4	1,955	15.7	10,470	84.3
	女性	6,834	799	11.7	1,319	19.3	2,556	37.4	123	1.8	336	4.9	912	13.3	789	11.5	2,118	31.0	4,716	69.0
	計	19,259	2,383	12.4	1,690	8.8	6,758	35.1	720	3.7	889	4.6	4,368	22.7	2,451	12.7	4,073	21.1	15,186	78.9
静 岡	男性	31,482	5,851	18.6	1,619	5.1	11,675	37.1	608	1.9	2,426	7.7	6,566	20.9	2,737	8.7	7,470	23.7	24,012	76.3
	女性	20,402	4,747	23.3	1,417	6.9	7,754	38.0	334	1.6	1,213	5.9	3,521	17.3	1,416	6.9	6,164	30.2	14,238	69.8
	計	51,884	10,598	20.4	3,036	5.9	19,429	37.4	942	1.8	3,639	7.0	10,087	19.4	4,153	8.0	13,634	26.3	38,250	73.7
島 田	男性	20,781	2,662	12.8	997	4.8	7,079	34.1	575	2.8	1,466	7.1	5,776	27.8	2,226	10.7	3,659	17.6	17,122	82.4
	女性	12,272	1,641	13.4	1,276	10.4	4,672	38.1	218	1.8	870	7.1	2,442	19.9	1,153	9.4	2,917	23.8	9,355	76.2
	計	33,053	4,303	13.0	2,273	6.9	11,751	35.6	793	2.4	2,336	7.1	8,218	24.9	3,379	10.2	6,576	19.9	26,477	80.1
浜 松	男性	10,029	3,265	32.6	316	3.2	2,620	26.1	223	2.2	541	5.4	2,400	23.9	664	6.6	3,581	35.7	6,448	64.3
	女性	12,146	3,614	29.8	545	4.5	3,458	28.5	169	1.4	675	5.6	2,846	23.4	839	6.9	4,159	34.2	7,987	65.8
	計	22,175	6,879	31.0	861	3.9	6,078	27.4	392	1.8	1,216	5.5	5,246	23.7	1,503	6.8	7,740	34.9	14,435	65.1
磐 田	男性	19,703	5,442	27.6	817	4.1	5,802	29.4	576	2.9	1,206	6.1	4,208	21.4	1,652	8.4	6,259	31.8	13,444	68.2
	女性	23,767	6,526	27.5	3,187	13.4	7,228	30.4	259	1.1	1,485	6.2	3,302	13.9	1,780	7.5	9,713	40.9	14,054	59.1
	計	43,470	11,968	27.5	4,004	9.2	13,030	30.0	835	1.9	2,691	6.2	7,510	17.3	3,432	7.9	15,972	36.7	27,498	63.3
合 計	男性	101,511	19,809	19.5	4,458	4.4	33,612	33.1	2,792	2.8	6,472	6.4	24,349	24.0	10,019	9.9	24,267	23.9	77,244	76.1
	女性	82,960	18,707	22.5	8,426	10.2	28,467	34.3	1,279	1.5	4,930	5.9	14,263	17.2	6,888	8.3	27,133	32.7	55,827	67.3
	計	184,471	38,516	20.9	12,884	7.0	62,079	33.7	4,071	2.2	11,402	6.2	38,612	20.9	16,907	9.2	51,400	27.9	133,071	72.1

注：判定評価は、表3判定別集計の総合判定を推計しております。

2)特殊健康診断

特殊健康診断には、実施が義務づけられているじん肺健康診断および有害業務従事者に対する健診（有機溶剤・電離放射線・特定化学物質・鉛・石綿・高気圧）と、指導勧奨による健康診断（騒音・腰痛・情報機器作業・振動）などに分けることができる。

令和5年度に当協会で特殊健康診断を実施した団体数は、昨年度に比べ2団体増加し3,070団体であった。

実施が義務づけられている特殊健診総受診者は20,820人で、昨年度に比べ942人（4.3%）減少し、通達により実施の特殊健診総受診者は22,871人で、昨年度に比べ443人（2.0%）増加した。

総受診者数においては、昨年度の44,190人から499人（1.1%）減少して43,691人となった。

また各健診受診者を比較すると、特定化学物質（1.0%）、情報機器作業（24.3%）、頸肩腕（4.8%）、腰痛（7.3%）、振動病（18.1%）が増加し、有機溶剤（5.2%）、鉛（3.7%）、電離（4.6%）、じん肺（19.5%）、その他（5.4%）が減少した。

情報機器作業は24.3%増加したが、これは新規獲得団体の増加によるものと考える。

（築山 恒貴）

表1-1 代謝物分布表・検査結果

物質名（有機溶剤）	検査項目	分布区分1	分布区分2	分布区分3	総計
トルエン	尿中馬尿酸	2491	75	12	2578
キシレン	尿中メチル馬尿酸	2096	0	1	2097
1・1・1トリクロロエタン	尿中総三塩化物	19	0	0	19
NNジメチルホルムアミド	尿中N-メチルホルムアミド	522	6	1	529
ノルマルヘキサン	尿中2.5ヘキサンジオン	1394	3	0	1397

物質名（特定化学物質）	検査項目	分布区分1	分布区分2	分布区分3	総計
エチルベンゼン	尿中マンデル酸	644	0	0	644
テトラクロロエチレン	尿中総三塩化物	9	0	0	9
トリクロロエチレン	尿中総三塩化物	17	0	0	17
スチレン	尿中のマンデル酸及びフェニルグリオキシ酸の総量	分布報告はありません			269

表1-2 代謝物の検査分布表

有機特化コード	有機溶剤の名称	検査内容コード	検査内容	単位	分布		
					1	2	3
11	キシレン	1	尿中メチル馬尿酸	g / L	0.5 以下	0.5 超 ～ 1.5 以下	1.5 超
30	NNジメチルホルムアミド	1	尿中N-メチルホルムアミド	mg / L	10 以下	10 超 ～ 40 以下	40 超
31・242	スチレン・エチルベンゼン	1	尿中マンデル酸	g / L	0.3 以下	0.3 超 ～ 1 以下	1 超
253	テトラクロロエチレン	1	尿中トリクロロ酢酸	mg / L	3 以下	3 超 ～ 10 以下	10 超
		2	尿中総三塩化物	mg / L	3 以下	3 超 ～ 10 以下	10 超
35	1・1・1トリクロロエタン	1	尿中トリクロロ酢酸	mg / L	3 以下	3 超 ～ 10 以下	10 超
		2	尿中総三塩化物	mg / L	10 以下	10 超 ～ 40 以下	40 超
254	トリクロロエチレン	1	尿中トリクロロ酢酸	mg / L	30 以下	30 超 ～ 100 以下	100 超
		2	尿中総三塩化物	mg / L	100 以下	100 超 ～ 300 以下	300 超
37	トルエン	1	尿中馬尿酸	g / L	1 以下	1 超 ～ 2.5 以下	2.5 超
39	ノルマルヘキサン	1	尿中2・5-ヘキサンジオン	mg / L	2 以下	2 超 ～ 5 以下	5 超
251	スチレン	1	尿中のマンデル酸及びフェニルグリオキシ酸の総量	g / L	基準値 0.43 以下		

表1-3 鉛分布表・検査結果

検査内容	単位	分布			健診結果			
		1	2	3	分布1	分布2	分布3	計
血液中の鉛の量	μg / 100ml	20 以下	20 超 40 以下	40 超	313	0	0	313
尿中のδアミノレブリン酸の量	mg / l	5 以下	5 超 10 以下	10 超	313	0	0	313

表2 特殊健康診断成績表(労働基準監督署別)

区分	性別	有機溶剤			鉛			電磁放射線			じん肺			特定化学物質			情報機器作業			眼病			振動病			その他				
		受検者数	有所見者数	有所見率	受検者数	有所見者数	有所見率	事業所数	受検者数	有所見者数	有所見率	受検者数	有所見者数	有所見率	事業所数	受検者数	有所見者数	有所見率	事業所数	受検者数	有所見者数	有所見率	事業所数	受検者数	有所見者数	有所見率	事業所数	受検者数	有所見者数	
沼津	男	392	5	1.3	7	0	0.0	908	138	15.2	55	2	3.6	1238	75	6.1	83	12	14.5	88	53	60.2			1490	150	10.1	騒音 1032		
	女	19	85	0	0.0	1		385	119	32.6				59	33	3	9.1	75	7	9.3	6	712	433	60.8	0	65	3	4.6	有害光線353 レーザー光線4	
	計	477	5	1.0	7	0	0.0	1273	257	20.2	55	2	3.6	1271	78	6.1	158	19	12.0	800	486	60.8			1555	153	9.8	酸166		
三島	男																46	3	6.5	18	9	50.0								
	女	0												0			13	2	15.4	3	20	15	75.0	0						
	計																59	5	8.5	38	24	63.2								
富士	男	224	1	0.4				55	12	21.8	290	0	0.0	787	8	1.0	107	34	31.8						2402	345	14.4	騒音2551		
	女	16	55	0	0.0	0		2	0	0.0	15	0	0.0	39	22	1	4.5	61	4	6.6	0			59	149	7	4.7			
	計	279	1	0.4				57	12	21.1	305	0	0.0	809	9	1.1	168	38	22.6						2551	352	13.8			
静岡	男	1198	94	7.9	149	0	0.0	115	49	42.6	139	1	0.7	1313	161	12.3	591	189	32.0	228	93	40.8			1527	180	11.8	騒音707 高気圧50 有害光線623		
	女	122	137	6	4.4	3		4	0	0.0				201	79	6	7.8	333	109	32.7	11	1291	301	23.3	14	2	0	0.0	47	酸13 亜硫酸16 酢酸45
	計	1325	100	7.5	154	0	0.0	119	49	41.2	139	1	0.7	1392	167	12.0	924	298	32.3						1679	184	11.0	重量物76 歯科165 有機リン4		
島田	男	1659	150	8.8	28	0	0.0	251	67	26.7	526	4	0.8	3307	200	6.0	197	55	27.9	210	106	50.5			2893	353	12.2	騒音2788 超音波115 感染症75		
	女	282	514	22	4.3	13		23	7	30.4	15	0	0.0																	

3) ストレスチェック

〔はじめに〕

平成 26 年 6 月公布の労働安全衛生法の改正において、労働者の心理的な負担の程度を把握するための検査（以下「ストレスチェック」という。）及びその結果に基づく面接指導の実施等を内容としたストレスチェック制度が新たに創設され、平成 27 年 12 月に施行された。現在、50 人以上の事業所では年に 1 度のストレスチェックの実施が事業者に義務付けられている。

本制度は労働者のストレスの程度を把握し、労働者自身のストレスへの気づきを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることによって、労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止すること（一次予防）を目的としている。

当協会においても、平成 27 年 12 月より本制度による業務を開始し 10 年目を迎えた。令和 5 年度のストレスチェックの実施状況をまとめたので報告する。

〔ストレスチェック実施状況〕

令和 5 年度のストレスチェック実施状況は、表 1 に示したように、268 団体から申し込みがあり、24,870 人が受診した。すべての団体で、標準的な「職業性ストレス簡易調査票」（57 項目）を採用した。

〔高ストレス者の割合〕

高ストレス者の選定方法は、厚生労働省が作成した「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度マニュアル」で示されている 2 つの選定方法のうち、すべての団体が評価基準その 1「合計点数法」を採用した。抽出後、実施者本人に報告している。

厚生労働省の基準では受診者の約 10%が高ストレス者となるよう選定基準が設定されている。同基準で行った当協会では 24,870 人中 3,605 人、14.5%が高ストレス者となり、厚生労働省の設定よりやや高い結果となった。（表 1）年代別にみると、40 歳代が 17.3%と一番高く、次いで 30 歳代が 17.2%という結果であった。（表 2）業種別にみると、はん用機械器具製造業が高ストレス者の割合が一番高く、28.3%であった。

（表 3）

〔医師面接について〕

高ストレス者と判定された 3,605 人のうち、当協会が医師面接を実施した者は 7 人（0.19%）にとどまった。また、保健師等による相談対応は 0 人（0.0%）で

あった。（表 1）

当協会ではストレスチェックを実施した多くの事業所では、高ストレス者の医師面接は事業場選任の産業医等によって実施しているため実態は把握できない。尚、令和 5 年 1 月～12 月の全国衛生団体連合会の実施結果報告書では、高ストレスと判定され、医師面接を実施した者の割合は 2.0%、相談対応を実施した者の割合は 0.7%とそれぞれ非常に少ない。この結果から当協会でも同様であると考えられる。

〔まとめ〕

当協会では、ストレスチェック制度の目的とされている一次予防の観点から、実施した全員の結果に目的や概要、ストレスへの対処法や相談窓口等を記載したリーフレットを同封している。また、高ストレス者にむけての医師面接や保健師等による相談についての案内も同封し、事後フォローに繋げている。さらに、希望のあった事業所には「集団分析」を実施し、データを提供している。常用労働者を 10 人以上雇用する民営事業所から無作為に抽出した約 14,000 事業所に行った厚生労働省 労働安全衛生調査の発表によると、令和 5 年（期間：令和 4 年 11 月 1 日～令和 5 年 10 月 31 日）は、「集団分析」を実施した事業所の割合は 69.2%、その結果を活用し職場環境改善を実施した事業所の割合は、78.0%であった。当協会では 8 割の事業所で「集団分析」を実施しているが、結果を活用した事業所の割合や活用方法の情報がなく、不明確である。

ストレスチェックはこれまで、働く人々のストレスの状態を知るための調査という側面が強かったのに対し、制度開始から 10 年が経過した現在は、職場の現状を可視化し職場環境の改善につなげるという、もう一つの側面を重要視する流れに移り変わっている。ストレスチェックの結果は非常に重要なデータが詰まっているため、多くの企業で職場環境の把握と改善に取り組むためのきっかけとなるようはたらきかけていきたい。

（早野雅代）

表 1 令和 5 年度 契約区分別受診団体

契 約 区 分	団体数	受診者数（人）	高ストレス（人）	医師面接・相談実施数（人）
ストレスチェックのみ	231	21,350	3,065	0
相談、保健指導含む	3	822	123	0
法定の医師面接に対応	34	2,698	417	7
合 計	268	24,870	3,605	7

表 2 令和 5 年度 男女年代別高ストレス者割合

年 代	男			女			合計		
	受診者数 （人）	高ストレス （人）	高ストレス （％）	受診者数 （人）	高ストレス （人）	高ストレス （％）	受診者数 （人）	高ストレス （人）	高ストレス （％）
10 歳代	87	6	6.9	59	8	13.6	146	14	9.6
20 歳代	2,036	265	13.0	1,628	226	13.9	3,664	491	13.4
30 歳代	2,870	525	18.3	1,794	275	15.3	4,664	800	17.2
40 歳代	3,331	654	19.6	2,502	356	14.2	5,833	1,010	17.3
50 歳代	3,435	548	16.0	2,783	382	13.7	6,218	930	15.0
60 歳代	1,959	163	8.3	1,617	160	9.9	3,576	323	9.0
70 歳代	482	22	4.6	268	14	5.2	750	36	4.8
80 歳代	14	0	0.0	5	1	20.0	19	1	5.3
総計	14,214	2,183	15.4	10,656	1,422	13.3	24,870	3,605	14.5

表 3 令和 5 年度 業種別高ストレス者割合

業 種	受診者数（人）	高ストレス（人）	高ストレス（％）
ゴム製品工業製造業	12	1	8.3
サービス業（他に分類されないもの）	1,333	165	12.4
その他	529	81	15.3
その他の製造業	1,371	199	14.5
パルプ・紙・紙加工品製造業	562	103	18.3
はん用機械器具製造業	46	13	28.3
プラスチック製品製造業	435	75	17.2
医療、福祉	4,527	634	14.0
印刷・同関連業	878	154	17.5
飲料・たばこ・飼料製造業	302	41	13.6
運輸業、郵便業	924	118	12.8
卸業、小売業	262	31	11.8
化学工業	1,120	165	14.7
家具・装備品製造業	113	12	10.6
教育、学習支援業	1,551	222	14.3
業務用機械器具製造業	329	63	19.1
金属製品製造業	604	105	17.4
建設業	188	17	9.0
公務（他に分類されるものを除く）	4,400	488	11.1
宿泊業、飲食業	221	58	26.2
情報通信業	43	4	9.3
食料品製造業	935	143	15.3
生活関連サービス業、娯楽業	156	18	11.5
生産用機械器具製造業	371	70	18.9
石油製品・石炭製品製造業	57	7	12.3
繊維工業	217	36	16.6
鉄鋼業	50	4	8.0
電気機械器具製造業	998	166	16.6
電子部品・デバイス・電子回路製造業	128	12	9.4
農業、林業	73	11	15.1
非鉄金属製造業	55	5	9.1
不動産業、物品賃貸業	67	10	14.9
木材・木製品製造業（家具を除く）	65	9	13.8
輸送用機械器具製造業	1,948	365	18.7
総 計	24,870	3,605	14.5

4) 喀痰細胞診による肺がん検診

肺がんは、発生部位により肺野部肺がんと肺門部肺がんの二つに分けられる。胸部エックス線検査は、肺野部肺がんの早期発見を、喀痰細胞診は、肺門部肺がんの早期発見を主な目的として行われる。当協会では、昭和 58 年から喀痰細胞診検査による肺がん検診を実施している。（早野 雅代）

表 1 集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分（日本肺癌学会「臨床・病理肺癌取り扱い規約第 8 版」より）

判定区分	細胞所見	指導区分
A	喀痰中に組織球を認めない	材料不適、再検査
B	正常上皮細胞のみ 軽度異型扁平上皮細胞 基底細胞増生 線毛円柱上皮細胞	現在異常を認めない 次回定期検査
C	中等度異型扁平上皮細胞 核の増大や濃染を伴う円柱上皮細胞	程度に応じて 6 ヶ月以内の追加検査と追跡
D	高度（境界）異型扁平上皮細胞または 悪性腫瘍の疑いある細胞を認める	ただちに精密検査
E	悪性腫瘍細胞を認める	

表 2 令和 5 年度 喀痰細胞診検査成績

* 令和 5 年度地域の東部・中部地区の受託はなし

区分	地区	受診者	A	(%)	B	(%)	C	(%)	D	(%)	E	(%)
地域	東部	0										
	中部	0										
	西部	740	7	0.95	732	98.92	1	0.14	0	0.00	0	0.00
	合計	740	7	0.95	732	98.92	1	0.14	0	0.00	0	0.00
職域	東部	222	8	3.60	214	96.40	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	中部	43	3	6.98	40	93.02	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	西部	21	0	0	21	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	合計	286	11	3.85	275	96.15	0	0.00	0	0.00	0	0.00

表 3 年度別 地域における喀痰細胞診成績

年度	受診者	A	(%)	B	(%)	C	(%)	D	(%)	E	(%)
令和元	1,076	237	22.03	838	77.88	1	0.09	0	0.00	0	0.00
2	870	34	3.91	836	96.09	0	0.00	0	0.00	0	0.00
3	886	15	1.69	859	96.95	11	1.24	1	0.11	0	0.00
4	845	5	0.59	837	99.05	0	0.00	2	0.24	1	0.12
5	740	7	0.95	732	98.92	1	0.14	0	0.00	0	0.00

表 4 年度別 職域における喀痰細胞診成績

年度	受診者	A	(%)	B	(%)	C	(%)	D	(%)	E	(%)
令和元	284	39	13.73	244	85.92	1	0.35	0	0.00	0	0.00
2	270	44	16.30	226	83.70	0	0.00	0	0.00	0	0.00
3	265	14	5.28	249	93.96	2	0.75	0	0.00	0	0.00
4	275	6	2.18	268	97.45	1	0.36	0	0.00	0	0.00
5	286	11	3.85	275	96.15	0	0.00	0	0.00	0	0.00

5) 婦人科細胞診による子宮頸がん検診

〔はじめに〕

国立がん研究センターの報告によると、2022 年の国内の子宮頸がんの年間罹患数は 10,353 例、年間死亡者数は 2,999 人である。がんを治すには、早期発見と早期治療が重要である。子宮頸がんは HPV（ヒトパピローマウイルス）の持続的な感染が原因といわれている。定期的な検診で異形成とよばれる前がん状態で発見、治療することによりがんの発症を未然に防ぐことができる。

当協会では、昭和 47 年度から子宮頸がん検診を実施している。

〔検診方法〕

子宮がん検診車による巡回健診と施設内健診を実施している。子宮頸部からサーベックスブラシで擦って細胞を採取し、液状処理（Sure Path 法）にて標本作製し細胞診検査を行う。細胞診の判定は、ベセスダシステム（表 1）に拠った。

〔成績〕

令和 5 年度の子宮がん検診の受診者数は 14,155 人（対前年度 344 人減）、要精検者 146 人、要精検率 1.0%であった。

表 2 には、地域健診の結果を示した。令和 5 年度は 6,551 人が受診し、36 人（0.5%）が要精密検査となった。

表 3 には、職域健診の結果を示した。7,604 人が受診し、110 人（1.4%）が要精密検査となった。職域健診の方が地域健診より高い要精検受診率を示している。

要精密検査となった 146 人のうち、追跡調査が可能であった 55 人の結果を表 4 に示した。地域健診の精検受診率は 55.6%（精検受診者 20 人）、

職域健診の精検受診率は 31.8%（精検受診者 35 人）、全体の精検受診率は 37.7%（精検受診者 55 人）であった。

発見がん数（確定）は 4 人でがん発見率は 0.03%、地域健診が 1 人、職域健診が 3 人であった。年齢別にみると、30～39 歳で 2 人、40～49 歳で 1 人、60～69 歳で 1 人が発見されている。

年齢階層別健診結果を表 5 に示した。受診者数は 40～49 歳が 3,620 人（25.6%）、50～59 歳が 3,825 人（27.0%）と全体の 52.6%を占めている。29 歳以下は 530 人（3.7%）と若い年齢層の占める割合は低い。

年齢別受診者数に対する要精検率は、29 歳以下が 4.5%、30～39 歳が 2.2%、40～49 歳が 0.9%、50～59 歳が 0.9%、60 歳以上が 0.4%と若い年齢層の要精検率が高い。（大畑 みゆき）

表 1 ベセスダシステムに基づく細胞診分類

NILM	陰性
ASC-US	意義不明な異型扁平上皮細胞
ASC-H	HISL を除外できない異型扁平上皮細胞
LSIL	軽度異型扁平上皮内病変
HSIL	高度異型扁平上皮内病変
SCC	扁平上皮癌
AGC	異型腺細胞
AIS	内頸部上皮内腺癌
Adeno ca.	腺癌
Other	その他の悪性腫瘍

表 2 地域健診結果

地区	受診者数	NILM	要精密検査（合計 36）									検査不適
			ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno	Other	
東部	762	756	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0
中部	1,258	1,253	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0
西部	4,531	4,506	7	3	9	6	0	0	0	0	0	0
合計	6,551	6,515	11	5	12	7	0	1	0	0	0	0

表 3 職域健診結果

地区	受診者数	NILM	要精密検査 (合計 110)									検査不適
			ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno	Other	
施設健診	5,686	5,611	28	7	23	17	0	0	0	0	0	0
巡回健診	1,918	1,883	9	1	18	6	0	1	0	0	0	0
合計	7,604	7,494	37	8	41	23	0	1	0	0	0	0

表 4 精密検査結果

区分	要精密検査結果 (合計 55)									
	NILM	ASC-US	CIN1	CIN2	CIN3	SCC	AGC	AIS	Adeno ca	Other
地域健診	7	0	7	4	2	0	0	0	0	0
職域健診	10	0	16	4	3	0	1	0	1	0
合計	17	0	23	8	5	0	1	0	1	0

表 5 年齢階層別健診結果

年齢	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	細胞診検査結果 ベセスダ										
				NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno	Other	不適
～19	3	0	0.0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	199	11	5.5	188	4	0	6	1	0	0	0	0	0	0
25～29	328	13	4.0	315	5	0	7	1	0	0	0	0	0	0
30～34	738	22	3.0	716	8	2	7	5	0	0	0	0	0	0
35～39	1,031	17	1.6	1,014	5	1	6	4	0	1	0	0	0	0
40～44	1,749	16	0.9	1,733	5	2	7	2	0	0	0	0	0	0
45～49	1,871	17	0.9	1,854	6	0	8	3	0	0	0	0	0	0
50～54	2,171	23	1.1	2,148	9	2	6	5	0	1	0	0	0	0
55～59	1,654	11	0.7	1,643	2	2	4	3	0	0	0	0	0	0
60～64	1,646	6	0.4	1,640	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0
65～69	1,102	4	0.4	1,098	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
70～74	1,051	3	0.3	1,048	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	410	1	0.2	409	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～	202	2	1.0	200	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
合計	14,155	146	1.0	14,009	48	13	53	30	0	2	0	0	0	0

6) 血液型検査

集団検診の血液型検査では、ABO 式血液型及び Rh 式血液型の検査を行っている。

以前は盛んに行われていた学童の血液型検査であるが、近年の受検者は海外留学生や個人希望者などであり、令和5年度は1団体3件であった。

成人では新規受託団体や雇用時健診、危険業務従事者、海外渡航者などが主で、件数は年ごとに増減があり、令和5年度は個人を含む20団体188件であった。

(尾崎 栄世)

表1 団体別実数と型別分類

型 別 団体別 (団体数)		A B O 式 と R h 式								
		受検者	A		O		B		AB	
			＋ (%)	－ (%)	＋ (%)	－ (%)	＋ (%)	－ (%)	＋ (%)	－ (%)
幼稚園 (0)		0								
小学校 (0)		0								
中学校 (0)		0								
高等学校 (0)		0								
大学・専門学校 (0)		0								
特別支援学校・施設 (1)		3	1		2					
学 校 保 健 計 (1)		3	1	0	2	0	0	0	0	0
一 般	事 業 所 (19)	187	49 (26.2)		66 (35.3)		58 (31.0)		14 (7.5)	
	地 域 (0)	0								
	教 職 員 (0)	0								
	個 人 (1)	1			1					
	一 般 計 (20)	188	49 (26.1)	0	67 (35.6)	0	58 (30.9)	0	14 (7.4)	0
合 計 (21)		191	50 (26.2)	0	69 (36.1)	0	58 (30.4)	0	14 (7.3)	0

表2 過去の受検者数の推移

区分	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
学校保健	4	0	0	78	34	47	28	14	3
一般	159	106	22	13	11	71	61	93	188
合計	163	106	22	91	45	118	89	107	191

7) 細菌検査

〔公衆衛生と腸内細菌〕

本事業は、食品衛生法に基づき、集団給食従事者、食品関係営業従事者、食品関係製造従事者及び水道施設従事者などの保菌者を感染源として経口感染する腸管感染症の発生を事前に防止するために行う検査である。従って、受検者の職業からいえば、食品衛生の分野において重要な検査といえる。

腸内細菌（サルモネラ・赤痢菌）等団体別検査概要を表1に示した。令和5年度の検査件数は35,788件であった。これらの検査は、分離培養した後、各種鑑別培地を用いて確認培養を行い、生化学的性状により同定し、併せて各種腸内細菌診断用血清を用いて血清型別を行い決定する。チフス菌、パラチフス菌、赤痢菌などの第三類感染症原因菌およびサルモネラ菌は検出されなかった。

腸管出血性大腸菌O157 団体別検査概要を表2に示した。令和5年度の検査件数は34,140件であった。腸管出血性大腸菌O157（第三類感染症原因菌）は検出されなかった。

〔食品と細菌汚染〕

この検査は、いずれも食品製造業者からの依頼であり、各社の自主的な製造基準や納品に必要な細菌学的安全性の証明などを目的として行ったものである。検査は、食品衛生検査指針の微生物編等に準拠し、一般生菌数、大腸菌群、サルモネラ、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、大腸菌、腸管出血性大腸菌O157等を対象とした細菌学的検査を行い、表3のような結果を得た。
(倉島 友子)

表1 腸内細菌（サルモネラ・赤痢菌）等団体別検査概要

区 分		検 査 件 数	陽 性 者 数	サルモネラ陽性者						赤痢菌陽性者			
				O4群	O7群	O8群	O9群	O3,10群	その他	A群	B群	C群	D群
食 品 取 扱 者	食 品 衛 生 協 会	5,401	0										
	幼 稚 園 ・ 保 育 園	16,038	0										
	事 業 所 等	11,707	0										
	個 人	87	0										
	施 設	1,190	0										
	特 別 支 援												
	計	34,423	0										
学 生 ・ 生 徒	大 学 等	1,282	0										
	高 校 生	61	0										
	中 学 生	22	0										
	計	1,365	0										
合 計		35,788	0										

表2 腸管出血性大腸菌O157 団体別検査概要

団 体 名	食 品 取 扱 者							学 生 生 徒 児 童					合 計
	食 品 衛 生 協 会	私立幼稚園 私立保育園	事 業 所 等	個 人	施 設	特 別 支 援	計	大 学 等	高 校 生	中 学 生	幼 稚 園 保 育 園	計	
検 査 件 数	5,350	15,750	10,400	85	1,190		32,775	1,282	61	22		1,365	34,140
陽 性 者 数	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0

表3 食品検査概要

検査の組み合わせ	検査 件 数	陽 性 数	腸 性 の 内 訳											
			A 一般生 菌 数	B 大 腸 菌 群	C サ ル モネラ	D 黄 色 ブドウ 球 菌	E 腸炎ビ ブリオ	F 大腸菌	G 腸 管 出血性大腸 菌 O157	H 病原性 大腸菌	I カンピ ロバク タ ー	J 赤痢菌	K チ フ ス 菌	L セレウ ス 菌
A														
A+B														
A+B+C														
A+B+C+D														
A+B+C+D+E+G	3	0												
A+B+C+D+F+G														
A+B+D														
A+B+G														
B														
B+C+G														
G	12	0												
合 計	15	0												

8) 寄生虫卵検査

糞便検査は、主にセロファン厚層塗抹法を実施している。令和5年度の受検者数は220人で、有卵者数は0人であった。限られた事業所からの依頼となっている。

寄生虫保有率は年々減少しているが、現在でも輸入野菜や国内産野菜での化学肥料に頼らない栽培や無農薬栽培があるため、今後も十分な注意が必要である。

蟯虫検査はウスイ式セロファンテープを用い、二日にわたって採卵する二日法で実施している。令和5年度の受検者数は0人であった。

蟯虫検査においては、近年依頼がなかったこともあり令和5年度をもって検査を終了した。

(倉島 友子)

表1 寄生虫卵検査成績集計表 (セロファン厚層塗抹法)

地 域 (事業所)

区分 団体名	受検者数	有卵者数	%	内 訳											
				回虫卵	%	不受精卵	鉤虫卵	%	鞭虫卵	%	蟯虫卵	横吸虫卵	条虫卵	その他	二種以上
三 島 市	220	0													
合 計	220	0													

表2 蟯虫卵検査成績表 (セロファンテープ検肛法【ウスイ式】)

その他 (施設・個人依頼)

区分 郡市名	受検者数	有卵者数	%
静 岡 市			
磐 田 市		*該当なし	
合 計			

9) 住民健診

〔特定健診〕

特定健診は、40 歳以上 75 歳未満の方を対象に高血圧や糖尿病などの生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームを予防、改善しようとする取り組みである。

令和 5 年度の国民健康保険加入者の特定健診受診者数は、A 市では 2,905 人（男性 1,218 人、女性 1,687 人）、前年度の 3,113 人に比べ 208 人減少している。B 市では 422 人（男性 169 人、女性 253 人）、前年度の 463 人に比べ 41 人減少している。

〔がん検診〕

これまでの研究により、胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの 5 つのがんは、それぞれ特定の方法で行う検診を受けることで早期に発見し、治療を受けることで死亡率が低下することが科学的に証明されている。欧米での受診率が 70～80%と言われるのに対し、日本は 50%にも満たない状況である。（肺がんを除く）当協会でもがん検診の受診率を上げるために行政と協力し様々なアプローチを行っている。

対象者を表 1、受診者数、がん発見率等のプロセス指標を表 2 に示した。

A 市については、肺がん検診受診者数は 8,123 人、昨年と比べて 869 人の減、胃がん検診受診者数は 2,387 人、461 人の減、大腸がん検診受診者数は 6,813 人、714 人の減となった。乳がん検診受診者数は 3,065 人、326 人の減、子宮がん検診受診者数は 2,643 人、321 人の減となった。

B 市については、肺がん検診受診者数は 2,636 人、昨年と比べて 45 人の減、胃がん検診の受診者数は 1,699 人、96 人の減、大腸がん検診の受診者数は 3,362 人、18 人の減となった。乳がん検診受診者数は 1,566 人、96 人の増、子宮がん検診の受診者数は 1,666 人、19 人の減となった。

〔胃がんリスク検診〕

平成 25 年度より胃がんリスク検診を実施している。

A 市の胃がんリスク検診総受診者数は 253 人で、昨年度と比べて 64 人の減となった。このうち、

胃がん検診との併用者は 94 人、胃がんリスク検診のみの者は 159 人であった。

B 市の胃がんリスク検診総受診者数は 15 人で、5 人の減という結果となった。

A 市の受診者の男女比は、男性が 32.4%、女性は 67.6%と例年同様に女性が圧倒的に多かった。

胃がんリスク検診結果が要精密となった受診者の除菌率は、A 市は 62.9%であった。

〔まとめ〕

A 市 B 市ともに被保険者数が減少しているため受診者数も減少していると考えられるが、新たに対象になった年齢の方たちをどのようにして取り込んでいけばよいのか検討する必要があると考える。

B 市の乳がん検診受診者数は増加しているが、他のがん検診受診者数は減少している。また国は精密検査受診率 90%を目指しているが、そこに満たない検査項目も多くある。ただ受診して終わりではなく必ず結果を確認し、自己の判断で終わらせることがないよう、要精密検査になった場合は病院で精査することが重要だということも伝えていかなければならない。

日本人の半数以上がピロリ菌に感染していると言われているが、除菌により胃がんリスクを 3 分の 1 に抑えることが出来ると言われている。今年度は胃がんリスク検診で要精密検査となった受診者の除菌率は 60%を超えているが、この数値を今後上げること、受診者数を増加させることにより、胃がんになる人を 1 人でも減らしていきたいと思う。

対象年齢で毎回受診している方々には引き続き受けていただくように呼びかけ、受けたことがない人や期間が空いてしまっている人達に対し、検診では早期の段階で見つかりやすく、早期のがんのほとんどが治ることが多いというメリットを伝えていき、新たな受診者獲得を目指すため引き続き行政と協力して取り組んでいきたい。

（加 藤 詩 穂）

表 1 各検診の対象者（全額自己負担を含まない）

A市

検診項目	対 象
肺がん検診	40歳以上
胃がん検診	40歳以上
大腸がん検診	40歳以上
前立腺がん検診	50歳以上
乳がん検診	40歳以上の偶数年齢
子宮がん検診	20歳以上の偶数年齢
胃がんリスク検診	40・45・50・55・60・65・70歳(この内過去未受診の者)
乳房エコー検診	20～38歳 偶数年齢
骨密度検診	40・45・50・55・60・65・70歳

※年齢起算日 3月31日

B市

検診項目	対 象
肺がん検診	40歳以上
胃がん検診	40歳以上
大腸がん検診	40歳以上
前立腺がん検診	50歳以上
乳がん検診	40歳以上で前年度未受診の者
子宮がん検診	20歳以上で前年度未受診の者
胃がんリスク検診	40歳以上で胃がん検診とセットで受診する者
乳房エコー検診	20～39歳で、子宮がん検診を受診する者
骨密度検診	40・45・50・55・60・65・70歳

※年齢起算日 4月1日

表 2 A市, B市のプロセス指標数値 令和5年度

令和6年9月30日現在

A市

検査項目	受診者数 (人)	要精密 検査以上 (人)	がん 発見者数 (人)	要精密 検査率 (%)	精密検査 受診率 (%)	がん 発見率 (%)	陽性反応 的中率 (%)
肺がん	8,123	215	9	2.6	85.1	0.11	4.19
胃がん	2,387	116	1	4.9	94.0	0.04	0.86
大腸がん	6,813	421	12	6.2	72.2	0.18	2.85
前立腺がん	1,307	109		8.3	77.1		
乳がん	3,065	133	16	4.3	92.5	0.52	12.03
子宮がん	2,643	11	0	0.4	90.9	0.00	0.00
骨密度	652	118					

※子宮がん検診は細胞診のE判定のみ計上する

B市

検査項目	受診者数 (人)	要精密 検査以上 (人)	がん 発見者数 (人)	要精密 検査率 (%)	精密検査 受診率 (%)	がん 発見率 (%)	陽性反応 的中率 (%)
肺がん	2,636	50	1	1.9	78.0	0.04	2.00
胃がん	1,699	79	0	4.6	74.7	0.00	0.00
大腸がん	3,362	222	5	6.6	71.6	0.15	2.25
前立腺がん	1,059	88		8.3	81.8		
乳がん	1,566	82	4	5.2	96.3	0.26	4.88
子宮がん	1,666	12	0	0.7	100.0	0.00	0.00
骨密度	238	33					

※子宮がん検診は細胞診のE判定のみ計上する

表3 A市
特定健診 (A市)

特定健診判定													
性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能			
男性	40～44	51	6	2	22	1	1	17	3				
	45～49	53	3	5	27			13	5				
	50～54	56	2	1	19			27	7				
	55～59	57	1	1	23	1	2	11	18				
	60～64	91	2	2	26	1	1	36	23				
	65～69	338	4	2	89	4	5	116	118				
	70～74	572	4	5	130	6	10	219	198				
年齢不明													
合計		1,218	22	18	336	12	19	439	372				
		(%)	1.8	1.5	27.6	1.0	1.6	36.0	30.5				
性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能			
女性	40～44	51	4	4	28			8	4				
	45～49	65	4	4	40	1	1	14	2				
	50～54	91	6	4	43	1	2	25	10				
	55～59	85	6	1	34	3	2	25	16				
	60～64	207	4	3	86	1	4	54	55				
	65～69	482	3	1	176	10	134	158	158				
	70～74	706	4	7	201	1	18	186	289				
年齢不明													
合計		1,687	34	24	608	3	38	446	534				
		(%)	2.0	1.4	36.0	0.2	2.3	26.4	31.7				
総合計													

胃がん（A市）

判定内訳		受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
	男性	1,018	640	107	195		76			
	(%)		62.9	10.5	19.2		7.5			
	女性	1,528	968	297	179		84			
	(%)		63.4	19.4	11.7		5.5			
	合計	2,546	1,608	404	374		160			
	(%)		63.2	15.9	14.7		6.3			

検査別内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	936	589	99	193		55			
(%)		62.9	10.6	20.6		5.9			
胃部×線のみ	1,357	843	285	178		51			
(%)		62.1	21.0	13.1		3.8			
合計	2,293	1,432	384	371		106			
(%)		62.5	16.7	16.2		4.6			
男性	42	20	8	2		12			
(%)		47.6	19.0	4.8		28.6			
胃部×線 ABC検診併用	52	28	12	1		11			
(%)		53.8	23.1	1.9		21.2			
合計	94	48	20	3		23			
(%)		51.1	21.3	3.2		24.5			
男性	40	31				9			
(%)		77.5				22.5			
女性	119	97				22			
(%)		81.5				18.5			
合計	159	128				31			
(%)		80.5				19.5			

男女年齢階層別判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	～19									
	20～24									
	25～29									
	30～34									
	35～39									
	40～44	45	36	4	3		2			
	45～49	46	34	7	4		1			
	50～54	46	48	8	8		5			
	55～59	48	29	8	6		5			

前立腺がん（A市）

判定内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
	1,307	1,198					109		
(%)		91.7					8.3		

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24									
25～29									
30～34									
35～39									
40～44	5	5							
45～49	7	7							
50～54	69	68					1		
55～59	58	57							
60～64	135	125					10		
65～69	293	274					19		
70～74	415	374					41		
75～79	164	149					15		
80～	161	139					22		
年齢不明									
合計	1,307	1,198					109		

乳がん（A市）

判定内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
	3,332	2,814	315	58		145	4.4		
(%)		84.5	9.5	1.7					

検査別内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
視触診									
乳房×線	2,382	2,064	220	20		78			
1方向		86.6	9.2	0.8		3.3			
乳房×線	683	559	58	11		55			
2方向		81.8	8.5	1.6		8.1			
乳房エコー	267	191	37	27		12			
(%)		71.5	13.9	10.1		4.5			

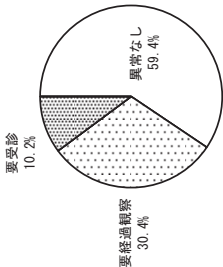
年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24	27	23	2	1		1			
25～29	39	30	5	3		1			
30～34	94								

推算系球体濾過量（A市）

男女年齢階層別判定内訳

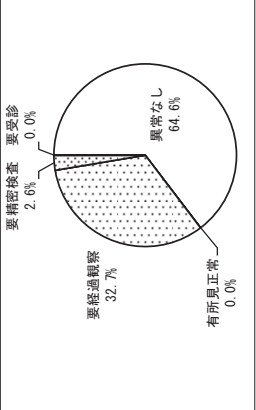
性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	40～44	51	43		7			1		
	45～49	53	50		3					
	50～54	56	48		6			2		
	55～59	57	47		9			1		
	60～64	91	56		29			6		
	65～69	338	193		108			37		
	70～74	572	255		223			94		
	75～									
年齢不明										
合計		1,218	692		385			141		
（％）			56.8		31.6			11.6		
女性	40～44	51	48		2			1		
	45～49	65	57		7			1		
	50～54	91	80		11					
	55～59	85	61		18			6		
	60～64	207	137		59			11		
	65～69	482	258		175			49		
	70～74	706	393		227			86		
	75～									
年齢不明										
合計		1,687	1,034		499			154		
（％）			61.3		29.6			9.1		
総合計		2,905	1,726		884			295		
（％）			59.4		30.4			10.2		



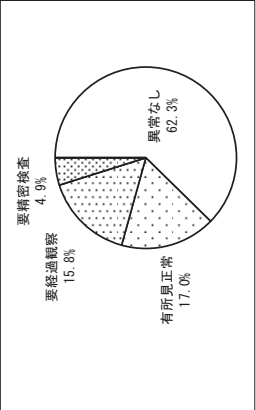
- 異常なし
- 有所見正常
- 要経過観察
- 要再検査
- 要精密検査
- 要受診
- 治療継続
- 判定不能

各検診判定（A市）

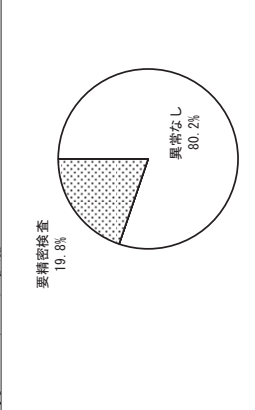
肺がん検診



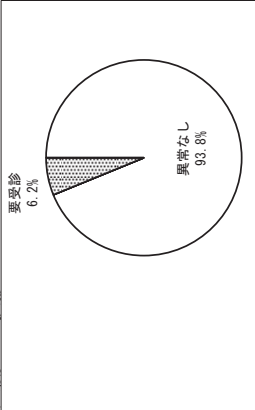
胃がん検診



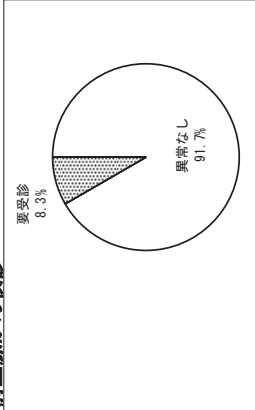
胃がんリスク検診



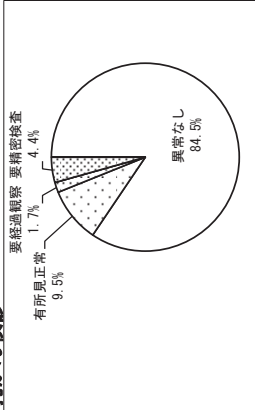
大腸がん検診



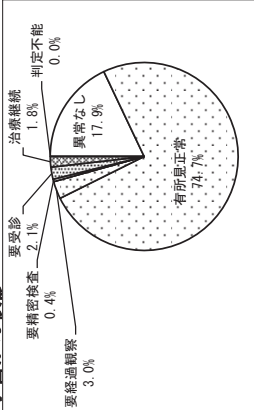
前立腺がん検診



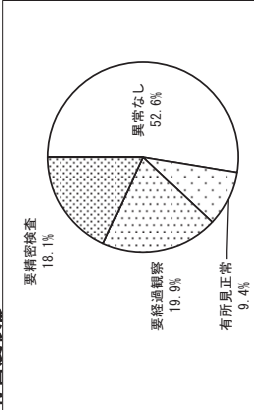
乳がん検診



子宮がん検診



骨密度検診



- 異常なし
- 有所見正常
- 要経過観察
- 要精密検査
- 要受診
- 治療継続
- 判定不能
- 要再検査

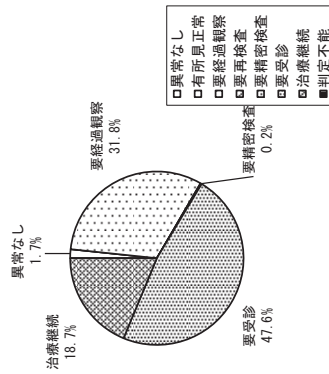
特定健診 (B市)

特定健診判定

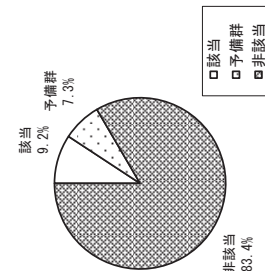
性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	40～44	7	2		1	1		4		
	45～49	12			4			6	2	
	50～54	8	1		3			4		
	55～59	8			2			4	2	
	60～64	10			2			6	2	
	65～69	57	1		12			31	13	
	70～74	63			19			29	15	
	75～	4			1			2	1	
	年齢不明									
	合計	169	4		44			86	35	
女性	40～44	20	2		26			50	9	判定不能
	45～49	16	1		10			7	1	
	50～54	21	1		8			5	2	
	55～59	13			5			11	1	
	60～64	40			19			6	2	
	65～69	82			25			13	8	
	70～74	56			15			25	16	
	75～	5						4	1	
	年齢不明									
	合計	253	3		90			115	44	
総合計		422	1		35		0	4	45	17
		(%)	1.7		31.8		0.2	47.6	18.7	

メタボリックシンドローム判定

性別	受診者数	該当	予備群	非該当
男性	169	29	27	113
(%)		17.2	16.0	66.9
女性	253	10	4	239
(%)		4.0	1.6	94.5
合計	422	39	31	352
(%)		9.2	7.3	83.4



特定健診判定



肺

胃がん（B市）

判定内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	702	454	63	136		49			
(%)		64.7	9.0	19.4		7.0			
女性	997	626	195	145		31			
(%)		62.8	19.6	14.5		3.1			
合計	1,699	1,080	258	281		80			
(%)		63.6	15.2	16.5		4.7			

検査別内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	695	448	63	136		48			
(%)		64.5	9.1	19.6		6.9			
女性	989	621	192	145		31			
(%)		62.8	19.4	14.7		3.1			
合計	1,684	1,069	255	281		79			
(%)		63.5	15.1	16.7		4.7			
男性	7	6				1			
(%)		85.7				14.3			
女性	8	5	3						
(%)		62.5	37.5						
合計	15	11	3			1			
(%)		73.3	20.0			6.7			

男女年齢階層別判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	～19									
	20～24									
	25～29									
	30～34									
	35～39	30	20	7	1	2				
	40～44	27	23	3	1					
	45～49	32	26	2	4					
	50～54	31	22	5	3	1				
	55～59	80	63	4	7	6				
	60～64	164	93	19	35	17				
	65～69	194	129	12	39	14				
	70～74	97	52	6	31	8				
	75～79	47	26	5	15	1				
	80～	</								

前立腺がん (B市)

判定内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
	1,059	971					88		
(%)		91.7					8.3		

年齢階層別判定内訳

年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
～19									
20～24									
25～29									
30～34									
35～39									
40～44	4	4							
45～49	3	3							
50～54	33	32							
55～59	57	57							
60～64	128	118					10		
65～69	265	248					17		
70～74	287	261					26		
75～79	171	156					15		
80～	111	92					19		
年齢不明									
合計	1,059	971					88		

乳がん (B市)

判定内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
	1,997	1,616	192	81		107	1		
(%)		80.9	9.6	4.1		5.4	0.1		

検査別内訳

	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
視触診									
(%)									
乳房X線	1,151	1,011	92	8		40			
1方向		87.8	8.0	0.7		3.5			
乳房X線	415	335	34	4		41	1		
2方向		80.7	8.2	1.0		9.9	0.2		
乳房エコー	445	280	70	69		26			
(%)		62.9	15.7	15.5		5.8			

年齢階層別判定内訳

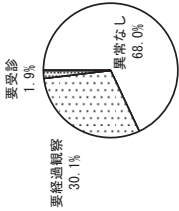
年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診
----	------	------	-------	-------	------	-------	-----

推算系球体濾過量（B市）

男女年齢階層別判定内訳

性別	年齢	受診者数	異常なし	有所見正常	要経過観察	要再検査	要精密検査	要受診	治療継続	判定不能
男性	40～44	7	7							
	45～49	12	11		1					
	50～54	8	5		3					
	55～59	8	6		2					
	60～64	10	5		5					
	65～69	57	37		18			2		
	70～74	63	37		23			3		
	75～	4	2		2					
年齢不明										
合計		169	110		54			5		
		(%)	65.1		32.0			3.0		
女性	40～44	20	19		1					
	45～49	16	16							
	50～54	21	18		3					
	55～59	13	7		6					
	60～64	40	32		8					
	65～69	82	50		31			1		
	70～74	56	33		21			2		
	75～	5	2		3					
年齢不明										
合計		253	177		73			3		
		(%)	70.0		28.9			1.2		
総合計		422	287		127			8		
		(%)	68.0		30.1			1.9		

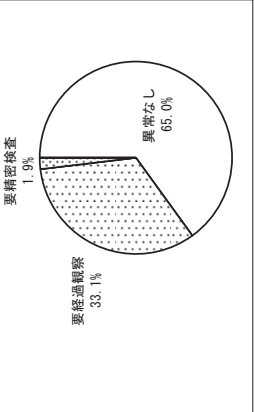
推算系球体濾過量



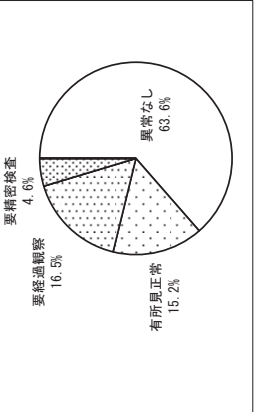
- 異常なし
- 有所見正常
- 要経過観察
- 要再検査
- 要精密検査
- 要受診
- 治療継続
- 判定不能

各検診判定（B市）

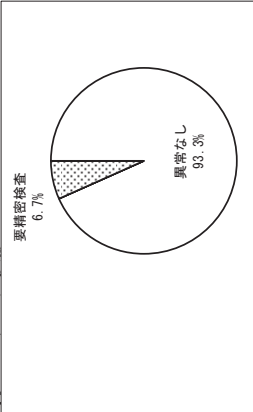
肺がん検診



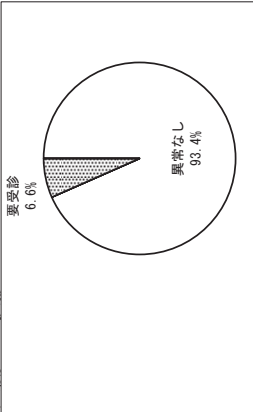
胃がん検診



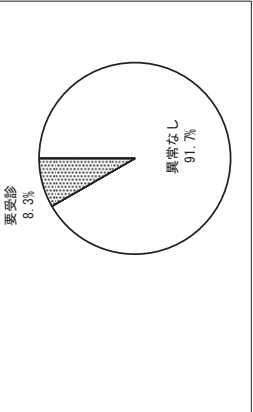
胃がんリスク検診



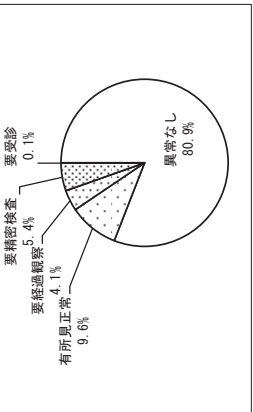
大腸がん検診



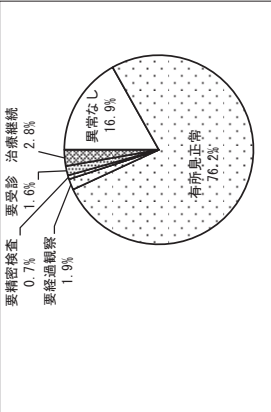
前立腺がん検診



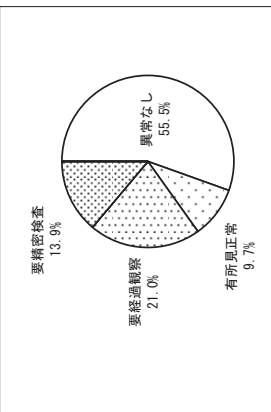
乳がん検診



子宮がん検診



骨密度検診



- 異常なし
- 有所見正常
- 要経過観察
- 要精密検査
- 要再検査
- 判定不能

10) 特定健診・特定保健指導

〔はじめに〕

メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導は16年目を迎え、令和6年度から第4期が始まった。当協会における令和5年度の特定健診・特定保健指導の実施状況をまとめたので報告する。

〔特定健診〕

令和5年度の特定健康診査の実施者数は87,921人であった。そのうち、メタボリックシンドロームと判定された人は12,154人(13.8%)で、予備軍と判定された人は10,206人(11.6%)であった。(表1)

また、「標準的な健診・保健指導に関するプログラム」に基づき階層化を行った結果、積極的支援に該当した者は7,133人(9.4%)、動機付け支援に該当した者は5,235人(6.9%)であった。(表2)

〔特定保健指導〕

平成30年度より第3期特定保健指導の開始に伴い、以下3点の変更されたルールに配慮し、それぞれの契約保険者との契約により実施した。

- ① 特定健診当日に結果が揃わなくても、初回面接の分割実施を可能とする。
- ② 特定保健指導の実施評価時期を3ヶ月以上の継続支援実施後とする。(以前は6ヶ月以上の継続支援実施後であった。)
- ③ 2年連続して積極的支援に該当した場合、1年目に比べ、2年目の状態が改善していれば、2年目の特定保健指導は動機付け支援相当で可能とする。

特定保健指導の実施者数は1,062人(積極的支援415人、動機付け支援638人、動機付け支援相当9人)であり、昨年度に比べて246人増加した。

そのうち、支援が終了した者は令和6年9月末時点で943人(88.8%)であった。支援別にみると、積極的支援が335人(80.7%)、動機付け支援が600人(94.0%)、動機付け支援相当は8人(88.9%)であった。途中脱落者数は119人(11.2%)であり、昨年度より0.4%増加した。(表3-1)

導入されて6年目となる初回分割面接の実施者数は177人(積極的支援50人、動機付け支援124人、動機付け支援相当3人)であり、昨年度に比べて69人増加

した。そのうち、支援が終了した者は令和6年9月末時点で134人(75.7%)であり、昨年度より6.3%増加した。支援別にみると、積極的支援が31人(62.0%)、動機付け支援が100人(80.6%)、動機付け支援相当が3人(100.0%)であった。(表3-2)

特定保健指導支援終了者のうち、体重が1kg以上減少した人は3ヶ月での支援では473人(51.2%)、6ヶ月での支援では7人(35.0%)であった。増減1kg未満の人は3ヶ月での支援では367人(39.8%)、6ヶ月での支援では11人(55.0%)、1kg以上増加した人は3ヶ月での支援では83人(9.0%)、6ヶ月での支援では2人(10.0%)であった。(表4)

また、腹囲が1cm以上減少した人は3ヶ月での支援では496人(53.7%)、6ヶ月での支援では11人(55.0%)であった。増減1cm未満の人は3ヶ月での支援では331人(35.9%)、6ヶ月での支援では5人(25.0%)、1cm以上増加した人は3ヶ月での支援では96人(10.4%)、6ヶ月での支援では4人(20.0%)であった。(表5)

支援別に比較すると、1kg以上の体重の減少者は、積極的支援の人が187人(55.8%)、動機付け支援の人(動機付け支援相当を含む)が293人(48.2%)であった。1cm以上の腹囲の減少者は、積極的支援の人が197人(58.8%)、動機付け支援の人(動機付け支援相当を含む)が310人(51.0%)であった。

〔まとめ〕

厚生労働省の発表によると、令和4年度の特定健康診査の受診率は58.1%、特定健康診査を受けた者のうち特定保健指導の対象になった者は5,118,152人であり、受診者全体の17.0%となっている。特定保健指導対象者のうち特定保健指導を終了した者(途中脱落者は含まない)は1,353,893人であり、特定保健指導対象者全体の26.5%となっている。

特定保健指導対象者数は令和3年度の5,262,265人に対し、令和4年度は144,113人減少している。しかし、特定保健指導実施率は令和3年度の特定保健指導実施率(24.6%)より1.9%増加した。

当協会における特定保健指導実施者数は、昨年度に比べて全体で246人増え、初回分割面接実施者数においても69人増加した。特定保健指導実施者数のう

ち、支援が終了した者は 943 人 (88.8%) であり、初回分割面接実施者は 134 人 (75.7%) であった。前年度は支援が終了した者は 723 人 (88.6%) であり、初回分割面接実施者は 75 人 (69.4%) であった。支援終了率を比較すると、全数では昨年度より 0.2% の増加とほぼ横ばいの状況である。初回分割面接実施者の支援終了者の割合は昨年度より 6.3% 増加している。

当協会における特定健康診査実施者数や特定保健指導対象者数は、昨年度とさほど変わらないが、特定保健指導実施者数や初回分割面接実施者数が増加した理由として、対象者の健康への関心が高まりつつあることや、企業・団体側の特定保健指導実施に向けた取り組み、特定保健指導内容が徐々に熟練されてきた成果とも言えるのではないかと推測できる。

アウトカム評価が導入されるようになった経緯と今後の保健指導の方向性について、武藤¹⁾ は以下のように述べている。NDB (National Database : レセプト情報・特定健診等情報データベース) を用いた第 3 期までの効果検証によると、特定保健指導の実施から 3 年後の変化を見たものでは、体重は女性では平均で -1.04 kg、男性では -0.87 kg と、特定保健指導を実施していない群と比べて統計学的に有意な減少効果を認めている。また、HbA1c についても、わずかながら統計学的に有意な減少を認めている。しかしながら、検査値のみで特定保健指導の有用性を評価することには限界があることや、これまでのところ十分な成果とは言い難いと判断されたため、より成果の求められるアウトカム評価が導入されたということである。また、保健指導の方向性について、これまでは、じっくり時間をかける保健指導だったが、これからはとにかく結果が求められることになる。そして、今までは「無理はしない」「できる範囲で」といった緩いコンセプトが保健指導の根底にあったと思われるが、第 4 期からは「今よ

りも努力して痩せる」がコンセプトになるのではないかと。決して無理はいけませんが、今よりも努力しなければ内臓脂肪を減らすことはできないため、削減エネルギーという概念を意識した保健指導が求められると唱えている。

他にも、保健指導実践者が知っておきたいエビデンスとして、「日本の特定健診の基準による脳・心血管疾患発症の相対リスク (HR) と人口寄与危険割合 : 10 コホートからの住民集団約 3 万人の 9 年追跡」の結果において、動機付け支援レベルや積極的支援レベルになると虚血性心疾患や脳卒中のリスクが高まることを示している。また、肥満がなくても追加リスクが増えると同様にリスクが高まることが分かっているとも示している。

これらを踏まえて、第 4 期では「目標設定はきちんと減量に結びつくものに」という国の考え方やエビデンスを念頭に置きながら、保健指導内容を見直し、ブラッシュアップすることが必要である。しかしながら、成果ばかりにとらわれるのではなく、従来通り、時間の限られた中で対象者と密に関わり継続支援を支えていけるようなプロセス型も大事にしていきたい。また、時代とともに多様化する対象者に対して、柔軟かつ丁寧に関わっていく必要があると考える。

最後に、今後もより多くの方に特定健康診査・特定保健指導を実施していただき、健康で生き生きとした生活を送られるように、サポートしていきたい。

(川口 知香)

引用・参考文献

- 1) 武藤繁貴 “生涯にわたる健康行動につながるような支援とは” 産業保健と看護 第 16 巻 5 号 メディカ出版

表1 令和5年度 特定健康診査・メタボリックシンドローム判定結果

区分	受診者数		基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	計	40-64歳 65-74歳	計	% [*]	40-64歳 65-74歳	% [*]	計	% [*]	40-64歳 65-74歳	% [*]
男性	49,525	42,722 6,803	10,093	20.4	8,186 1,907	19.2 28.0	31,110	62.8	27,252 3,858	63.8 56.7
女性	38,396	33,164 5,232	2,061	5.4	1,598 463	4.8 8.8	34,220	89.1	29,711 4,509	89.6 86.2
合計	87,921	75,886 12,035	12,154	13.8	9,784 2,370	12.9 19.7	65,330	74.3	56,963 8,367	75.1 69.5

* 年齢起算日は、令和6年3月31日付けで算出した。

1：受診者合計に対するそれぞれの該当群合計の割合

2：対象年齢群合計に対する該当群の割合

表2 令和5年度 特定健康診査・階層化結果

区分	受診者数	積極的支援		動機付け支援		情報提供		判定不能	
		該当者数	%	該当者数	%	該当者数	%	該当者数	%
男性	42,722	6,205	14.5	3,293	7.7	33,167	77.6	57	0.1
女性	33,164	928	2.8	1,942	5.9	30,282	91.3	12	0.0
合計	75,886	7,133	9.4	5,235	6.9	63,449	83.6	69	0.1

* 年齢起算日は、令和6年3月31日付けで算出した。 正規の階層化がされる受診者（40～64歳）に対し計上した。

〇初回面接分割実施について

腹囲・体重、血圧、喫煙歴の結果から健診当日に対象者を抽出し、特定保健指導初回面接を健診当日に実施。後日すべての健診結果を踏まえ、決定した支援レベルや方法を電話等で本人に報告する。報告電話を初回面接②と位置付けているため初回面接分割実施とされている。

〇動機付け支援相当について

2年連続で積極的支援と該当された場合、BMI30未満であれば腹囲1cm以上かつ体重1kg以上、BMI30以上であれば、腹囲2cm以上かつ体重2kg以上と昨年度のデータより改善が見られた場合、動機付け支援と同等の支援方法で支援を実施するとされている。

表3-1 初回面接実施者 特定保健指導支援別実施状況

区分	初回面接実施者数 (初回分割面接実施者を含めない人数)		支援終了		途中脱落		継続支援中	
	人	%	人	%	人	%	人	%
積極的支援	415 (365)		335 (304)	80.7 (83.3)	80 (61)	19.3 (16.7)	0 (0)	0.0 (0.0)
動機付け支援	638 (514)		600 (500)	94.0 (97.3)	38 (14)	6.0 (2.7)	0 (0)	0.0 (0.0)
動機付け支援相当	9 (6)		8 (5)	88.9 (83.3)	1 (1)	11.1 (16.7)	0 (0)	0.0 (0.0)
総計	1,062 (885)		943 (809)	88.8 (91.4)	119 (76)	11.2 (8.6)	0 (0)	0.0 (0.0)

* すべてのデータは令和6年9月30日現在

* () 内は初回分割面接実施者を含めない人数

表3-2 初回分割面接実施者 特定保健指導支援別実施状況

区分	初回分割 面接 実施者数		支援終了		途中脱落		継続支援中	
	人	%	人	%	人	%	人	%
積極的支援	50	31	62.0	19	38.0	0	0	0.0
動機付け支援	124	100	80.6	24	19.4	0	0	0.0
動機付け支援相当	3	3	100.0	0	0.0	0	0	0.0
総計	177	134	75.7	43	24.3	0	0	0.0

* すべてのデータは令和6年9月30日現在

表4 初回面接時と支援終了時の体重の変化

区分	積極的支援			動機付け支援			動機付け支援相当			計		
	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人
1kg以上の 体重減少	186	56.2	1	283	48.5	6	4	50.0	0	473	51.2	7
1kg未満の 体重増減	107	32.3	3	258	44.2	8	2	25.0	0	367	39.8	11
1kg以上の 体重増加	38	11.5	0	43	7.4	2	2	25.0	0	83	9.0	2
合 計	331	100.0	4	584	100.0	16	8	100.0	0	923	100.0	20

* 令和6年9月30日現在での支援終了者のみを対象とした

* 初回分割面接実施者を含む

* 継続支援を実施していない対象者（初回面接のみ実施した対象者）は除外

表5 初回面接時と支援終了時の腹囲の変化

区分	積極的支援			動機付け支援			動機付け支援相当			計		
	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人	3ヵ月 人	%	6ヵ月 人
1cm以上の 腹囲減少	195	58.9	2	297	50.9	9	4	50.0	0	496	53.7	11
1cm未満の 腹囲増減	99	29.9	1	229	39.2	4	3	37.5	0	331	35.9	5
1cm以上の 腹囲増加	37	11.2	1	58	9.9	3	1	12.5	0	96	10.4	4
合 計	331	100.0	4	584	100.0	16	8	100.0	0	923	100.0	20

* 令和6年9月30日未現在での支援終了者のみを対象とした

* 初回分割面接実施者を含む

* 継続支援を実施していない対象者（初回面接のみ実施した対象者）は除外

1 1) ワクチン接種

【はじめに】

「ワクチン」とは、「主に感染症を防ぐ目的で人や動物に投与される、免疫を不活化する為の無害化された病原体などの物質を含む医薬品」である。ワクチンは、免疫系が病原体の抗原に対する抗体を作るように促す為、先にワクチンを接種しておく事で、実際に本当の病原体にさらされた時に重症化しない様に作られている。

【インフルエンザワクチン】

現行のインフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではない。しかし、インフルエンザの発病を予防することや、発病後の重症化や死亡を予防することに関しては、一定の効果があるとされている。

【B型肝炎ワクチン】

B型肝炎ワクチンを接種することにより、B型肝炎ウイルスの抗体（免疫）を獲得することができ、ウイルスにさらされても感染や発症をしにくくなる。抗体を獲得するには、4 か月～6 か月の間に 3 回接種することが望ましく、その効果は長い方で 20 年以上続くと言われている。

【新型コロナウイルスワクチン】

新型コロナウイルスワクチンとして、日本国内での接種が始まったのは「m（メッセンジャー）RNA ワクチン」である。

mRNA ワクチンには、新型コロナウイルスの表面上に突き出した突起状のたんぱく質の設計図が書き込まれた mRNA が、脂質の膜でくるまれて入って

いる。接種したワクチン内の mRNA は、体内で細胞の中に入り込み、細胞内にある「たんぱく質製造工場」で、設計図に書いてある突起状のたんぱく質をつくる。このたんぱく質が、新型コロナウイルスの特徴的な目印（抗原）の役目をします。「異物」をみつけた体内の免疫システムが動き出し、新型コロナウイルスの目印めがけて攻撃をする抗体が作り出される。

2022 年から接種が始まっているオミクロン対応 2 価ワクチンは、従来株の mRNA に加え、オミクロン型に共通するスパイクタンパク質の mRNA が含まれており、今後の変異株に対してもより有効であることが確認されている。

【まとめ】

新型コロナウイルスワクチンについては、2019 年 12 月 中国湖北省武漢市で新型コロナウイルス感染症 COVID-19 の発生が報道されてからもうすぐ 4 年が経とうとしている。感染症法上の分類では 2 類から 5 類へ引き下がりマスクの着用については個人の判断に委ねられることになりましたが、決してウイルスが消え去ったわけではない。また、インフルエンザとの「同時流行」が懸念される中、当会が掲げる「みんなの健康を守る」という理念に基づき、今後もワクチン接種事業を推進していく。

（滝浪 聡之）

表 1 ワクチン接種 種類・拠点別 集計表

ワクチン種類 \ 拠点	藤枝健診センター		ヘルスポート		浜松健診センター		合 算	
	巡回	所内	巡回	所内	巡回	所内	巡回	所内
インフルエンザワクチン	6,414	536		58	4,923	740	11,337	1,334
B型肝炎ワクチン	1,403	2		0	75	7	1,478	9
コロナワクチン	0	0		798	0	1,173	0	1,971
その他（感染症等）	70	1		0	0	0	70	1
合 計	7,887	539		856	4,998	1,920	12,885	3,315

※その他（感染症等）…麻疹・風疹・水痘・耳下腺炎・百日咳・破傷風のワクチン接種が含まれます。

第二章 検査・健(検)診事業

3. 人 間 ド ッ ク

1) 人間ドック

1) 人間ドック

表1 受診者数の推移	92
図1 受診者数の推移	92
表2 コース別受診者数	92
表3 年齢階層別人間ドック受診者数	93
図2 年齢階層別人間ドック受診者数	93
表4 年齢階層別における人間ドック受診者の推移	94
図3 年齢階層別人間ドック受診者の推移	94
表5 人間ドック受診者数における発見がん数	95
表6 人間ドック健診結果一覧表	96
図4 人間ドック有所見率(要経過観察以上)	97
表7 人間ドック年齢別・判定割合	97
図5 人間ドック年齢別・判定割合	98
図6 人間ドックオプション実績	98
表8 人間ドック受診者におけるオプション実績の推移	99
図7-1～3 人間ドック受診者におけるオプション実績の推移	99

1) 人間ドック

〔はじめに〕

平成 9 年藤枝市に、人間ドックの健診施設として総合健診センター・ヘルスポートを開設、平成 24 年 1 月には新棟が落成し、以来受診者や企業等の要望に応えながら健診の充実を図ってきている。また、日本総合健診医学会の優良総合健診施設の認定を受け精度向上の維持に努めている。

健診コースは、基本ドックを始め、婦人科検診、脳ドック、骨ドック、二次検査等を実施しているが、健康保険組合等の希望する専用のコースにも対応している。

ものわすれドックでは、認知症のリスクを知り、予防に努めるものとして注目が高まっている。

胃部検査においては、希望により胃部内視鏡検査を実施している。同検査での経鼻法は好評を得ている。また、がん関連検査として胸部CT、大腸CT、マンモグラフィ、乳房超音波検査などに加え令和 5 年度 9 月からがんリスク検査としてマイシグナル検査を実施した。

動脈硬化検査として血圧脈波検査、頸動脈エコーなどのオプション検査も充実させた。さらに、腸内環境が健康に密接に関係していることから、令和元年度から腸内フローラ検査をオプションに加えた。

〔受診者数の推移〕

令和 5 年度は総受診者数 24,397 人、人間ドック(基本ドック)受診者数は昨年度に比べ 191 人増加の 14,128 人と、当初計画した目標人数に到達した。

〔令和 5 年度健診実施状況〕

総受診者数は 24,397 人(男性 10,552 人、女性 13,845 人)であった。このうち、人間ドック(基本ドック)は 14,128 人(男性 8,215 人、女性 5,913 人)、婦人科 6,176 人、脳ドック(A・B)1,739 人、その他健診 1,267 人、二次検査 1,087 人でピロリ菌の除菌が減った。

〔年齢階層別 ドック受診者〕

ドック受診者の年齢階層をみると、50 歳台が最も多く 5,051 人 (35.7%)、次いで 40 歳台が 4,028

人 (28.5%) となり、この年代で全体の約 6 割を占めている。

〔ドック受診者(オプション項目含む)判定結果〕

全体では、頸動脈超音波(61.3%)、脂質(49.5%)、眼底・眼圧 (46.0%)、循環器(44.2%)、腹部超音波(42.1%)、肝・膵(40.4%)、血液一般(34.2%)の検査項目で高い有所見率となっている。

男性、女性ともに、腹部超音波、頸動脈超音波、脂質で高い有所見率が示されている。

〔人間ドック受診者数における発見がん数〕

表 5 の項目で検査を実施した数のうち、紹介状等で追跡調査できた確定がん発見者数は 40 人であった。

〔まとめ〕

有所見率を見ると、生活習慣病の指標となる脂質、肝機能の検査で異常を示す割合が多い。人間ドックでは保健指導や栄養指導を同時に受けられるので、生活習慣を見直す良い機会として、今後も保健師・栄養士から積極的なアプローチを行っていく。

平成 28 年 9 月から、従来のものわすれドックに血液検査のMC I スクリーニング検査を加え、アルツハイマー病の原因物質であるアミロイドベータペプチドを排出したり防御する働きのある 3 種類の血液中のタンパク質の量を調べている。

結果は脳神経外科の専門医から受けられるので、今後受診者が増えていくことが予測される。

二次検査では、循環器の専門医による心臓超音波検査・負荷心電図、消化器の専門医による胃部内視鏡検査なども積極的に行っている。

胃部内視鏡検査の申込み増加にともない、木・金曜日と第 2、4 の月曜日の午後の実施に加え、月に 2 回ほど水曜日の午後にも実施できる体制を継続している。

(小林 辰雄)

表1 受診者数の推移

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比
基本ドック	12,938	13,107	13,602	13,937	14,128	191
婦人科	6,551	6,353	6,336	6,370	6,176	-194
脳ドック	1,903	1,749	1,818	1,731	1,739	8
その他健診	1,068	1,112	1,314	1,280	1,267	-13
二次検査	1,637	1,386	1,287	1,210	1,087	-123
健診合計	24,097	23,707	24,357	24,528	24,397	-131

※基本ドック：基本ドックと脳ドック A コースの合計人数

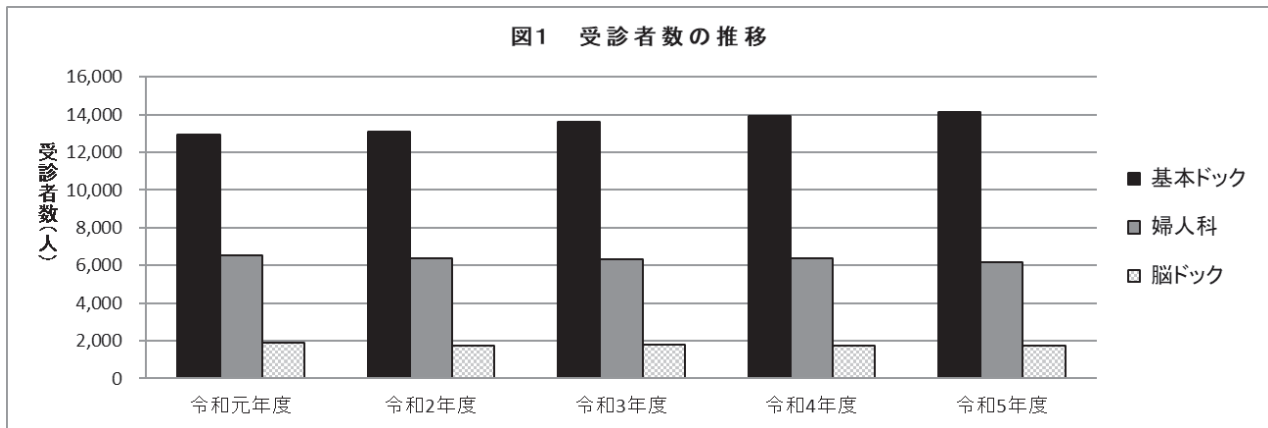


表2 コース別 受診者数

区 分	基本ドック	婦人科	脳ドック	その他健診	二次検査	合 計
男性	8,215	0	1,041	584	712	10,552
女性	5,913	6,176	698	683	375	13,845
計	14,128	6,176	1,739	1,267	1,087	24,397

表3 年齢階層別 人間ドック受診者数

基本ドック	29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	合計
男性	78	587	2, 249	2, 914	1, 799	544	44	8, 215
女性	41	465	1, 779	2, 137	1, 177	303	11	5, 913
計	119	1, 052	4, 028	5, 051	2, 976	847	55	14, 128

図2 年齢階層別 人間ドック受診者数

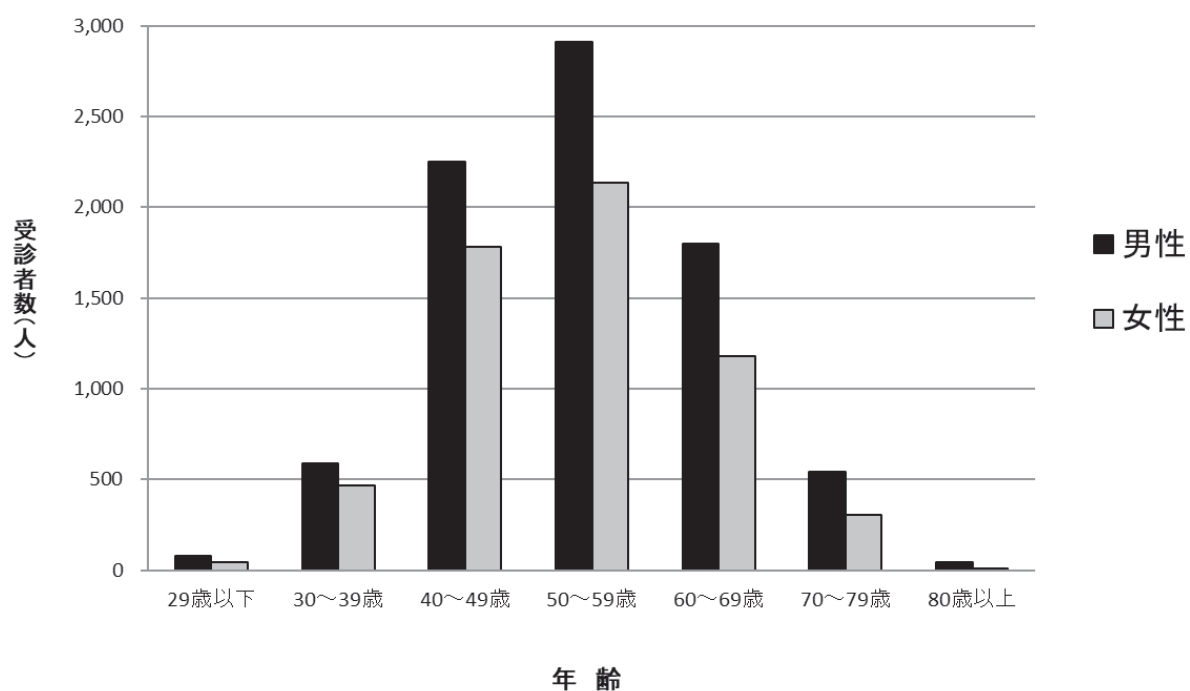


表 4 年齢階層別における人間ドック受診者数の推移

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
29歳以下 男性	54	59	64	72	78
29歳以下 女性	45	51	43	53	41
30～39歳 男性	603	637	634	621	587
30～39歳 女性	496	516	487	498	465
40～49歳 男性	2,439	2,419	2,430	2,330	2,249
40～49歳 女性	1,829	1,895	1,895	1,863	1,779
50～59歳 男性	2,761	2,763	2,798	2,847	2,914
50～59歳 女性	1,741	1,801	1,911	2,030	2,137
60～69歳 男性	1,422	1,475	1,570	1,688	1,799
60～69歳 女性	981	967	1,073	1,123	1,177
70～79歳 男性	371	350	453	495	544
70～79歳 女性	164	152	212	280	303
80歳以上 男性	21	16	21	28	44
80歳以上 女性	11	6	11	9	11

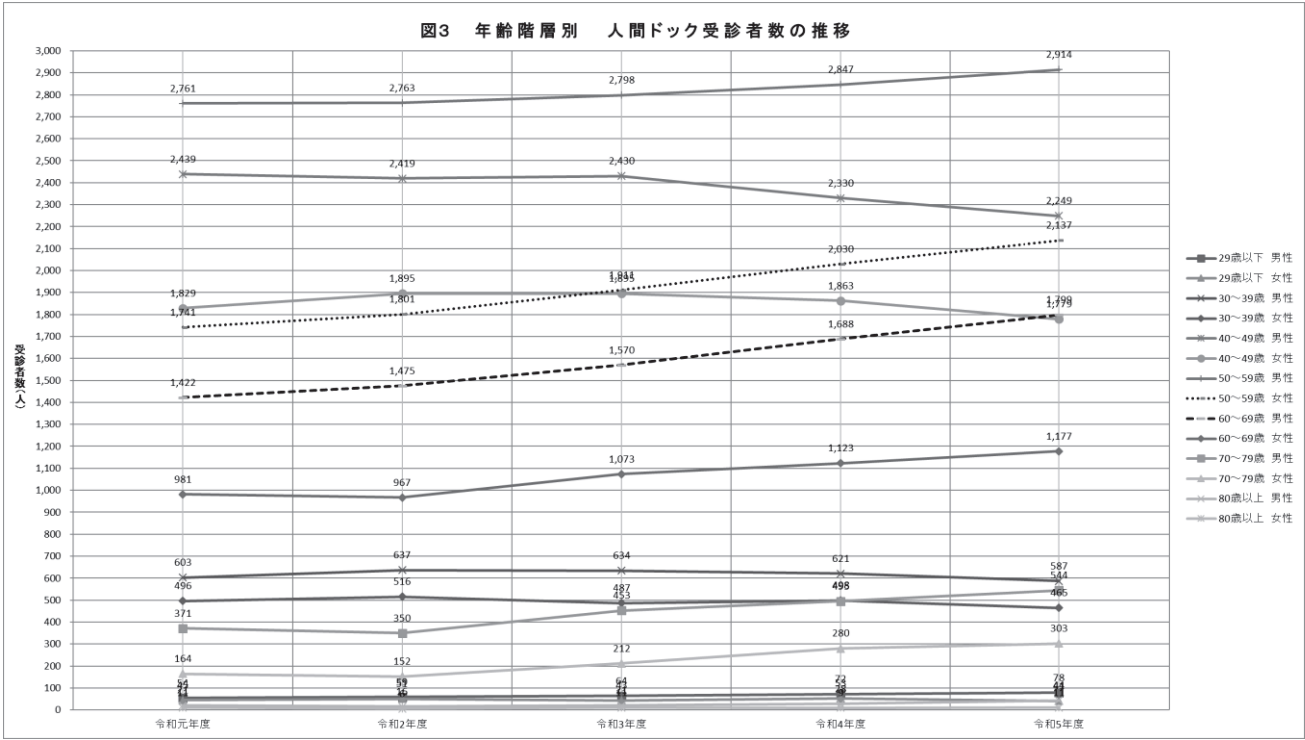


表5 人間ドック受診者数における発見がん数

検査	検査実施者数	発見がん数（疑い含む）	確定発見がん数
肺がん	14, 051	37	1
食道がん	12, 297	7	1
胃がん	12, 297	21	6
肝臓がん	14, 074	7	1
胆のうがん	14, 074	2	0
膵臓がん	14, 074	12	3
腎臓がん	14, 074	1	1
大腸がん	13, 894	86	10
前立腺がん	2, 110	8	0
乳がん	4, 048	19	11
子宮頸がん	3, 369	11	2
子宮体がん	0	0	2
卵巣がん	288	1	1
血液がん	14, 127	1	1
その他	14, 128	7	0
合計		220	40

図4 人間ドック 有所見率（要経過観察以上）

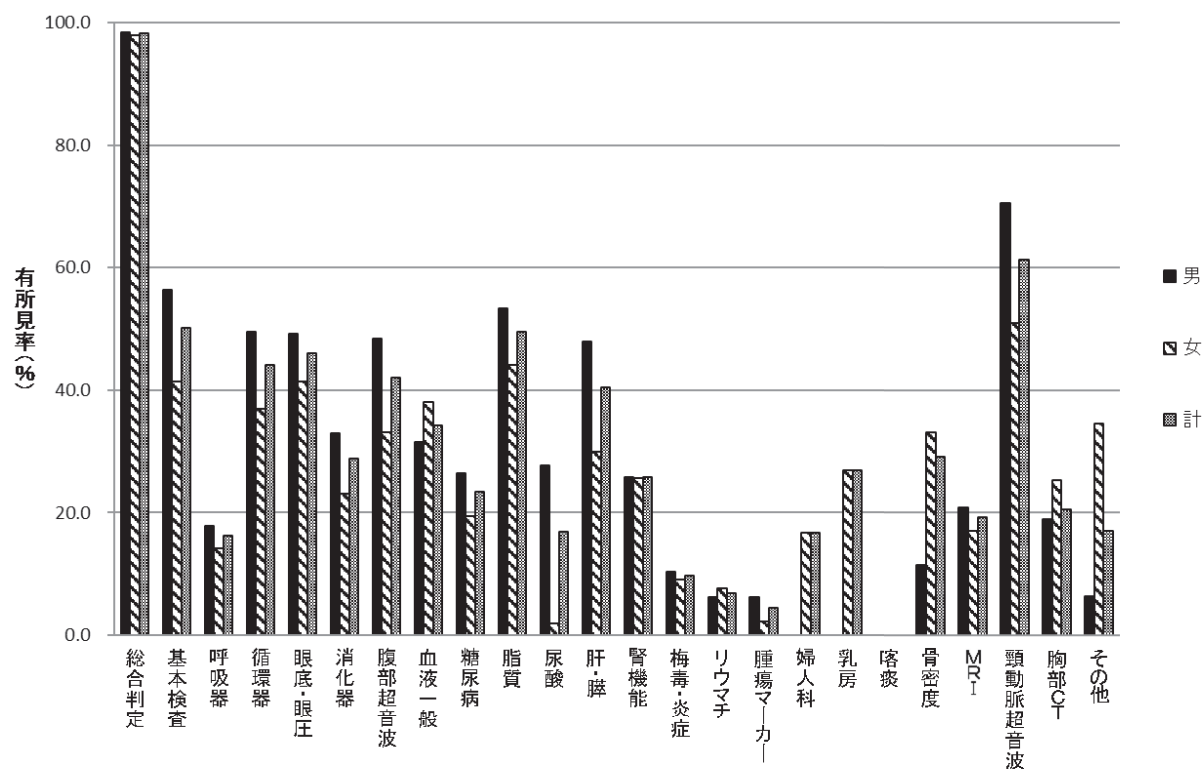


表7 人間ドック年齢別・判定割合

区 分		受診者数	A (異常なし)	B (心配なし)	C (要経過観察)	D (要再検査)	E (要精密検査)	F (要受診)	G (要治療継続)
男性	29歳以下	78	1	0	42	3	5	25	2
	30-39歳	587	5	33	261	38	33	194	23
	40-49歳	2,249	7	66	806	163	120	869	218
	50-59歳	2,914	1	16	741	197	225	1,173	561
	60-69歳	1,799	0	3	293	120	169	716	498
	70-79歳	544	0	0	42	28	64	227	183
	80歳以上	44	0	0	3	5	5	16	15
	男性合計	8,215	14	118	2,188	554	621	3,220	1,500
女性	29歳以下	41	0	2	25	2	1	11	0
	30-39歳	465	1	32	225	19	23	145	20
	40-49歳	1,779	3	52	791	91	90	624	128
	50-59歳	2,137	0	29	762	141	137	738	330
	60-69歳	1,177	0	4	278	71	110	393	321
	70-79歳	303	0	0	46	18	33	96	110
	80歳以上	11	0	0	1	0	1	6	3
	女性合計	5,913	4	119	2,128	342	395	2,013	912
全体	29歳以下	119	1	2	67	5	6	36	2
	30-39歳	1,052	6	65	486	57	56	339	43
	40-49歳	4,028	10	118	1,597	254	210	1,493	346
	50-59歳	5,051	1	45	1,503	338	362	1,911	891
	60-69歳	2,976	0	7	571	191	279	1,109	819
	70-79歳	847	0	0	88	46	97	323	293
	80歳以上	55	0	0	4	5	6	22	18
	全体計	14,128	18	237	4,316	896	1,016	5,233	2,412

図5 人間ドック 年齢別・判定割合

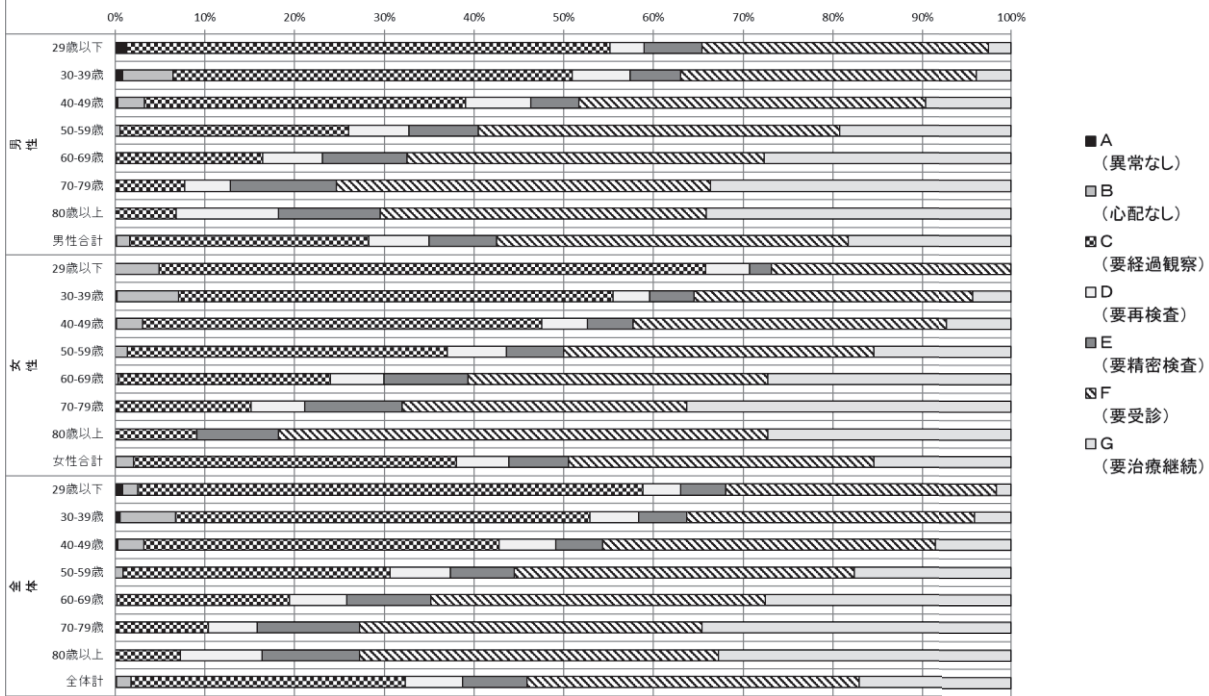


図6 人間ドック オプション実績

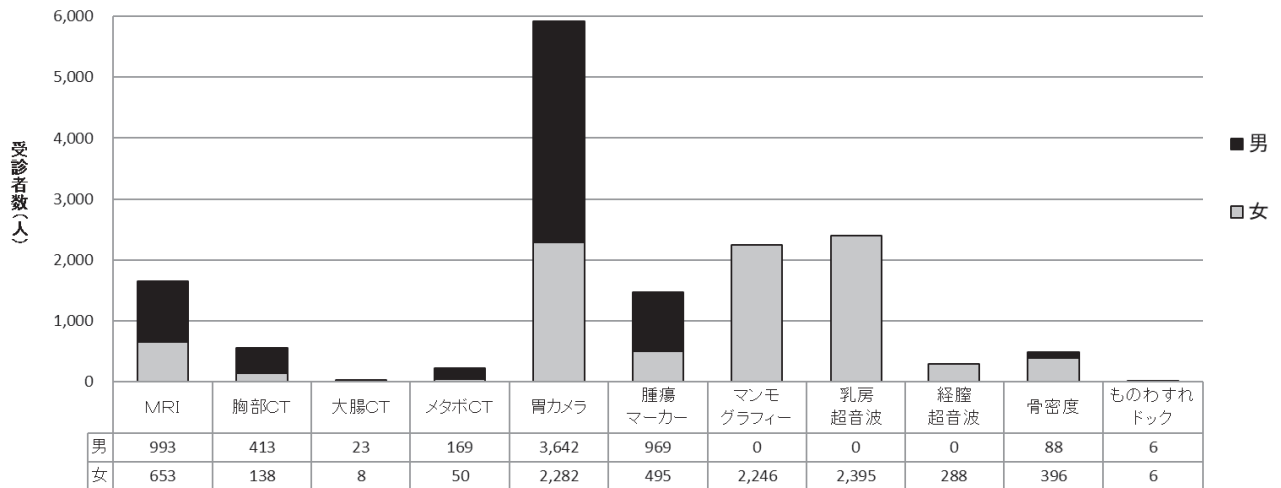
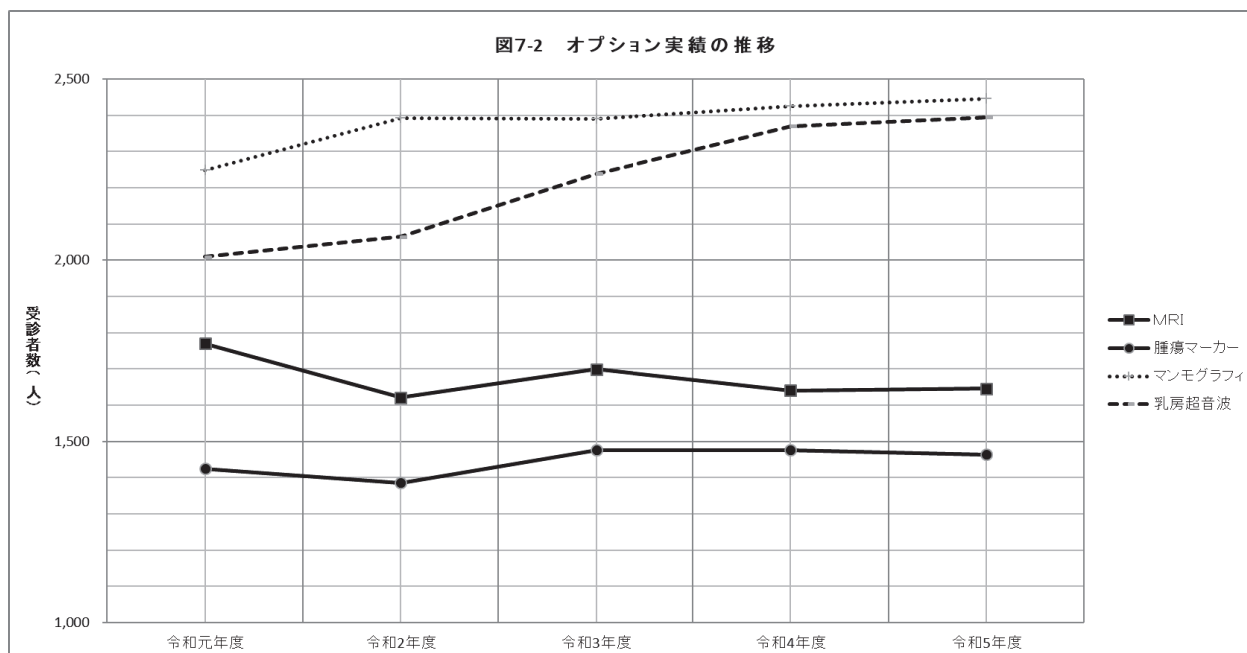
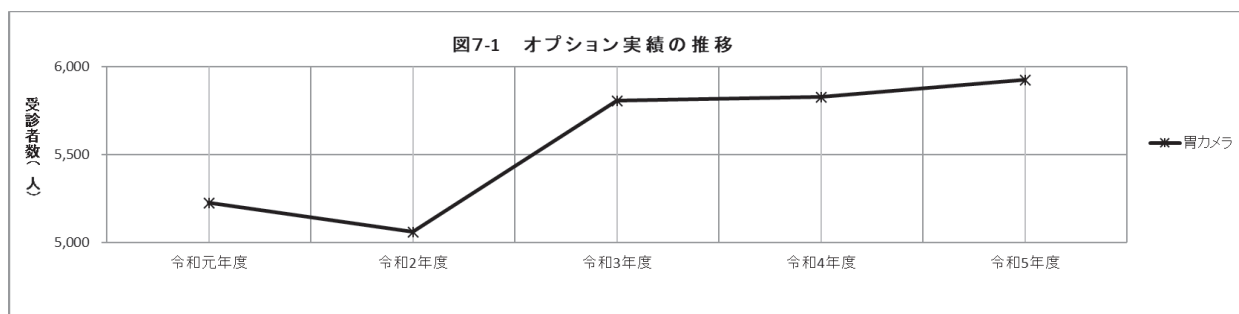
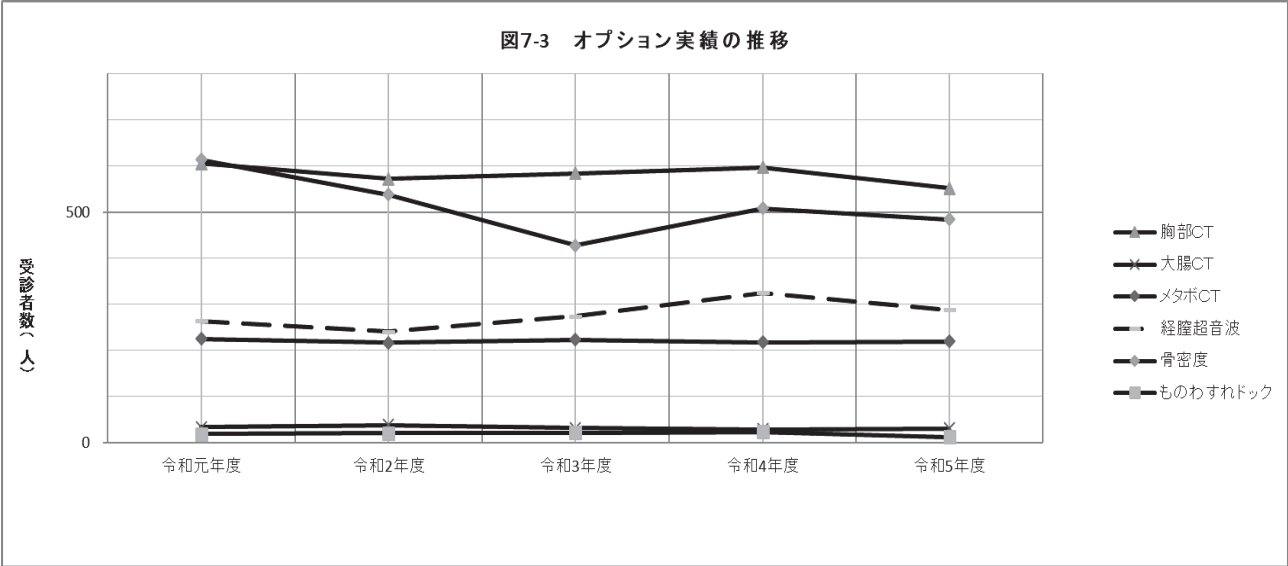


表8 人間ドック受診者におけるオプション実績の推移

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
MR I	1,770	1,621	1,699	1,640	1,646
胸部C T	605	572	584	597	551
大腸C T	34	38	32	29	31
メタボC T	225	217	223	218	219
胃カメラ	5,227	5,061	5,806	5,828	5,924
腫瘍マーカー	1,425	1,386	1,476	1,476	1,464
マンモグラフィ	2,249	2,392	2,390	2,425	2,446
乳房超音波	2,009	2,065	2,238	2,370	2,395
経膈超音波	264	241	274	325	288
骨密度	613	537	427	508	484
ものわすれドック	19	21	22	23	12





第二章 検査・健(検)診事業

4. 母子保健

- 1) 先天性代謝異常症等検査
- 2) 拡大新生児スクリーニング検査

1) 先天性代謝異常症等検査

表1 先天性代謝異常症等の症状、検査方法	102
----------------------	-----

図1 先天性代謝異常症等検査システム	103
--------------------	-----

表2 令和5年度先天性代謝異常症等検査の月別実施状況	103
----------------------------	-----

表3 令和5年度先天性代謝異常症等検査の年度別患児発見数	104
------------------------------	-----

2) 拡大新生児スクリーニング検査

表1 拡大新生児スクリーニングの対象疾患・症状・検査方法	106
------------------------------	-----

図1 拡大新生児スクリーニング実施体制	106
---------------------	-----

表2 令和5年度 拡大新生児スクリーニング検査の月別実施状況	106
--------------------------------	-----

1) 先天性代謝異常症等検査

〔はじめに〕

先天性代謝異常症や内分泌の疾患の中には、発症前に発見し治療を開始すれば障害の予防または軽減を期待できる疾患がある。このような疾患に対して出生後すぐに検査を行い、早期発見・治療することにより障害を防ごうとする事業を「新生児マススクリーニング」という。

〔新生児マススクリーニングの歴史〕

静岡県における先天性代謝異常スクリーニングは、厚生省母子保健事業の一環として、新生児を対象に、昭和53年1月より開始された。

当初は、フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症、ホモシスチン尿症、ヒスチジン血症、ガラクトース血症の5疾患が対象であったが、昭和54年11月から先天性甲状腺機能低下症、昭和64年1月から先天性副腎過形成症が加えられた。

その後、ヒスチジン血症については、厚生省心身障害研究班及び社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター特殊ミルク共同安全開発委員会の報告に基づき、平成4年9月よりスクリーニング対象疾患から除外された。

平成23年3月に出された厚生労働省の通達を受け、静岡県下でも平成25年10月より「アミノ酸代謝異常症」及び「有機酸代謝異常症」、「脂肪酸代謝異常症」のタンデムマススクリーニングが導入され、対象疾患が20疾患となった。

さらに、平成27年10月よりカルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ2欠損症が追加され、対象疾患は21疾患となっている。新生児マススクリーニングの対象疾患及び主な症状を表1に示した。

静岡県では、スクリーニング開始当初から昭和55年3月までは静岡県衛生研究所（現静岡県環境衛生科学研究所）において検査が行われていたが、同年4月以降は当協会が委託を受けている。現在では、政令指定都市である静岡市、浜松市、それ以外の地域の静岡県から委託を受け、引き続き静岡県全域の検査を行っている。

〔検査方法の変遷〕

アミノ酸代謝異常症検査法は、開始から平成10年度までガスリー法で行った。平成11年度にマイクロプレート酵素法、平成13年度にはアミノ酸分析計も導入し検査精度が飛躍的に

向上した。平成19年度からはタンデムマススペクトル（誘導体化）法を用いて検査を行った。平成25年10月のタンデムマススクリーニング導入と同時に、誘導体化法から非誘導体化法に変更した。

先天性甲状腺機能低下症及び先天性副腎過形成症検査は、ELISA法で行っている。先天性副腎過形成症検査は平成13年度に3位抗体試薬が7位抗体に変更されたため、検査精度が向上した。

〔検査システム〕

新生児マススクリーニング検査システムを図1に示した。新生児に対して、生後4～5日目（哺乳開始4日目以降）に各採血医療機関において採血が行われる。採血した血液は特殊なろ紙にしみこませ、乾燥し、検体とする。検体は郵送で検査機関（当協会）に集められ、しみこんでいる血液中の成分が測定される。

検査の結果、疾患が疑われる場合には、当協会が直ちに電話及びFAXにて出産病院に報告後、精密検査の手続きを行う。平成25年10月より開始されたタンデムマススクリーニング対象疾患は稀少疾患であり、小児科専門医といえどもなじみのない疾患が多い。しかし、どこで発見されても障害発生予防のための一定レベルの適切な対応が取れる体制を作る必要がある。そのため、タンデムマススクリーニングの精密検査は、自治体指定の6病院で行っている。

事業評価は、先天性代謝異常等検査事業連絡会にて新生児マススクリーニングに関連する機関によって行われる。

また、外部精度管理機関マススクリーニング研究室から定期的に試験用検体が送付され、その測定値を報告するとともに評価を受けている。このことにより、全国レベルでの精度管理がなされ、精度の維持、向上に大きな役割を果たしている。

〔検査実施数と患児発見数〕

令和5年度の初回検体数は19,981人であり、そのうち49人に対して精密検査依頼を行った。（表2）

令和5年度の精密検査の結果、ガラクトース血症（Ⅱ型）3人、先天性甲状腺機能低下症12人、先天性副腎過形成症1人を早期発見、早期治療できた。（表3）

〈母 子 保 健〉

また、対象疾患以外の疾患が見つかる場合もあるが、令和5年度は発見がなかった。

疾患の確定には数年かかる場合があり、当協会では2年後まで追跡調査を行っている。患児数は昨年度年報の数と異なる場合がある。

〔まとめ〕

当協会の取り組みとして、先天性代謝異常症等検査事業連絡会にて、検査実績報告と基準値等の見直しを行った。

マススクリーニング学会や研修会に参加し、検査技術の向上や対象疾患に対する見識を高めている。学会で得られた情報は、自治体、精密検査病院、採血医療機関等に配信し情報の共有を図っている。

検査精度維持のために採血医療機関へ採血要領を配布し、採血状態の良い検体が提出されるように啓蒙活動を行っている。

これからも、新生児マススクリーニングの精度向上のため、情報提供や啓蒙活動を行ってきたい。

(文責 池ヶ谷 やす代)

〔委託元〕

- ① 静岡県の委託元
健康福祉部こども未来局こども家庭課
- ② 静岡市の委託元
子ども未来局子ども家庭課
- ③ 浜松市の委託元
健康福祉部健康増進課

表1 先天性代謝異常症等の症状、検査方法

疾 患 名		主 な 症 状	検査方法
アミノ酸代謝異常症	フェニルケトン尿症	発達遅延、けいれん	タンデムマス法 (非誘導体化法)
	メープルシロップ尿症	発達遅延、酸血症	
	ホモシスチン尿症	発達遅延、水晶体脱臼、血栓症	
	シトルリン血症1型	高アンモニア血症、昏睡、発達遅延	
	アルギニノコハク酸尿症	高アンモニア血症、昏睡、発達遅延	
有機酸代謝異常症	メチルマロン酸血症	酸血症、腎不全、発達遅延	タンデムマス法 (非誘導体化法)
	プロピオン酸血症	酸血症、腎不全、発達遅延、嘔吐発作	
	イソ吉草酸血症	高アンモニア血症昏睡、異臭、嘔吐発作	
	メチルクロトニルグリシン尿症	酸血症、嘔吐発作、昏睡	
	ヒドロキシメチルグルタル酸血症	低血糖昏睡、酸血症、嘔吐発作	
	複合カルボキシラーゼ欠損症	高乳酸血症昏睡、湿疹、運動失調	
脂肪酸代謝異常症	グルタル酸血症1型	頭囲拡大、不随意運動の急性発症	タンデムマス法 (非誘導体化法)
	中鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症	乳幼児期突然死、急性脳症	
	極長鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症	乳幼児期突然死、急性脳症、筋症状	
	三頭酵素/長鎖3-ヒドロキシアシル-CoA脱水素酵素欠損症	乳幼児期突然死、急性脳症、筋症状	
	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ1欠損症	急性脳症、肝障害	
	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ2欠損症	乳幼児期突然死、急性脳症、筋症状	
糖質代謝異常症	全身性カルニチン欠乏症	乳幼児期突然死、急性脳症、筋症状	ポイトラー法、 脱水素酵素マイクロプレート法
	ガラクトース血症	発達遅延、肝障害、白内障	
内分泌疾患	先天性甲状腺機能低下症	発達遅延、特有な顔付き、小人症	ELISA法
	先天性副腎過形成症	男性化症状、皮膚色素沈着、脱水ショック	ELISA法

図1 先天性代謝異常症等検査システム

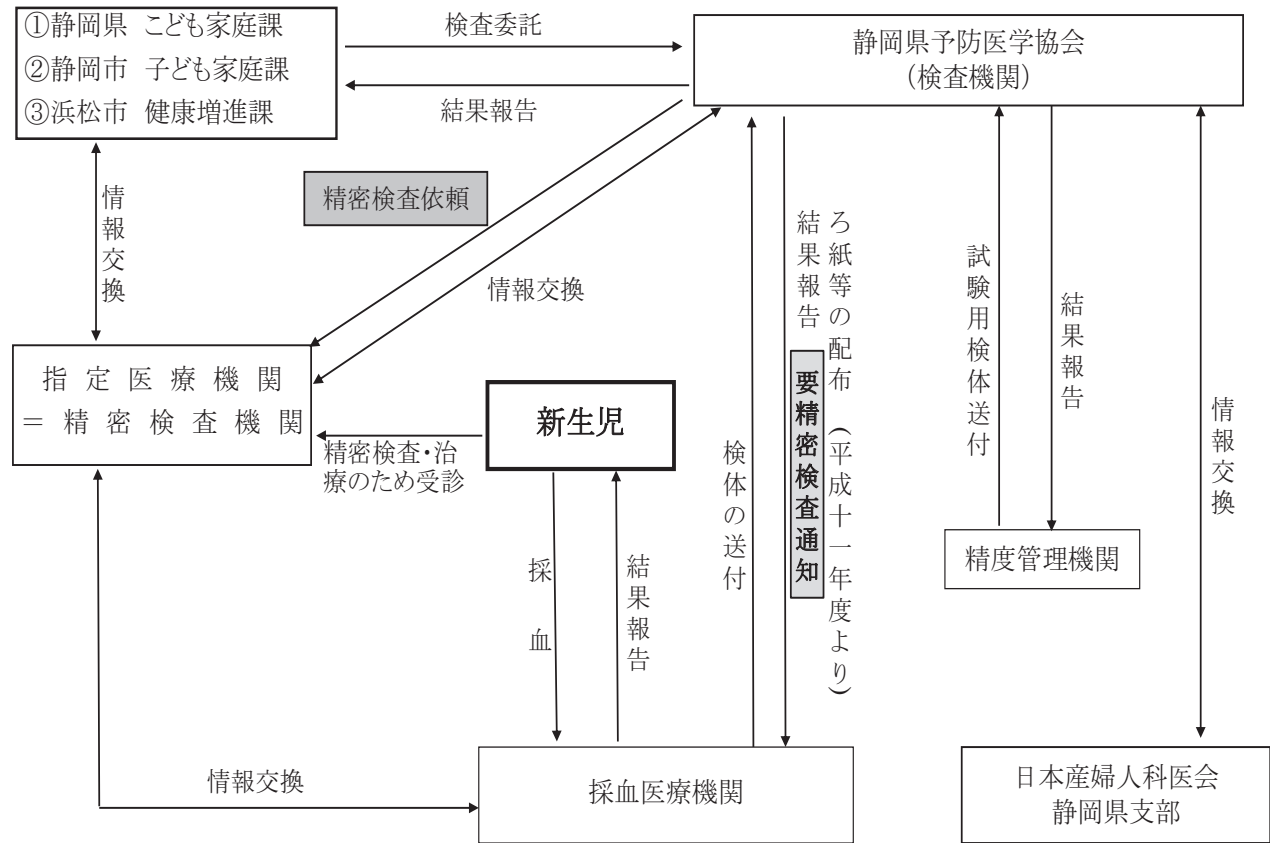


表2 令和5年度 先天性代謝異常症等検査の月別実施状況

項目 月	初回 検体数	再 採 血 依 頼 数						精密検査依頼数					
		アミノ酸代謝 異常症疑	有機酸代謝 異常症疑	脂肪酸代謝 異常症疑	ガラクトース 血症疑	先天性 甲状腺機能 低下症疑	先天性副腎 過形成症疑	アミノ酸代謝 異常症疑	有機酸代謝 異常症疑	脂肪酸代謝 異常症疑	ガラクトース 血症疑	先天性 甲状腺機能 低下症疑	先天性副腎 過形成症疑
4	1,533	2	4	3	4	26	12	1	0	0	2	2	0
5	1,788	2	6	3	4	28	28	0	0	0	1	1	1
6	1,698	0	9	0	1	21	19	0	0	0	0	3	1
7	1,647	1	7	0	4	17	13	0	0	0	0	1	1
8	1,908	2	9	2	4	31	13	0	0	0	2	3	0
9	1,691	3	7	0	7	20	16	0	0	1	1	0	1
10	1,827	0	11	2	6	20	20	0	1	0	1	3	3
11	1,695	0	7	2	1	28	24	0	0	1	0	3	1
12	1,578	2	12	6	4	27	28	0	0	0	0	3	1
1	1,678	1	9	2	4	32	25	1	0	0	0	1	0
2	1,464	0	5	2	3	25	26	0	1	1	0	2	1
3	1,474	0	2	2	7	35	24	0	0	0	0	4	0
合計	19,981	13	88	24	49	310	248	2	2	3	7	26	10

表3 令和5年度 先天性代謝異常症等検査の年度別患児発見数

疾患名		年度	昭和53 ～平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	合計	発見率	全国での 発見率 *8
		受検者数(人)	1,538,523	24,894	23,710	22,886	21,455	19,981	1,651,449		
アミノ酸 代謝異常症	フェニルケトン尿症		17	0	0	1	0	0	18	1/90,600	1/65,700
	メーブルシロップ尿症		0	0	0	0	0	0	0	未発見	1/546,400
	ホモシスチン尿症		3	0	0	0	0	0	3	1/543,800	1/235,900
	シトルリン血症1型	*1	1	0	0	0	0	0	1	1/252,300	1/235,100
	アルギニノコハク酸尿症	*1	0	0	0	0	0	0	0	未発見	1/777,700
有機酸 代謝異常症	メチルマロン酸血症	*1	2	0	0	0	0	0	2	1/126,100	1/111,100
	プロピオン酸血症	*1	2	0	1	1	1	0	5	1/50,500	1/50,100
	イソ吉草酸血症	*1	0	0	0	0	0	0	0	未発見	1/1,011,100
	メチルクロトニルグリシン尿症	*1	1	0	0	0	1	0	2	1/126,100	1/165,700
	ヒドロキシメチルグルタル酸血症	*1	0	0	0	0	0	0	0	未発見	未発見
	複合カルボキシルーゼ欠損症	*1	0	0	0	0	0	0	0	未発見	1/722,200
	グルタル酸血症1型	*1	1	0	0	0	0	0	1	1/252,300	1/561,700
	その他の疾患		5*5	1*6	0*7	0	0	0	6		
脂肪酸 代謝異常症	中鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症	*1	2	0	0	0	0	0	2	1/126,100	1/111,100
	極長鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症	*1	5	1	0	0	1	0	7	1/36,000	1/76,600
	三頭酵素/長鎖3-ヒドロキシアシル-CoA脱水素酵素欠損症	*1	0	0	0	0	0	0	0	未発見	1/2,022,100
	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ1欠損症	*1	0	0	0	0	0	0	0	未発見	1/722,200
	カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ2欠損症	*2	0	0	0	0	0	0	0	未発見	1/196,700
	全身性カルニチン欠乏症	*1	0	0	1	0	0	0	1	1/252,300	-
糖質代謝 異常症	ガラクトース血症		30	0	0	1	0	3	34	1/48,600*7	1/37,400
内分泌 疾患	先天性甲状腺機能低下症	*3	627	11	16	13	9	12	688	1/2,300	1/2,500
	先天性副腎過形成症	*4	67	1	0	0	1	1	70	1/11,800	1/16,400

- *1 平成25年10月開始 受検者数= 272,260 (人)
- *2 平成27年10月開始 受検者数= 210,912 (人)
- *3 昭和54年11月に開始 受検者数= 1,570,694 (人)
- *4 平成元年に開始 受検者数= 823,362 (人)
- *5 メチオニンアデノシルトランスフェラーゼ欠損症、シトリン欠損症、ピオチン欠乏
- *6 新生児ヘモクロマトーシス
- *7 劇症型のI型は未発見
- *8 特殊ミルク共同安全開発事業広報誌「特殊ミルク情報 第59号(2024年)」より

2) 拡大新生児スクリーニング検査

〔はじめに〕

新生児マススクリーニングの対象疾患以外で発症前に疾患を発見し治療することで、予後の改善が期待できる免疫不全症などの 7 疾患について行う検査を「拡大新生児スクリーニング」という。

拡大新生児スクリーニングは、希望者のみが受ける任意検査である。

〔導入経緯〕

令和 2 年 10 月からロタウイルス生ワクチンの接種が生後 2 ヶ月から受けられるようになった。しかし、一部の免疫不全症の児に生ワクチンを接種した場合、重篤な感染症を引き起こす恐れがある。ワクチン接種前に疾患の可能性のある児を発見するため、全国的に拡大新生児スクリーニングを開始する施設が増えた。

静岡県でも令和 4 年から静岡県立こども病院・浜松医科大学医学部附属病院・聖隷浜松病院の医師が静岡希少疾患ネットワークを立ち上げ拡大新生児スクリーニングの実施体制を構築した。この体制づくりにおいて、新生児マススクリーニング検査を行っている当会が情報提供などで協力をした。実施においては様々な課題があったが、先行して事業を行っている愛知県や新潟県を参考に問題解決が行われた。

令和 5 年 10 月より静岡県立こども病院が実施主体となり、当会が委託を受け検査開始となった。

〔対象疾患と検査方法等〕

静岡県での対象疾患は、重症複合免疫不全症・B 細胞欠損を伴う免疫不全症・脊髄性筋萎縮症・ライソゾーム病のうちポンペ病・ファブリー病（男児のみ実施）・ムコ多糖症Ⅰ型・ムコ多糖症Ⅱ型の 7 疾患である。対象疾患と主な症状・検査方法について表 1 に示す。検査は外部に委託している（委託先：積水メディカル株式会社）。

〔検査システム〕

拡大新生児スクリーニング実施体制を図 1 に示した。実施に当たり、静岡県立こども病院、採血医療機関、当協会の 3 者で契約を締結する。

当協会では、新生児マススクリーニングで送付された血液ろ紙を使用し、検体受付・検査依

頼・結果処理と報告・再検査・精密検査の依頼などを行っている。

重症複合免疫不全症・脊髄性筋萎縮症は緊急性が高く、時間の経過とともに治療成績が落ちる。これらの疾患に緊急対応するため、積水メディカル、委託元の静岡県立こども病院と秘密保持契約を結び、速報値報告を行っている。

また、診断と治療には専門的で高度な医療が必要であるため、精密検査は静岡県立こども病院と浜松医科大学医学部附属病院で実施している。

なお、この検査は静岡県・静岡市・浜松市の 3 つの自治体の協力を得て、新生児マススクリーニングの血液ろ紙を使用しているため、赤ちゃんや採血者における負担は少なく抑えられている。

〔検査実施数と患児発見数〕

令和 5 年度の契約施設は 18 施設であり受検者数は 680 人であった。そのうち 5 人に対して精密検査依頼を行った。再検査と精密検査の依頼数は表 2 に示す。

精密検査の結果、患児は見つかっていない。これらの疾患の確定には専門の病院での遺伝子検査が必要な場合が多く、確定までに時間がかかることが予想される。

〔まとめ〕

拡大新生児スクリーニングの対象疾患はいずれも早期発見されなければ予後が不良である。そのため、新生児マススクリーニングと同時期に検査を行うことで障害の軽減が期待できる。

これからも精密検査機関や採血医療機関への情報共有等で協力し、スクリーニングに関する啓蒙活動を行っていきたい。

（文責 池ヶ谷 やす代）

〔委託元〕

静岡県立こども病院

〔検査最終委託先〕

積水メディカル株式会社

〔協力機関・団体〕

静岡希少疾患ネットワーク

静岡県・静岡市・浜松市

表 1 拡大新生児スクリーニングの対象疾患・症状・検査方法

疾患名	主な症状	検査方法
重症複合免疫不全症	生後すぐの肺炎、下痢、中耳炎、皮膚感染症等の重複感染や重症化	PCR検査
B細胞欠損症	生後4か月頃からの中耳炎、気管支炎肺炎などの反復や重篤化、髄膜炎ウイルス性脳炎	
脊髄性筋萎縮症	脊髄の運動神経細胞の変化・消失による筋力が低下、筋肉の萎縮等	
ポンペ病	筋力の低下による運動障害、呼吸筋の低下による呼吸不全、成長・発達の遅れ	タンデムマス法
ファブリー病	手足の痛み、汗をかきにくい、発疹、腹痛・下痢等の消化器症状	
ムコ多糖症Ⅰ型	骨の変形、関節拘縮、中耳炎、精神運動発達の遅れ、発達の退行、呼吸障害、心臓弁膜症	
ムコ多糖症Ⅱ型	骨の変形、関節拘縮、中耳炎、精神運動発達の遅れ、発達の退行、呼吸障害、心臓弁膜症	

図 1 拡大新生児スクリーニング実施体制

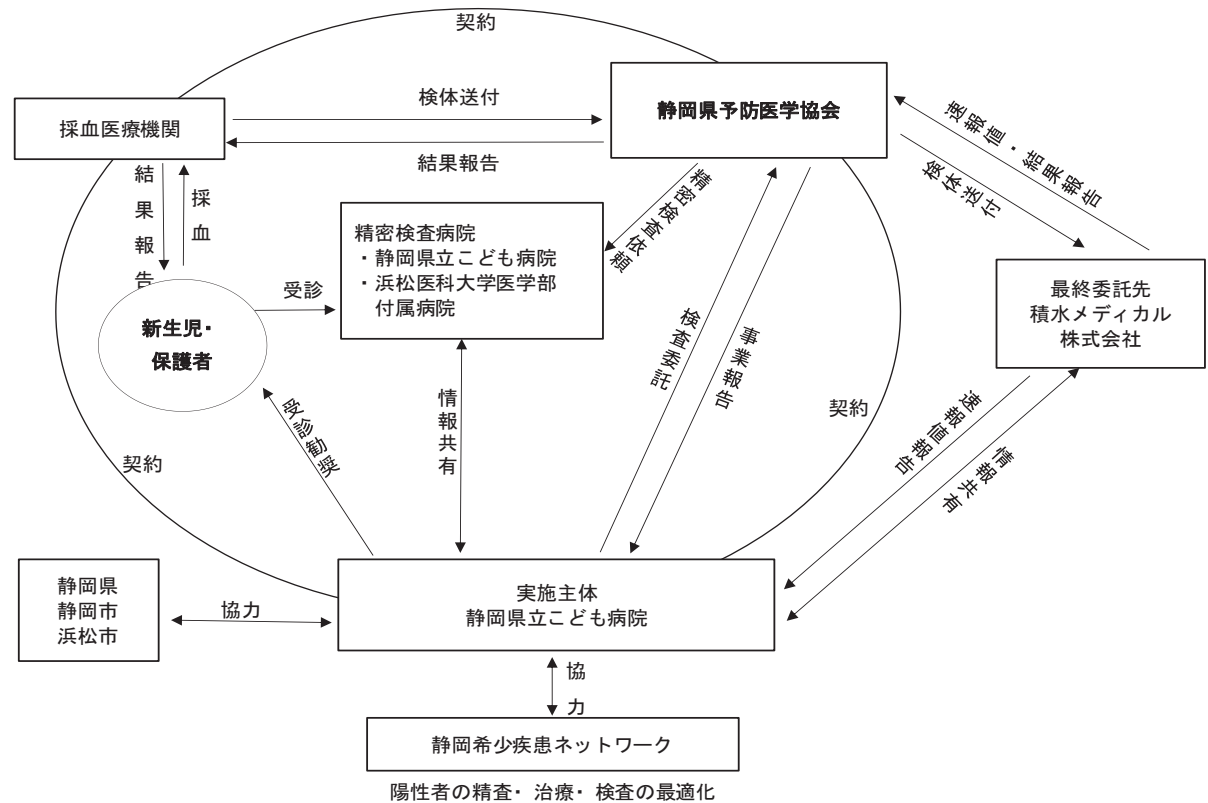


表 2 令和 5 年度 拡大新生児スクリーニング検査の月別実施状況

	受検者数	再採血依頼数							精密検査依頼数						
		重症複合免疫不全症	B細胞欠損症	脊髄性筋萎縮症	ポンペ病	ファブリー病	ムコ多糖症Ⅰ型	ムコ多糖症Ⅱ型	重症複合免疫不全症	B細胞欠損症	脊髄性筋萎縮症	ポンペ病	ファブリー病	ムコ多糖症Ⅰ型	ムコ多糖症Ⅱ型
10月	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	187	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1
3月	413	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2
合計	680	3	0	0	1	1	1	3	1	0	0	0	1	0	3

第三章 健康啓発、会議、人事等

1. 健 康 啓 発
2. 全国大会等への参加
(会議、研修会、研究会等)
3. 行 事 ・ 会 議
4. 人 事
5. 総合健診センター

1. 健康啓発

県民の健康保持増進を目指して、各種の健康教育・広報活動を展開している。令和5年度は、広報紙「けんこう静岡」及び「事業年報」の発行、啓発資料の配布など疾病予防・健康づくりのための啓蒙普及活動を行った。

1) 健康教育事業

例年開催している「学校保健セミナー」「産業保健セミナー」については、令和2年からコロナ感染拡大防止のため休止していた。しかし、令和5年5月には感染症分類が2類から5類に変更になるなど収束に向かったこともあり、令和5年12月に「産業保健セミナー」、6年3月には「学校保健セミナー」を開催した。

2) 広報・普及啓蒙事業

(ア) 広報紙の発行

当協会の事業内容と活動状況を伝えるとともに、生活習慣病等の健康に関する正しい知識の普及啓発のため、広報紙「けんこう静岡」を発行した。

○ 第153号～156号

(令和5年4月、7月、10月、令和6年1月発行)

14,000部

配布先 幼保園、小学校、中学校、高等学校
県内大学、各種団体、健診事業所等

(イ) 事業年報の発行

○「令和4年度(2021年度)版 事業年報」発行

300部

(ウ) 啓発資料の配布

○ 予防医学ジャーナル

((公財) 予防医学事業中央会) 864部

2. 全国大会等への参加 (会議、研修会、研究会等)

1) 各種会議、研修会等

○令和5年度 第1回全国運営会議

(東京都 令和5年7月6日)

○全衛連 情報機器作業健康診断研修会

(東京都 令和5年8月22日～23日)

○第40回全国情報統計研修会

(高崎市 令和5年8月24日～25日)

○先天性代謝異常検査システム管理会議

(東京都 令和5年9月8日

令和6年3月1日)

○令和5年度 第2回全国運営会議

(松江市 令和5年10月26日)

○第68回 予防医学事業推進全国大会

(松江市 令和5年10月27日)

○第80回 全国保健所長会総会、研究事業報告

(つくば市 令和5年10月29～30日)

○令和5年度 予防医学事業推進近畿・東海・

北陸地区会議

(大阪市 令和5年12月21～22日)

○令和5年度 全国業務研修会

(宮崎市 令和6年2月15～16日)

○令和5年度 第57回全国予防医学技術研究会

技術運営会議

(横浜市 令和6年3月6日)

2) 学 会

○第96回日本産業衛生学会

(宇都宮市 令和5年5月10日～12日)

○第75回日本産婦人科学会学術講演会

(東京都 令和5年5月12日～14日)

○第50回日本マスキング学会学術集会

(新潟市 令和5年8月24日～26日)

○第64回日本人間ドック学会学術大会

(高崎市 令和5年9月1日～3日)

○第31回日本消化器関連学会

(神戸市 令和5年11月2日～5日)

○第37回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

(WEB 令和5年11月18日～19日)

○日本総合健診医学会第52回大会

(倉敷市 令和6年1月25日～27日)

○第88回日本循環器学会学術集会

(神戸市 令和6年3月8日～10日)

○日本マスキング学会研修会

(WEB 令和6年3月4日)

3. 行 事 ・ 会 議

1) 理 事 会 等

第1回理事会（令和5年6月5日）では、令和4年度事業報告・収支決算、資産取得資金の積み立て計画の変更、取崩し及び新規保有について、令和5年度定時評議員会の開催について決議された。

第2回理事会（令和6年1月19日）では、当会の主たる事務所を静岡市駿河区丸子新田186番地の5へ移転することが決議された。

第3回理事会（令和6年3月13日）で令和6年度事業計画案、令和6年度収支予算案、資金調達及び設備投資の見込み、資産取得資金の取崩しおよび積み立て計画の変更について決議された。

なお、令和5年5月24日石川監事による監査が行われた。

2) 評 議 員 会 等

定時評議員会については、令和5年6月13日、書面評決により、令和4年度事業報告、収支決算が決議された。

3) 運 営 会 議

毎月1回（月末の月曜日）専務理事、常務理事の外、幹部職員が出席し、定例会を開催した。常務理事兼事務局長からの指示事項、事業の運営方法及び経営上の諸問題等各種案件について、検討、協議した。

4) 職 員 研 修

管理職及びそれに準ずる職員を対象とした研修を毎月開催し、資質の向上を図った。

また、個人情報保護の徹底を図るため、監査員研修、正職員を対象にした紙面による個人情報保護に関する研修及び理解度テストを実施した。

4. 人 事

役員改選がなかったため、役員人事に変更はなかった。

5. 総合健診センター

新型コロナウイルス感染拡大により、令和4年度まで優良認定顧客部会の開催を減らしていたが、令和5年度は4回実施した。

検討事項にあたっては、都度、関係者で協議し上層部の承認後に決定事項を遅滞なく職員に周知した。

第四章 研究業績

第57回予防医学研究会は、参加を取りやめ、口頭発表は実施しなかった。

付録 協会案内

1. (公財)静岡県予防医学協会の沿革
2. (公財)静岡県予防医学協会役員名簿
3. (公財)静岡県予防医学協会組織図
4. 協会の健(検)診・検査業務内容
5. 協会案内図

1 公益財団法人 静岡県予防医学協会の沿革

- 昭和34年 「静岡県寄生虫予防協会」(任意団体) (設立 昭和34年4月1日)
事務所を静岡市追手町9-6 静岡県衛生部予防課内に置く
- 昭和36年 静岡県内3箇所において実施していた検査所を統合
- 昭和38年 協会事務所を静岡市羽鳥829番地に移転
プレハブ平屋建(90㎡)の事務所を設置
財団法人 日本寄生虫予防会に加入し「静岡県支部」となる
- 昭和42年 「財団法人 静岡県寄生虫予防協会」設立 (県知事認可 昭和42年5月18日)
- 昭和43年 協会事務所新築落成 (鉄筋コンクリート2階建延330㎡) (落成 昭和43年3月31日)
第13回寄生虫予防全国大会を静岡市で開催 (昭和43年8月8日～9日)
- 昭和47年 「財団法人 静岡県衛生検査協会」と改称 (県知事認可 昭和47年9月11日)
臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律に基づく「衛生検査所」として登録
寄生虫検査以外の諸検査を開始
財団法人予防医学事業中央会「静岡県支部」となる (承認 昭和47年11月7日)
- 昭和48年 県内最初の血液検査機器:コールターカウンターモデルS整備(昭和48年7月)
- 昭和52年 「付属診療所」併設 (認可 昭和52年7月1日)
- 昭和53年 社団法人 全国労働衛生団体連合会(全衛連)の会員となる (承認 昭和53年4月1日)
- 昭和55年 協会事務所増築(鉄筋コンクリート3階建 延916.32㎡) (落成 昭和55年3月15日)
- 昭和57年 西部検査所 登録検査所として認可 (認可 昭和57年8月19日)
- 昭和58年 「財団法人 静岡県予防医学協会」と改称 (県知事認可 昭和58年8月29日)
- 昭和60年 機関紙「けんこう静岡」創刊号発行 (昭和60年4月1日)
- 昭和61年 「中小企業共同安全衛生改善事業助成制度に係る健康診断機関」となる
「全衛連鉛検査機関名簿登録機関」となる (承認 昭和61年5月1日)
- 昭和62年 協会として最初のレントゲン車(胸部、骨粗しょう症用) 日本自転車振興会の助成により配備
西部検査所 付属診療所併設 (認可 昭和62年4月10日)
- 昭和63年 「全衛連総合精度管理事業参加機関」となる (昭和63年12月20日)
- 平成元年 第33回予防医学事業推進全国大会を静岡市で開催(平成元年9月20日～21日)
- 平成3年 第44回技術研修会(尿沈渣)を開催 (平成3年2月26日～28日)
- 平成5年 全国統計実務研修大会を浜松市で開催 (平成5年9月2日～3日)
- 平成7年 第1回学校保健セミナーを静岡市で開催(平成7年2月17日)
- 平成8年 総合健診センター「ヘルスポート」(藤枝市)を日本自転車振興会の助成により着工 (平成8年6月20日)
第31回予防医学技術研究集会を浜松市で開催 (平成9年1月22日～24日)
- 平成9年 総合健診センター「ヘルスポート」開設 (開所式 平成9年4月5日)
(レントゲン車(胸部検診用)を配備 (平成9年6月23日))
法人格取得30周年記念事業として講演会を開催(静岡市) (平成10年3月30日)

- 平成10年 西部検査所を浜松市小池町に移転（平成10年8月7日）
第1回産業保健セミナーを静岡市で開催（平成11年3月15日）
- 平成12年 レントゲン車(胃部検診用)を配備（平成12年5月16日）
住居表示が静岡市葵区建穂1-3-43となる
- 平成13年 レントゲン車(胸部検診用)を配備（平成13年4月6日）
総合健診センター「ヘルスポート」労災保険二次健診等給付医療機関指定(平成13年7月1日)
- 平成14年 レントゲン車(胃部検診用)を配備（平成14年5月16日）
- 平成15年 レントゲン車(胃部検診用)を配備（平成16年1月16日）
- 平成17年 協会として最初の乳房検診用レントゲン車を配備（平成18年3月30日）
- 平成19年 西部検査所を浜松市東区下石田町に移転（平成20年2月1日）
第42回予防医学技術研究集会を静岡市で開催（平成20年2月29日～3月31日）
- 平成20年 協会として最初のデジタルレントゲン車(胸部検診用)を配備（平成20年5月30日）
協会として最初のデジタルレントゲン車(胃部検診用)を配備（平成20年8月29日）
デジタルレントゲン車(胸部・胃部検診用)を配備（平成20年10月29日）
- 平成21年 予防医学事業推進全国大会を静岡市で開催(平成21年9月30日～10月1日)
PACS装置(医用画像装置)一式を購入
東部事務所を沼津市西沢田に移転(平成22年1月1日)
- 平成22年 公益財団法人移行認定に向けて、知事より「最初の評議員の選任に関する理事の定めの認可」を受ける。(平成22年7月2日認可)
- 平成23年 ・全国情報統計研修会を静岡市で開催（平成23年8月25日～26日）
・臨時理事会及び評議員会で定款の変更の案を議決（平成23年9月30日）。公益財団法人への移行認定申請書を知事あて提出（平成23年10月17日）。知事より公益財団法人として認定を受ける。(平成24年3月23日)
・総合健診センターヘルスポート新築移転。落成祝賀会(平成24年1月14日)業務開始(平成24年1月16日)
・ヘルスポートにMRI(核磁気共鳴画像診断装置)、X線CTスキャナ、マンモグラフィー(デジタル乳房X線撮影装置)、医用画像観察装置、大腸CT等を整備(平成24年2月)
・ヘルスポート既存施設を改修し、静岡センター機能の一部を移転し、新たに藤枝健診センターとして業務を開始(平成24年3月)
・協会として最初のマンモグラフィー車(婦人科検診車)を配備(平成24年3月18日)
- 平成24年 ・公益財団法人に移行。公益財団法人静岡県予防医学協会に名称変更(平成24年4月1日移行登記)
・デジタルレントゲン車(胸部検診用)を配備(平成24年9月)
・全国業務会議を静岡市で開催(平成25年2月21日～22日)
・デジタルレントゲン車(胸部・胃部検診用)を配備(平成25年3月7日)
- 平成25年 ・デジタルレントゲン車(乳房検診用)を配備(平成25年8月23日)
・西部検査所 北側新棟完成(平成25年9月17日)
・デジタルレントゲン車(胃部検診用)を配備(平成25年11月28日)
- 平成26年 ・デジタルレントゲン車(胸部検診用)を配備（平成26年7月8日）
- 平成27年 ・新総合健診検査システムを導入(平成27年4月1日)

- ・東部事務所を沼津市岡宮に移転(平成27年10月28日)
- 平成 28 年
 - ・PACS装置(医用画像装置)を購入(更新)
 - ・尿自動分析装置を導入
- 平成 29 年
 - ・デジタルレントゲン車(胸部検診用:車いす対応)を配備(平成29年9月13日)
- 平成 30 年
 - ・デジタルレントゲン車(胸部・胃部検診用)を配備(平成30年6月29日)
- 令和 元 年
 - ・令和元年度 予防医学事業推進近畿・東海・北陸地区会議を静岡市で開催(令和元年11月28日～29日)
- 令和 2 年
 - ・健診システムサーバー一式更新
- 令和 3 年
 - ・ワクチン接種車両を2台配備(令和3年11月9日)
- 令和 4 年
 - ・浜松健診センター放射線新棟完成
- 令和 5 年
 - ・静岡事務所を静岡市駿河丸子新田に新築移転(令和6年2月26日)
 - ・デジタルレントゲン車(胸部・胃部検診用:蓄電池装置搭載)を配備(令和6年3月13日)

2 公益財団法人 静岡県予防医学協会 役員名簿

R.6.12.1作成

評議員名簿

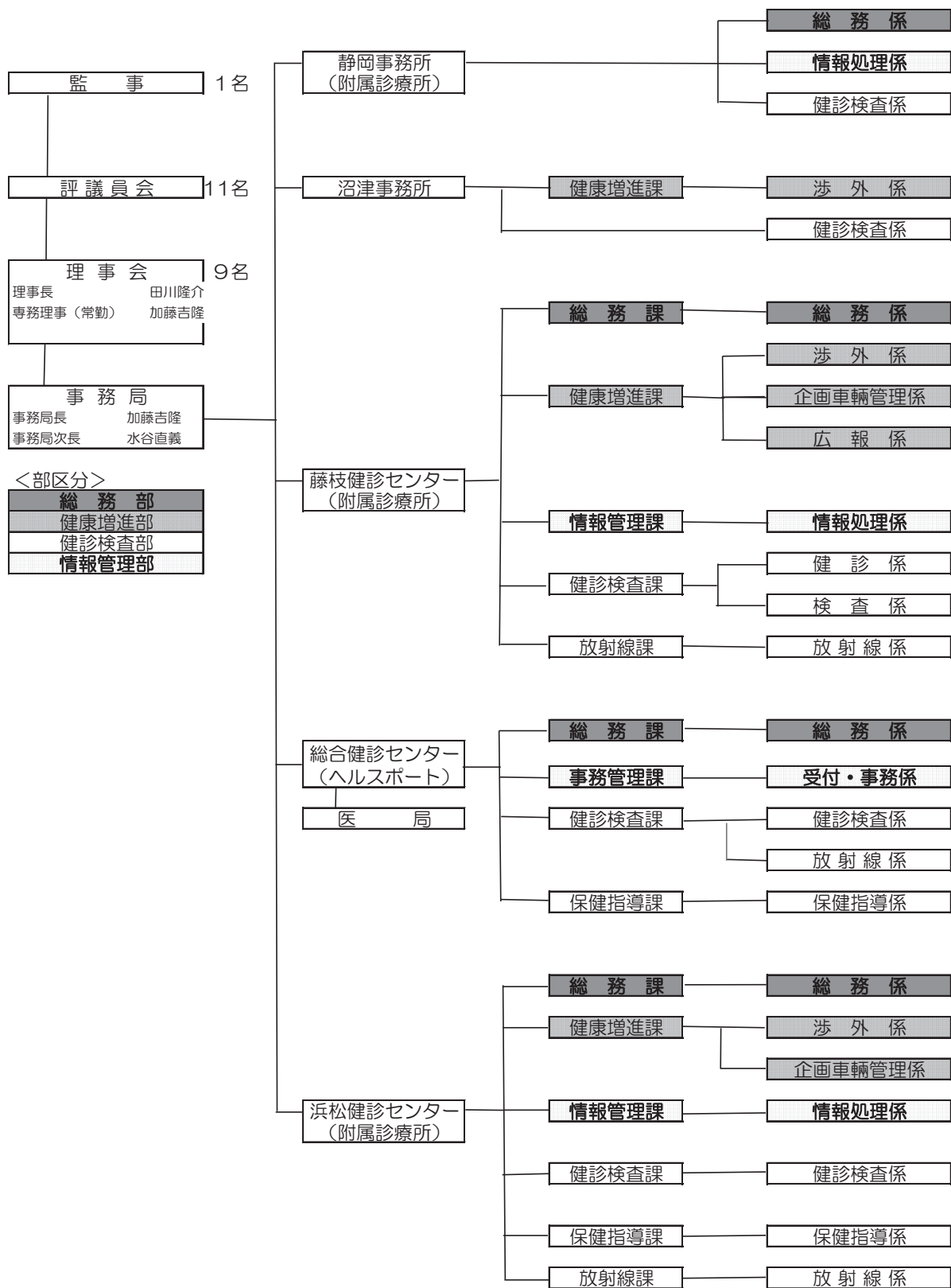
役員名	氏 名	職業・役職名
評議員	天野 一	静岡県議会議員
〃	中谷 多加二	静岡県議会議員
〃	三間屋 純一	静岡リハビリテーション病院 非常勤病棟管理医(産業医兼務)
〃	青木 一雄	青木医院院長、(一社)静岡県医師会 裁定委員
〃	杉谷 正東	元 静岡県医師国民健康保険組合 理事長
〃	松村 龍夫	学校法人 静岡日本語教育センター 理事
〃	秋山 欣三	(公社)静岡県薬剤師会 副会長
〃	中村 孟	元 スズキ(株) 常任監査役
〃	佐藤 栄作	医療法人社団 栄成会理事長、おおや整形外科クリニック院長
〃	仲田 晃弘	(公社)静岡県私学協会 理事長、学校法人 藤枝学園 理事長
〃	大内 仁之	(一社)静岡県歯科医師会 専務理事
計	11名	

役員(理事・監事)名簿

役 員	氏 名	職業・役職名
理事長	田川 隆介	(公財)静岡県予防医学協会総合健診センター長
専務理事	加藤 吉隆	(公財)静岡県予防医学協会事務局長
理 事	横田 通夫	(公財)静岡県予防医学協会 前理事長
〃	篠原 彰	篠原医院院長、(一社) 静岡県医師会顧問
〃	渡邊 憲治	静岡県内科医会 会長
〃	靱木 茂	元 浜松市医療公社 常務理事
〃	北條 罔生	元 静岡市衛生研究所長
〃	三橋 寛	元 社会保険浜松病院 放射線科部長
〃	鈴木 孝典	静岡県市町村職員共済組合 事務局長
計	9名	

監事	石川 誠	静岡県校長会 事務局長
計	1名	
総 計	21名	

3 公益財団法人 静岡県予防医学協会 組織図



5 案内図

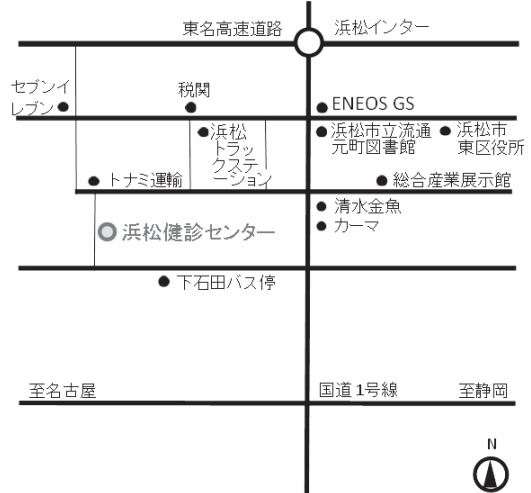
●静岡事務所

〒421-0111 静岡市駿河区丸子新田 186-5
電話(054) 270-5177 (代)



●浜松健診センター

〒435-0006 浜松市中央区下石田町 951
電話(053) 422-7800 (代)



●総合健診センター・ヘルスポート

〒426-8638 藤枝市善左衛門 2-19-8
電話(054) 636-6460 (代)

●藤枝健診センター

〒426-0053 藤枝市善左衛門 2-11-5
電話(054) 636-6461 (代)



●沼津事務所

〒410-0011 沼津市岡宮 1210-1
電話(055) 921-1934 (代)



公益財団法人 静岡県予防医学協会

●登録・指定

特定健診機関・特定保健指導機関

保険医療機関

登録衛生検査所

全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診実施機関

労災保険特別加入健康診断実施機関

労災保険二次健診等給付指定医療機関

プライバシーマーク取得認証施設

全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価認定施設

【総合健診センター・ヘルスポート】

日本総合健診医学会優良総合健診施設

健康保険組合連合会認定人間ドック施設

●事務所

静岡事務所	〒421-0111 静岡市駿河区丸子新田 186-5 E-mail shizuoka-yobo@shsa.net	電話 FAX	(054) 270-5177(代) (054) 270-5178
藤枝健診センター	〒426-0053 藤枝市善左衛門 2-11-5 E-mail shizuoka-yobo@shsa.net	電話 FAX	(054) 636-6461(代) (054) 636-6462
総合健診センター・ヘルスポート	〒426-8638 藤枝市善左衛門 2-19-8 E-mail healthport@shsa.net	電話 フリーダイヤル FAX	(054) 636-6460(代) 0120-39-6460 (054) 636-6465
浜松健診センター	〒435-0006 浜松市中央区下石田町 951 E-mail syobo-seibu@shsa.net	電話 FAX	(053) 422-7800(代) (053) 422-7801
沼津事務所	〒410-0007 沼津市岡宮 1210-1 E-mail syobo-tobu@shsa.net	電話 FAX	(055) 921-1934(代) (055) 921-1588

令和5年度(2023年度)事業年報

通巻第52号

令和7年(2025年)3月発行

発行人 田川隆介

製作・編集 健康増進部および関係各部署

発行所 公益財団法人 静岡県予防医学協会

〒421-0111 静岡市駿河区丸子新田 186 番地の 5

<https://www.shsa.net/>

印刷所 池田屋印刷株式会社